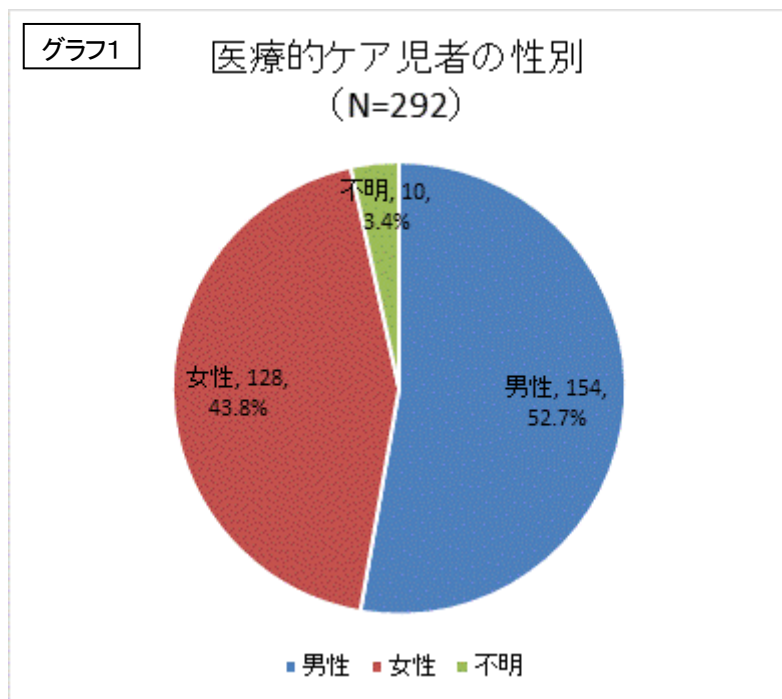


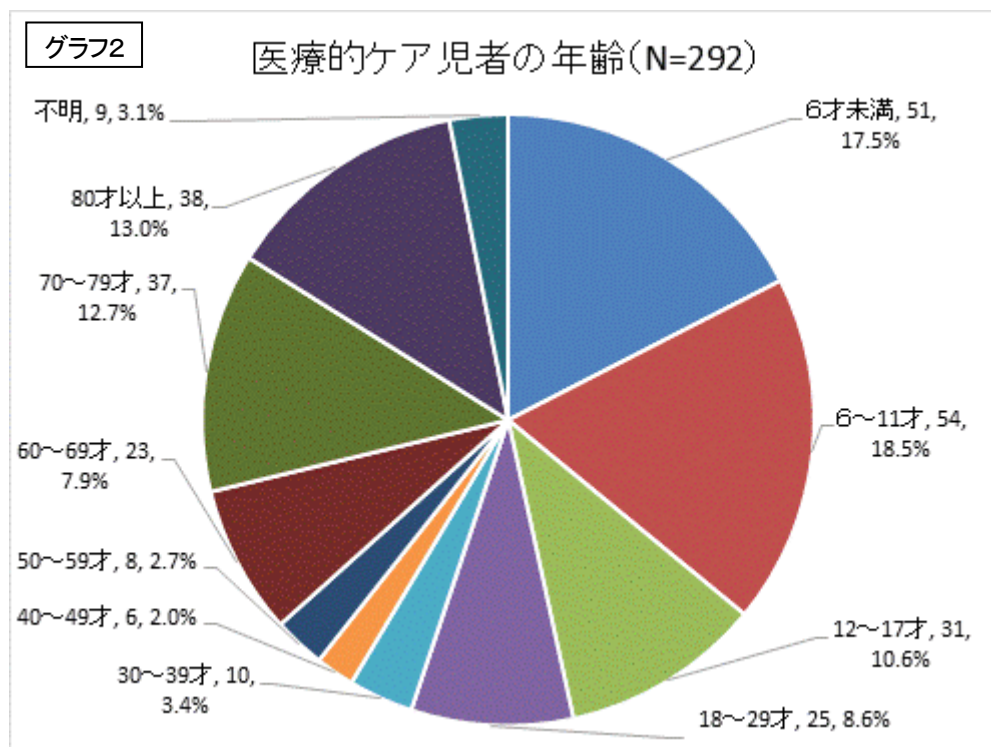
質問1

医療的ケアが必要な方の状況

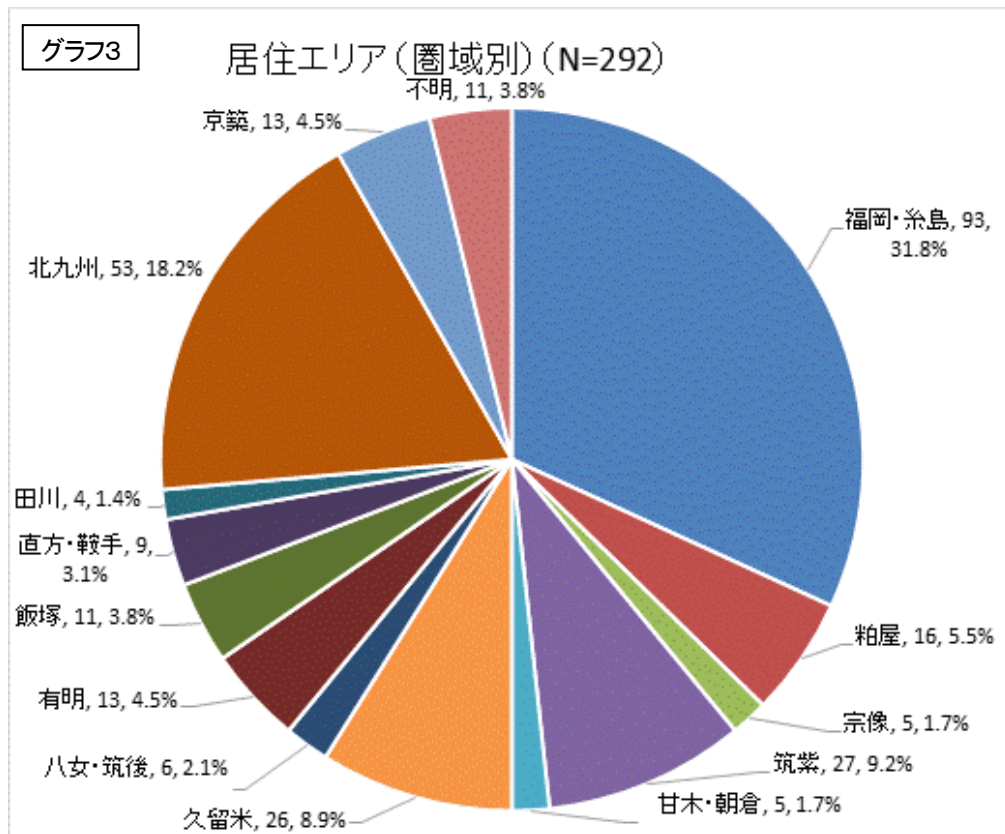
○医療的ケア児者の性別は、男性が52.7%、女性が43.8%であった。



○医療的ケア児者の年齢は、18歳未満が46.6%、18歳以上が50.3%であった。



○医療的ケア児者の主な居住地は、福岡・糸島(31.8%)が最も多く、次いで北九州(18.2%)、筑紫(9.2%)、久留米(8.9%)となっている。



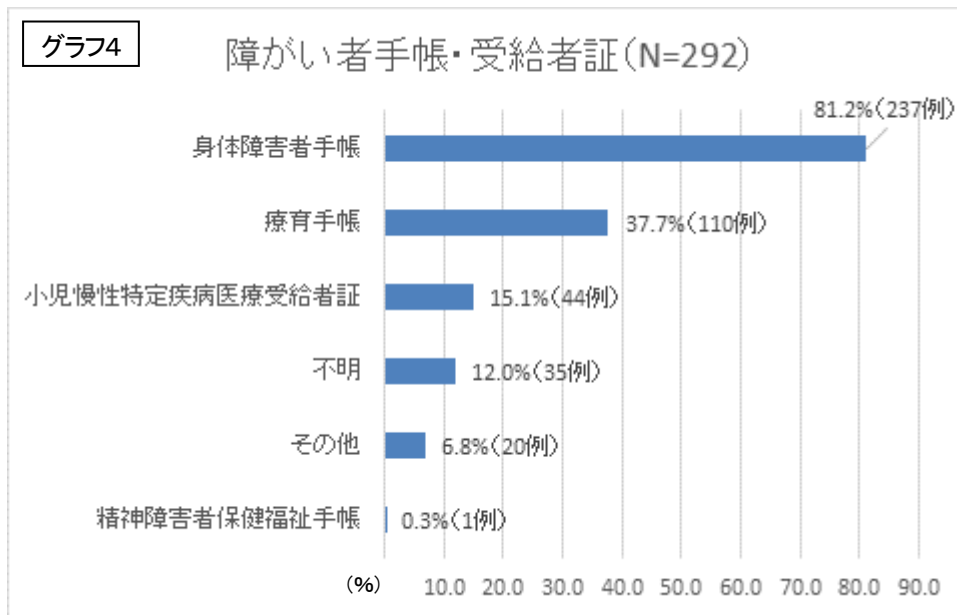
○医療的ケア児者からの回答があった市町村 48市町村。

福岡市が88人(30.1%)で最も多く、次いで、北九州市40人(13.7%)、久留米市17人(5.8%)、筑紫野市10人(3.4%)となった。

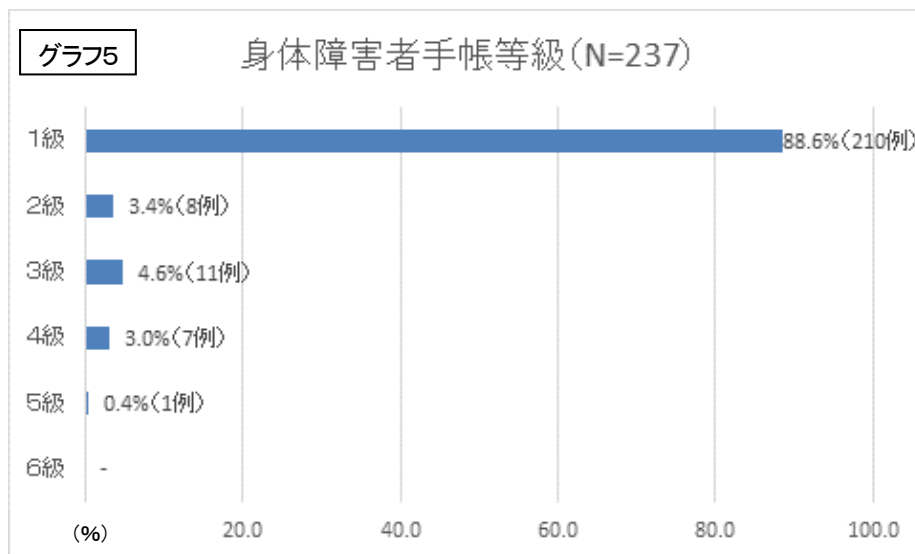
表1

サンプル数	100.0	292	飯塚市	1.7	5
福岡市	30.1	88	嘉麻市	1.4	4
糸島市	1.7	5	桂川町	0.7	2
古賀市	1.0	3	直方市	1.7	5
宇美町	1.0	3	宮若市	1.4	4
篠栗町	-	-	小竹町	-	-
志免町	1.7	5	鞍手町	-	-
須恵町	0.3	1	田川市	0.3	1
新宮町	0.3	1	香春町	0.3	1
久山町	0.3	1	添田町	-	-
粕屋町	0.7	2	糸田町	-	-
宗像市	1.0	3	川崎町	-	-
福津市	0.7	2	大任町	0.3	1
筑紫野市	3.4	10	福智町	0.3	1
春日市	2.1	6	赤村	-	-
大野城市	1.0	3	筑豊地区	8.2	24
太宰府市	1.7	5	北九州市	13.7	40
那珂川町	1.0	3	中間市	0.7	2
朝倉市	1.0	3	芦屋町	-	-
筑前町	0.3	1	水巻町	1.0	3
東峰村	0.3	1	岡垣町	2.4	7
福岡地区	50.0	146	遠賀町	0.3	1
久留米市	5.8	17	行橋市	1.7	5
小都市	-	-	豊前市	1.0	3
大川市	1.4	4	苅田町	1.0	3
うきは市	0.3	1	みやこ町	0.3	1
大刀洗町	0.3	1	吉富町	-	-
大木町	1.0	3	上毛町	-	-
八女市	1.4	4	築上町	0.3	1
筑後市	0.7	2	北九州地区	22.6	66
広川町	-	-	不明	3.8	11
大牟田市	3.1	9			
柳川市	0.7	2			
みやま市	0.7	2			
筑後地区	15.4	45			

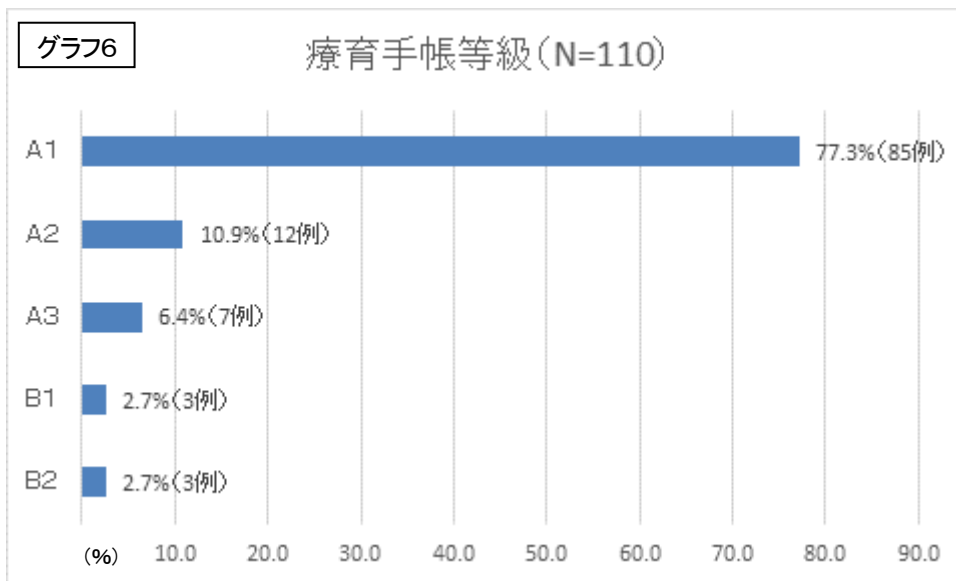
○身体障害者手帳保持者(81.2%)が最も多く、次いで療育手帳保持者(37.7%)、小児慢性特定疾病医療受給者証保持者(15.1%)となっている。



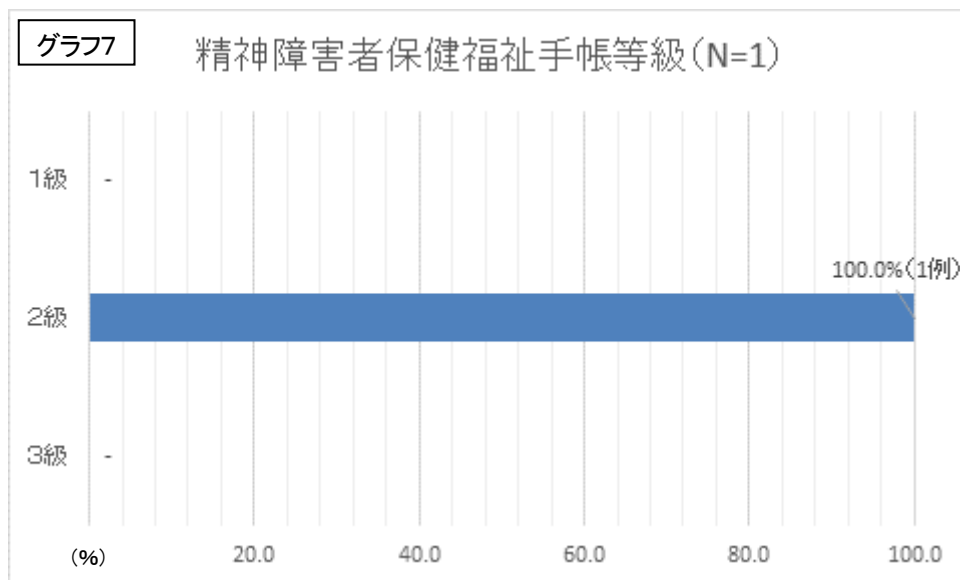
○身体障害者手帳の等級は1級(88.6%)が最も多く、次いで3級(4.6%)、2級(3.4%)となっている。



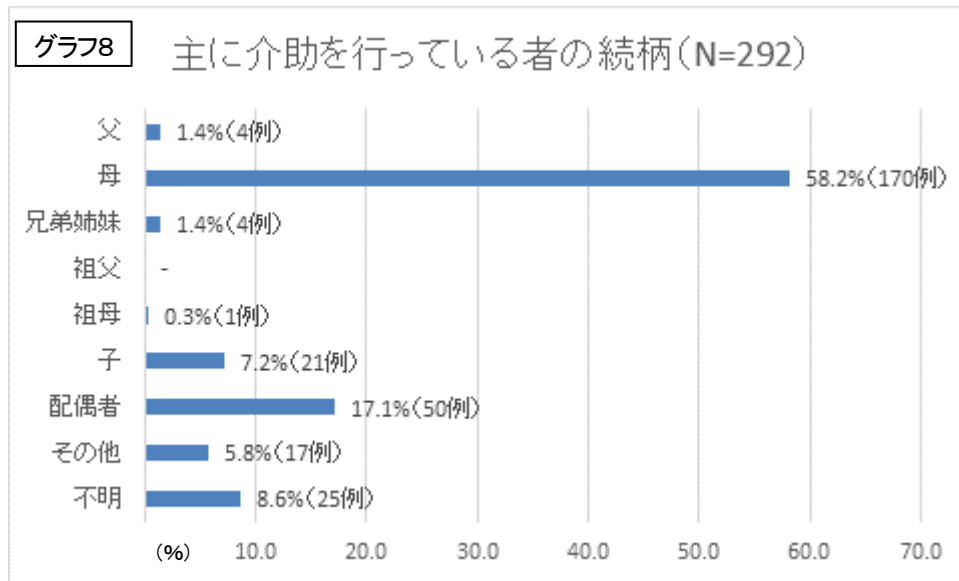
○療育手帳の等級はA1(77.3%)が最も多く、次いでA2(10.9%)となっている。



○精神障害者保健福祉手帳の等級は2級(100%)となっている。

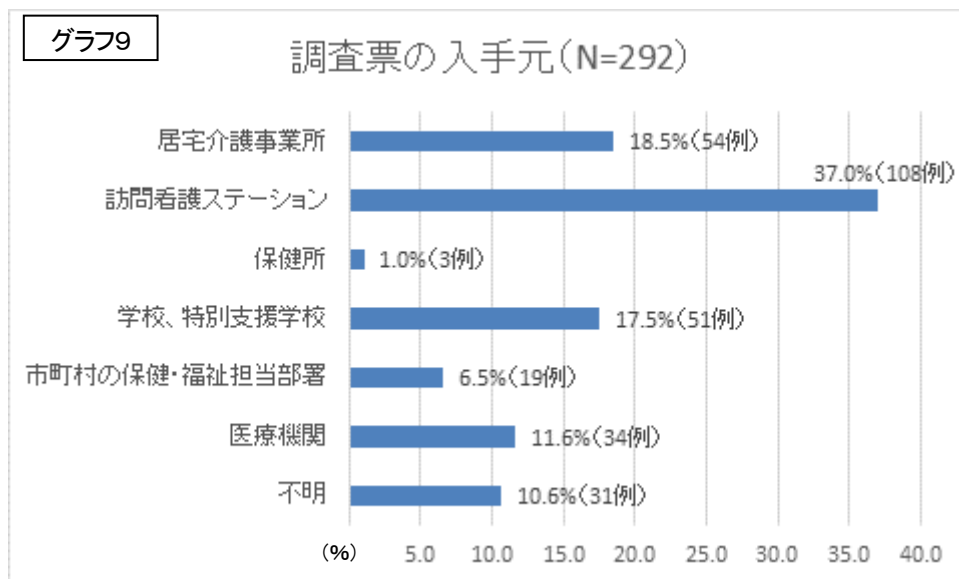


○主に介助を行っている者の続柄は、母親(58.2%)が最も多く、次いで配偶者(17.1%)となっている。



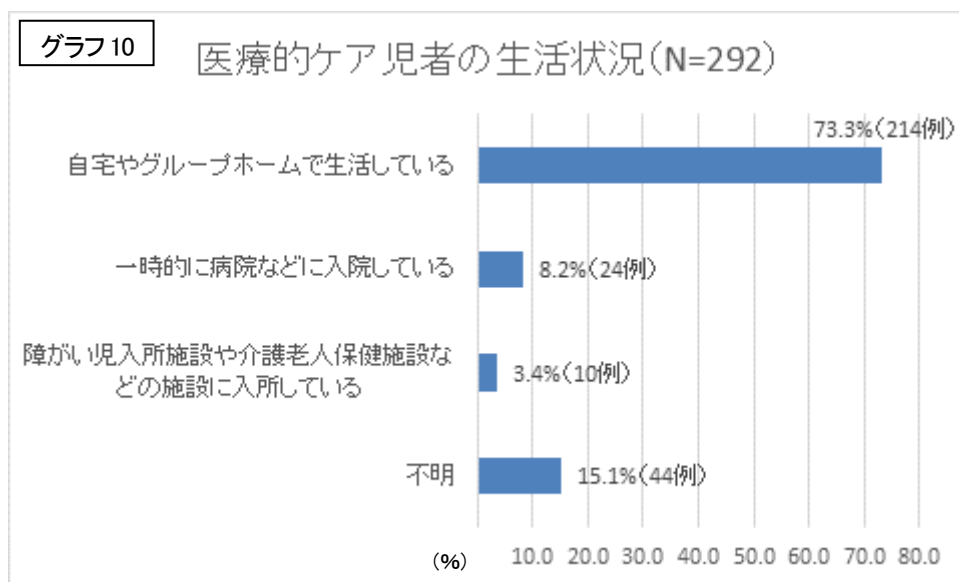
質問2

○調査票の入手元は、訪問看護ステーション(37.0%)が最も多く、次いで居宅介護事業所(18.5%)、学校、特別支援学校(17.5%)、医療機関(11.6%)となっている。



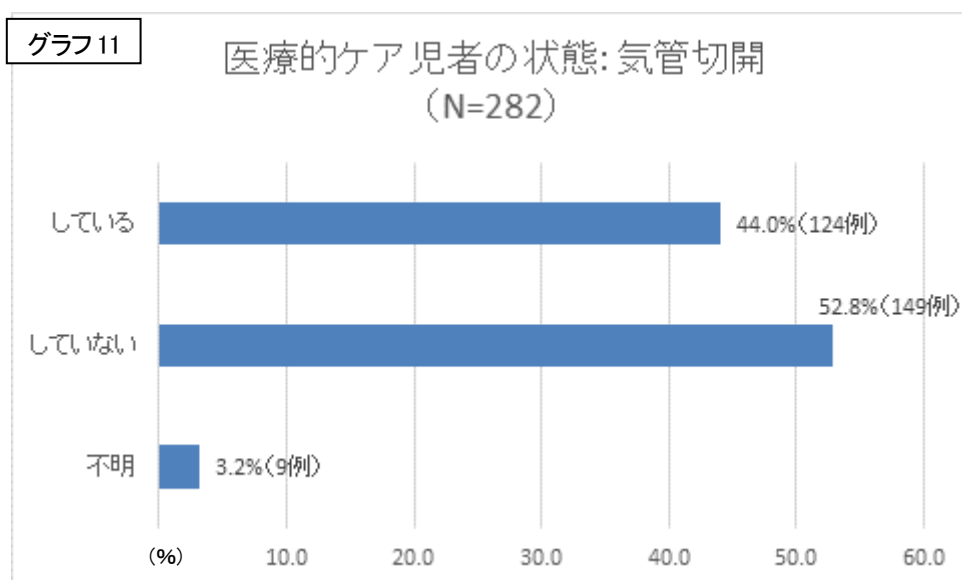
### 質問3

○医療的ケア児者の現在の生活状況は、自宅やグループホームで生活している(73.3%)が最も多く、次いで一時的に病院などに入院している(8.2%)となっている。

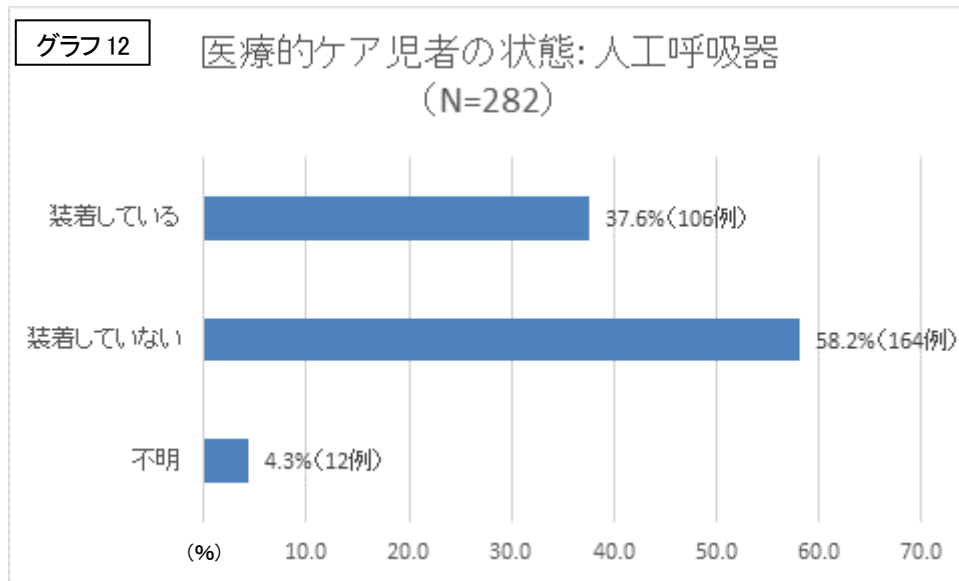


### 質問4(1)

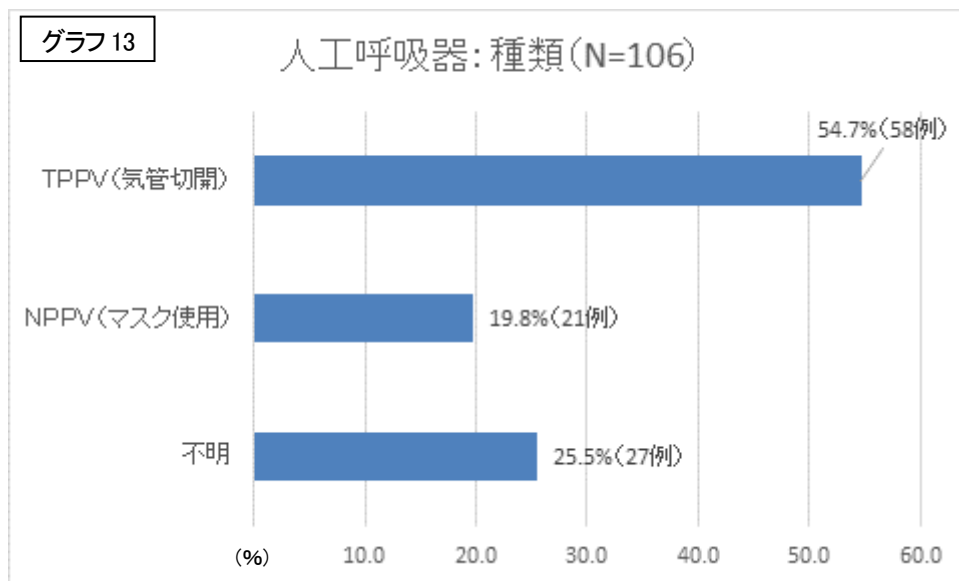
○医療的ケア児者のうち、気管切開をしている(44.0%)、していない(52.8%)であった。



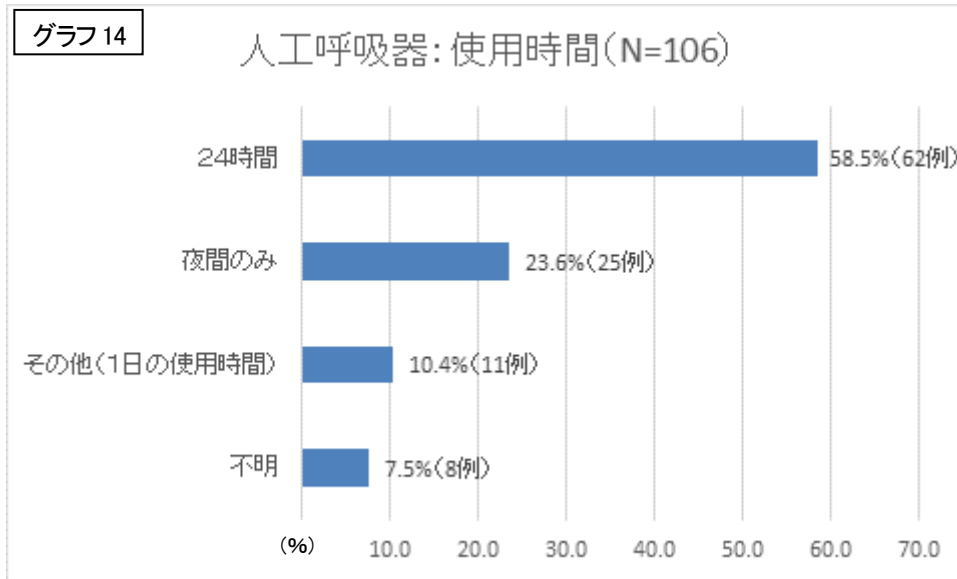
○医療的ケア児者のうち、人工呼吸器を装着している(37.6%)、装着していない(58.2%)であった。



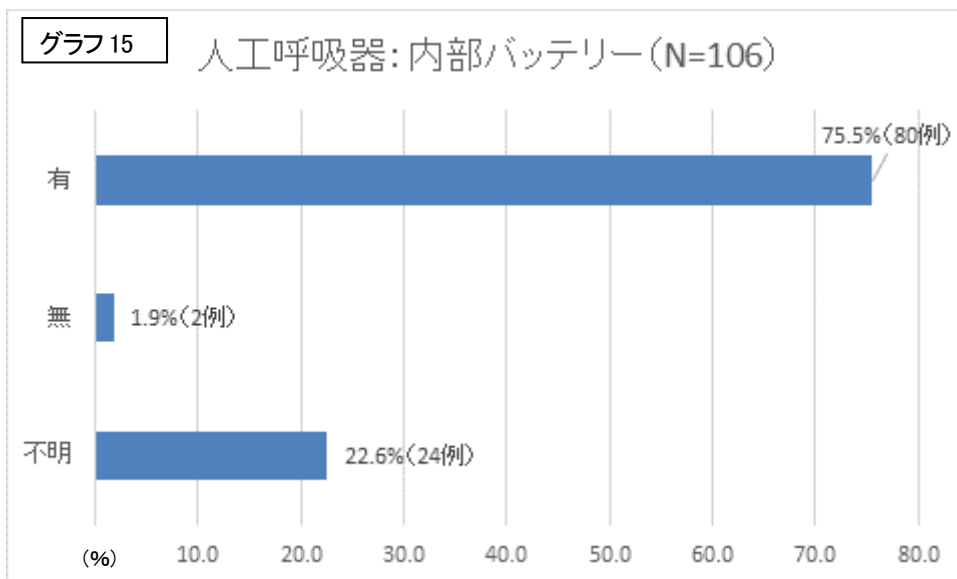
○人工呼吸器の種類は、TPPV(気管切開)が54.7%、NPPV(マスク使用)が19.8%であった。



○人工呼吸器の使用時間は、24時間(58.5%)が最も多く、次いで夜間のみ(23.6%)となっている。その他の1日の使用時間の平均は10.1時間であった。

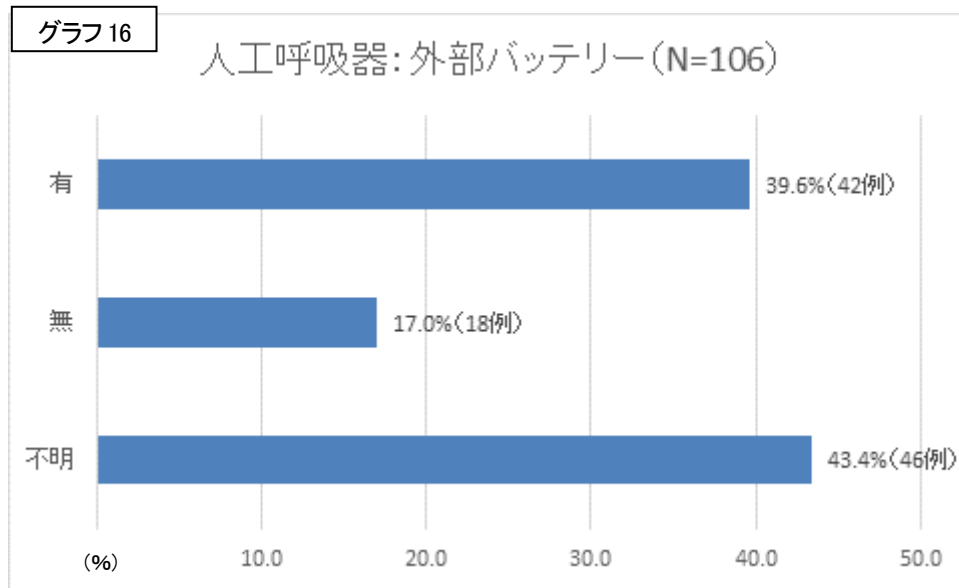


○人工呼吸器の内部バッテリーは、有(75.5%)、無(1.9%)となっている。内部バッテリーの平均時間は5.2時間となっている。

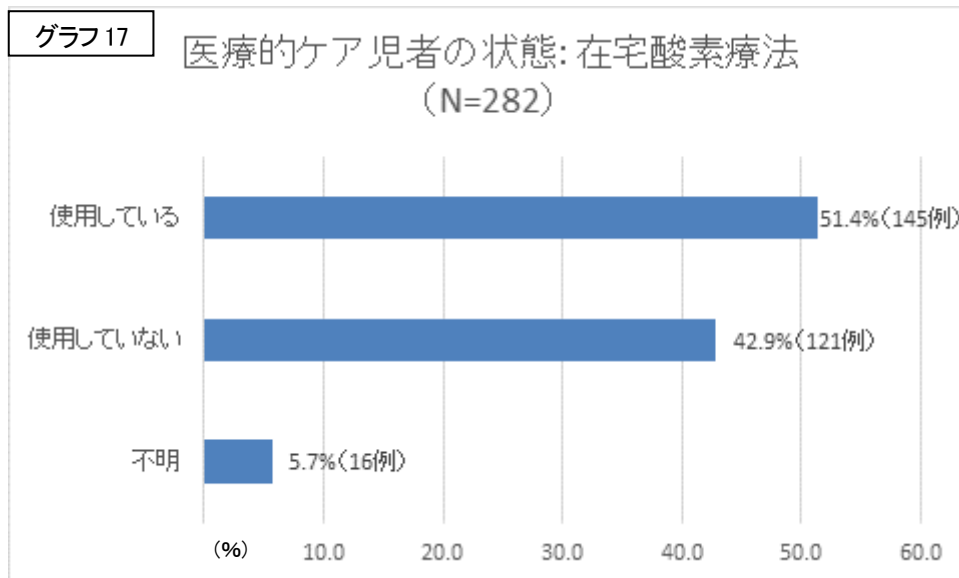




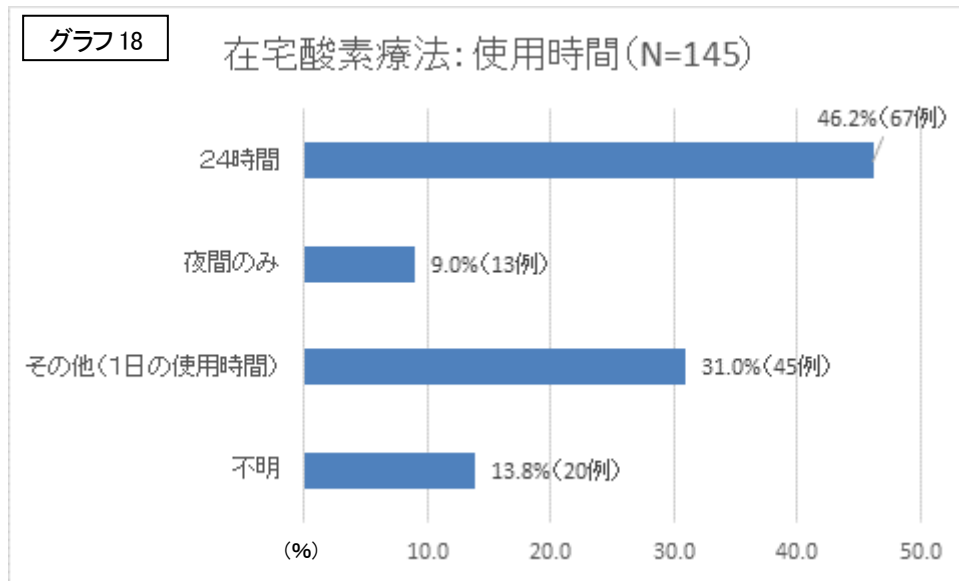
○人工呼吸器の外部バッテリーは、有(39.6%)、無(17.0%)となっている。外部バッテリーの平均時間は4.9時間となっている。



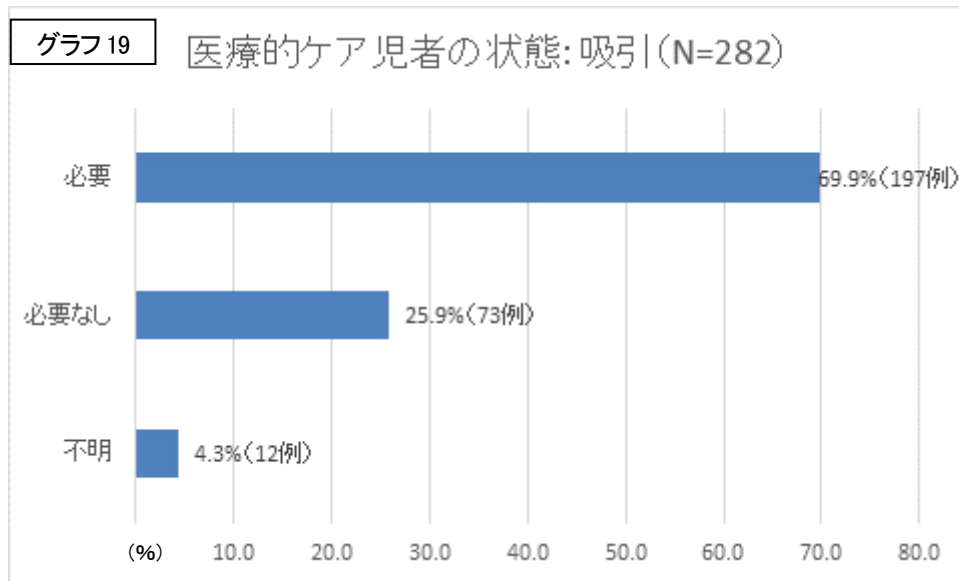
○医療的ケア児者のうち、在宅酸素療法を使用している(51.4%)、使用していない(42.9%)であった。



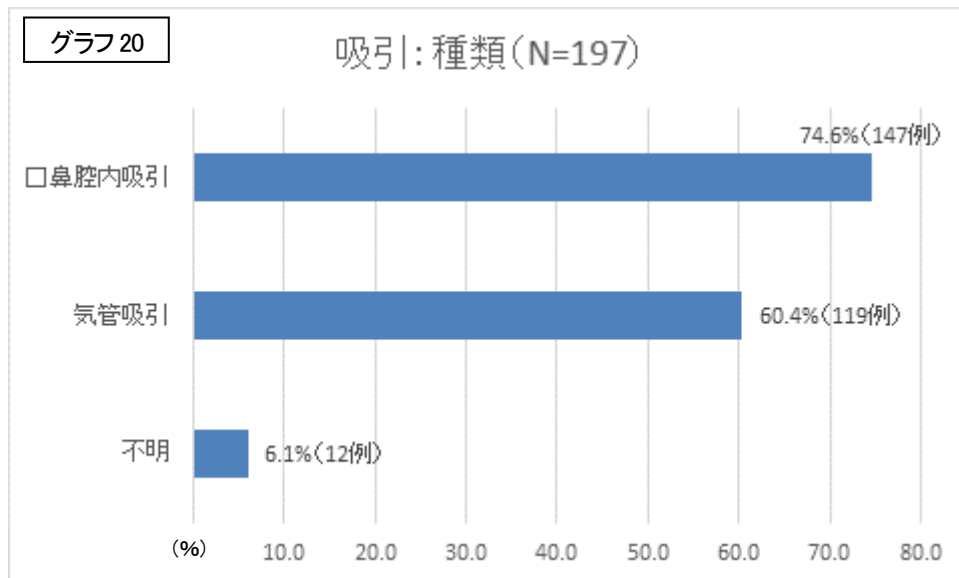
○在宅酸素療法の使用時間は、24時間(46.2%)が最も多く、次いでその他(31.0%)となっている。  
その他の平均時間は5.8時間となっている。



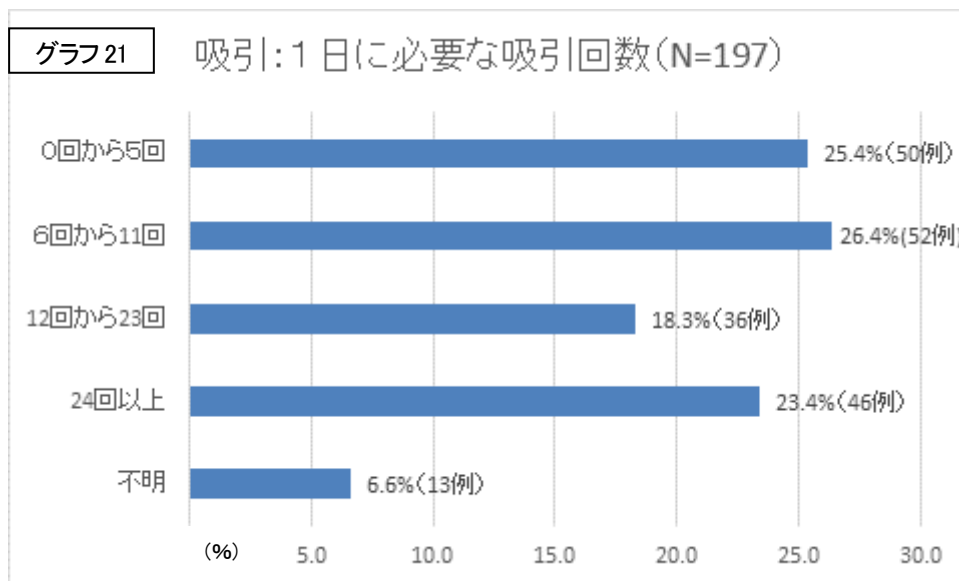
○医療的ケア児者のうち、吸引が必要(69.9%)、必要なし(25.9%)であった。



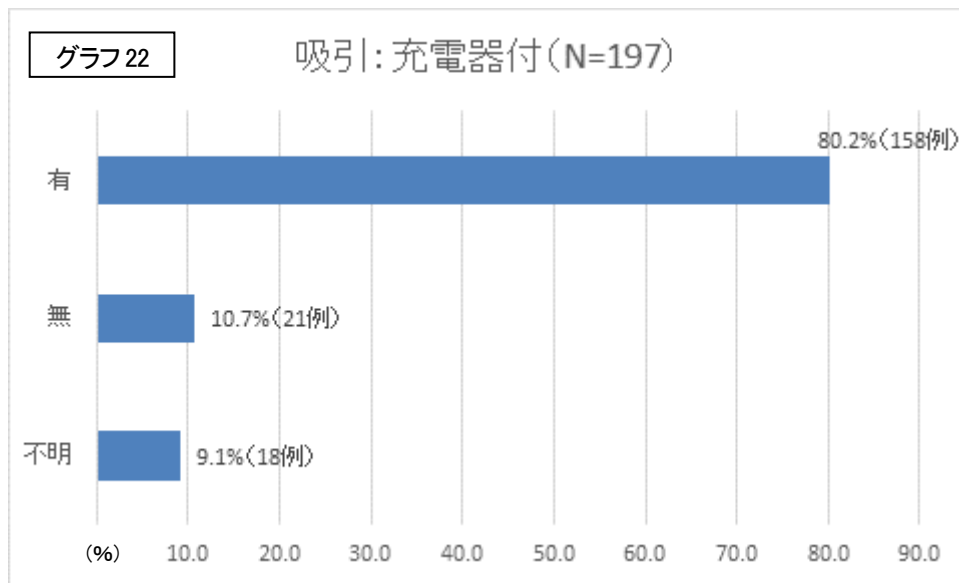
○吸引の種類は、口鼻腔内吸引(74.6%)、気管吸引(60.4%)であった。



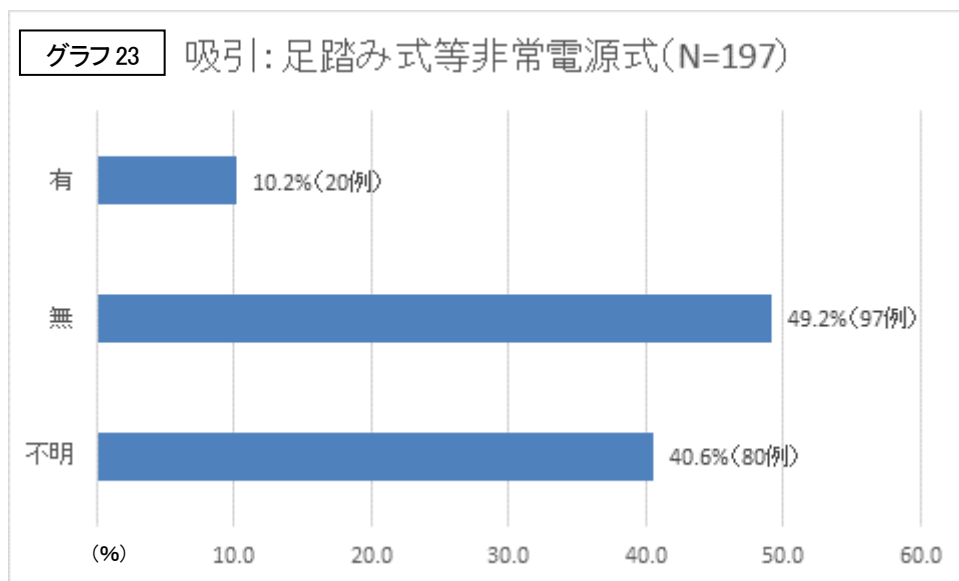
○1日に必要な吸引回数は、6回から11回(26.4%)が最も多く、次いで0回から5回(25.4%)、24回以上(23.4%)、12回から23回(18.3%)となっている。



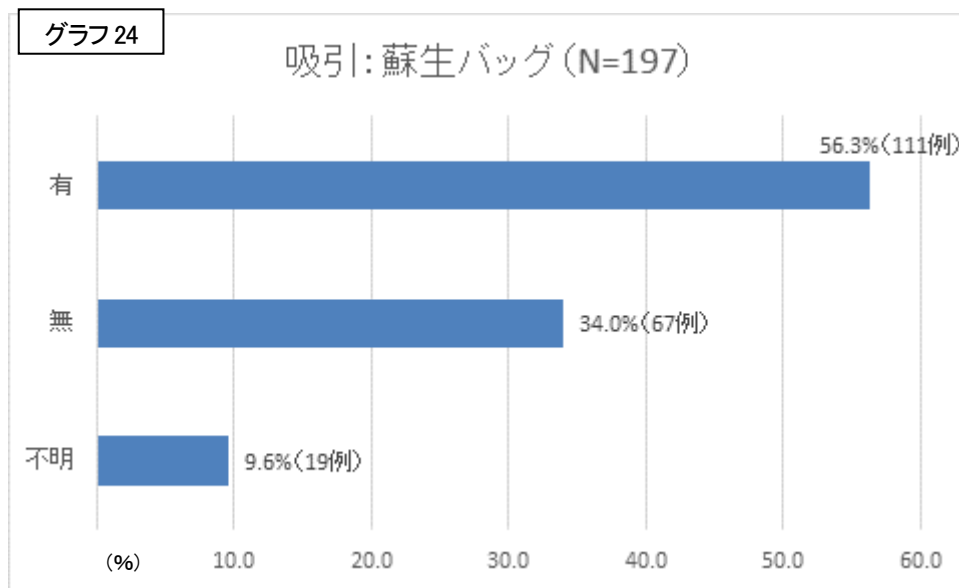
○吸引器は充電器付が有(80.2%)、無(10.7%)であった。



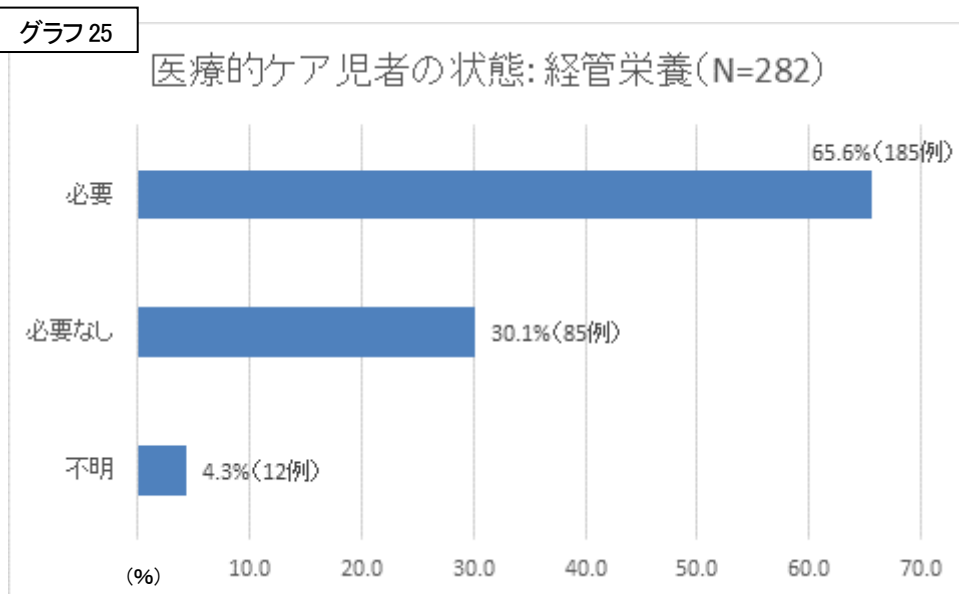
○吸引器は足踏み式等非常電源式が有(10.2%)、無(49.2%)であった。



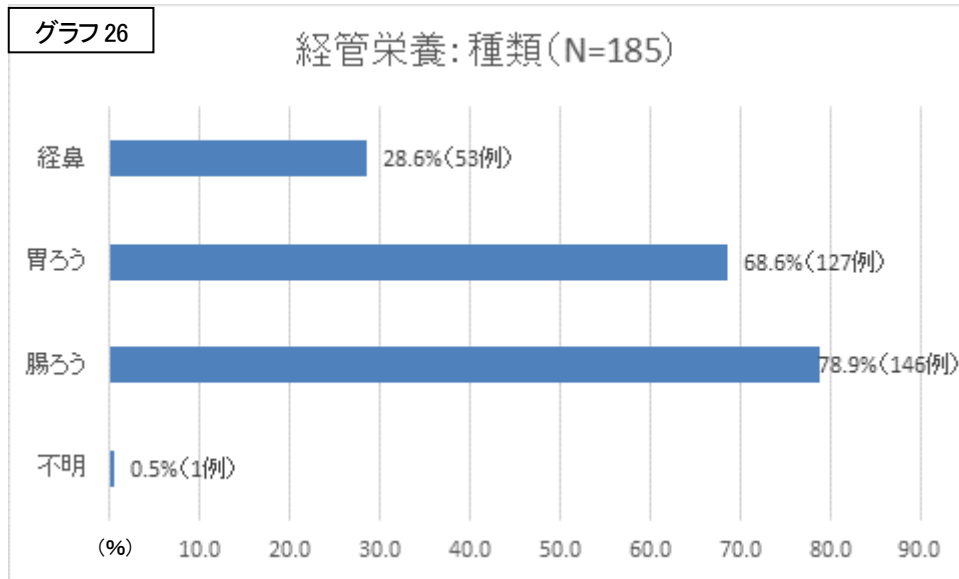
○吸引器は蘇生バッグが有(56.3%)、無(34.0%)であった。



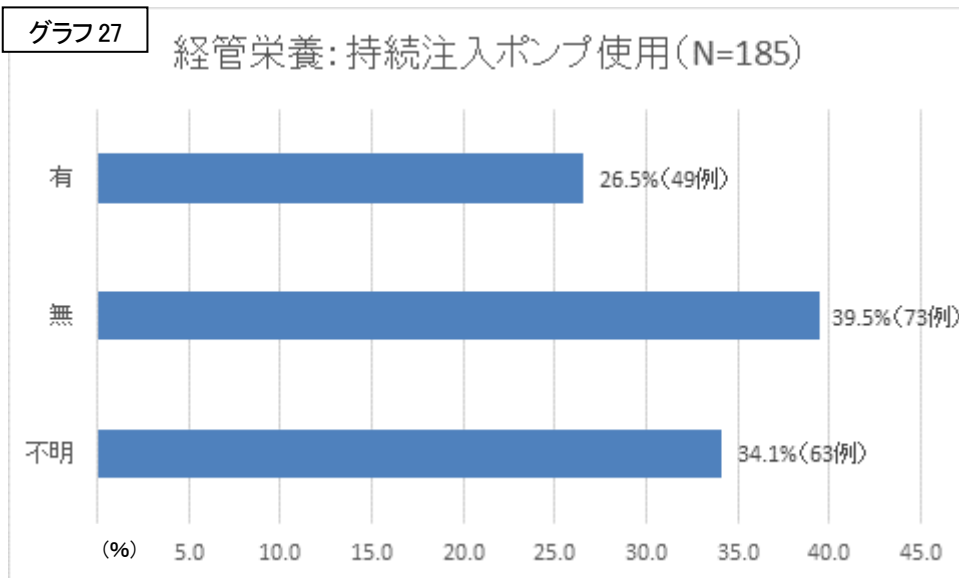
○医療的ケア児者のうち、経管栄養が必要(65.6%)、必要なし(30.1%)であった。



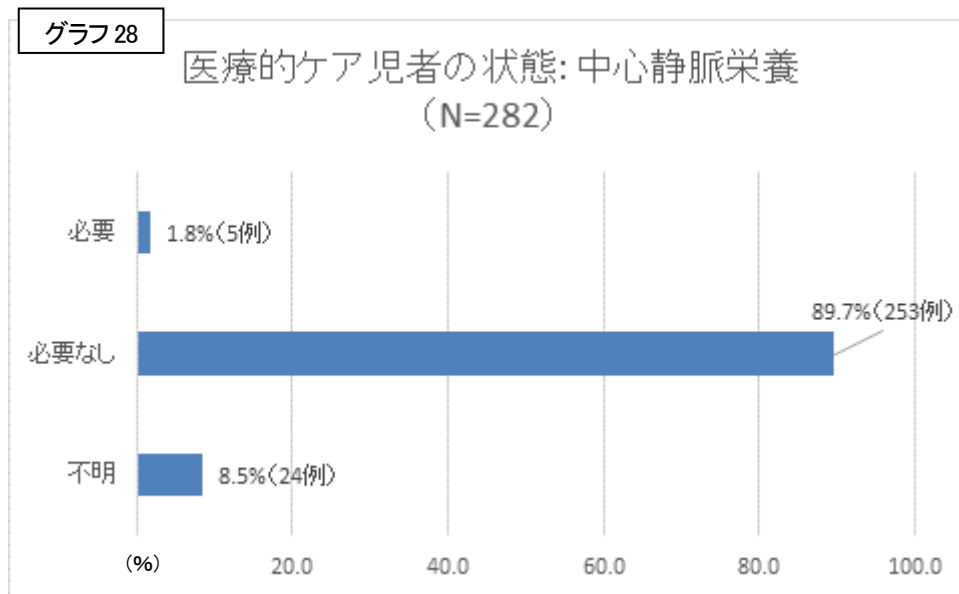
○経管栄養の種類は、腸ろう(78.9%)が最も多く、次いで胃ろう(68.6%)、経鼻(28.6%)となっている。1日の平均は3.8回となっている。



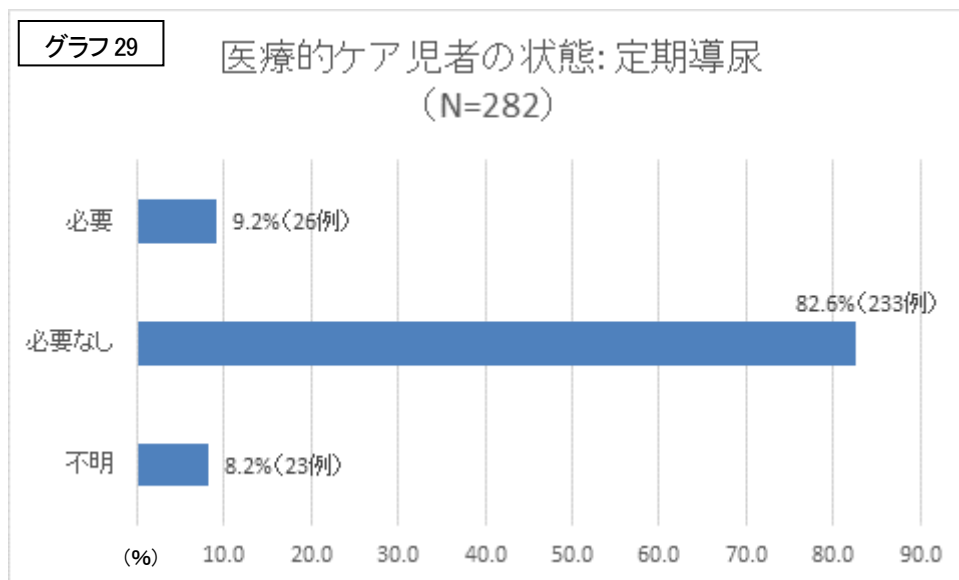
○経管栄養の持続注入ポンプは有(26.5%)、無(39.5%)であった。



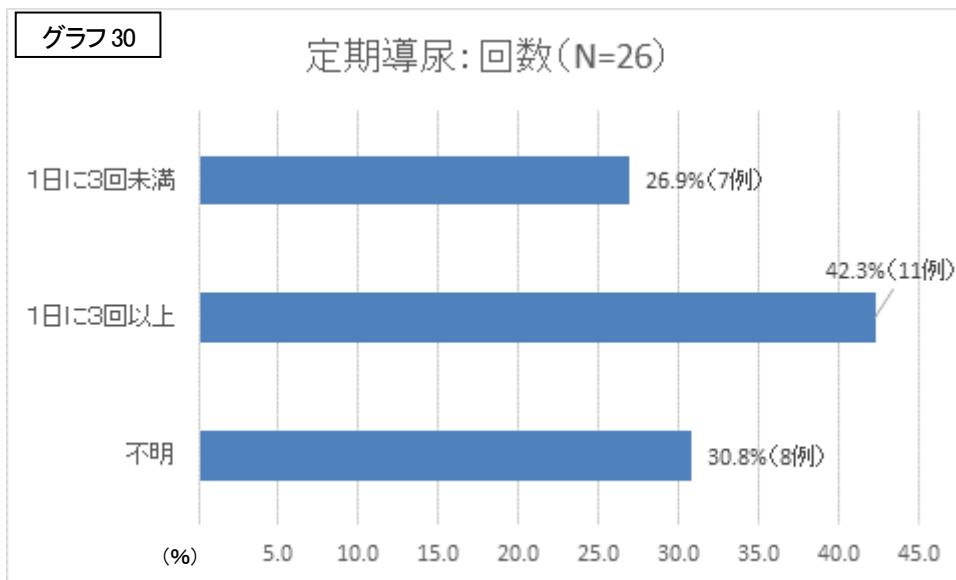
○医療的ケア児者のうち、中心静脈栄養が必要(1.8%)、必要なし(89.7%)であった。



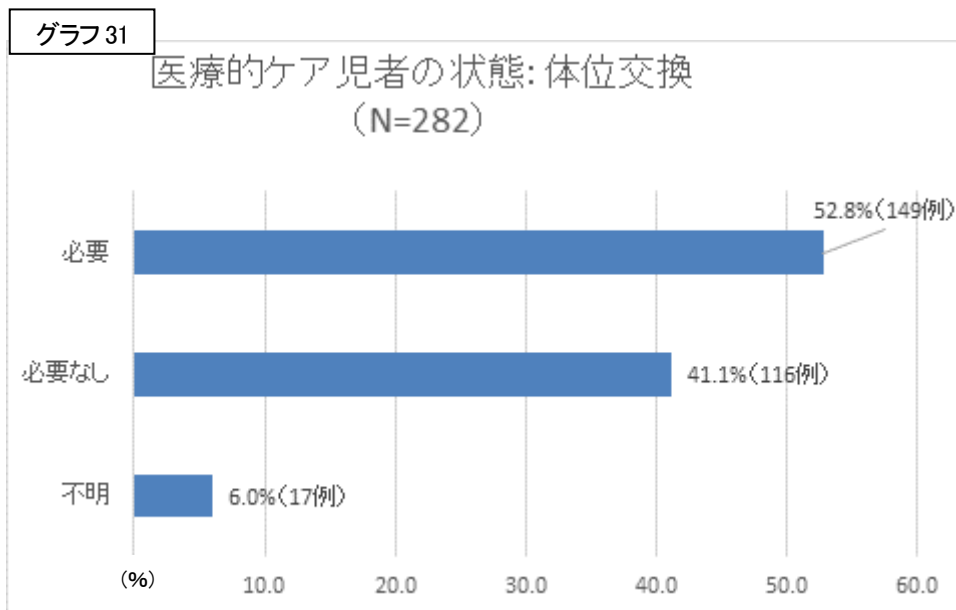
○医療的ケア児者のうち、定期導尿が必要(9.2%)、必要なし(82.6%)であった。



○定期導尿の回数は、1日に3回以上(42.3%)、1日に3回未満(26.9%)であった。

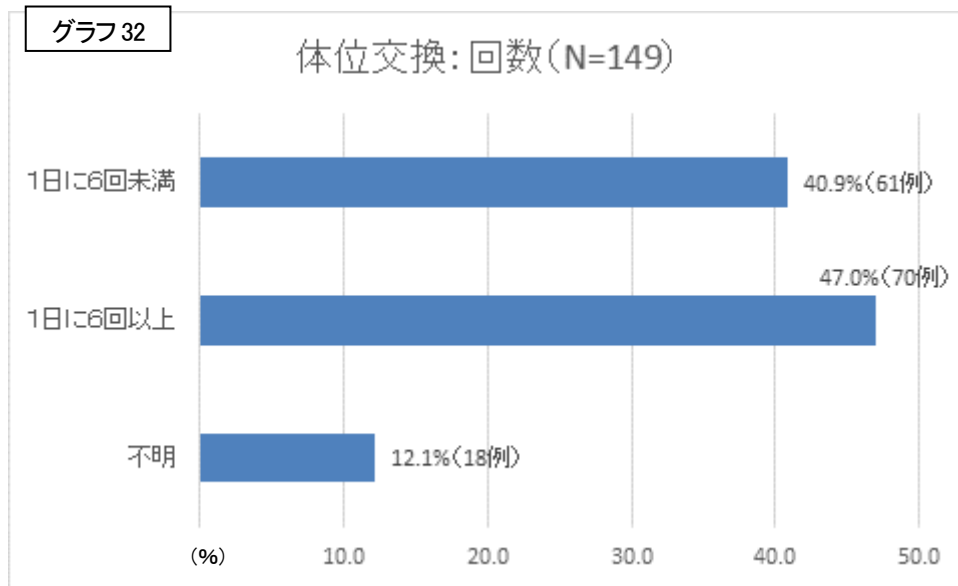


○医療的ケア児者のうち、体位交換が必要(52.8%)、必要なし(41.1%)であった。

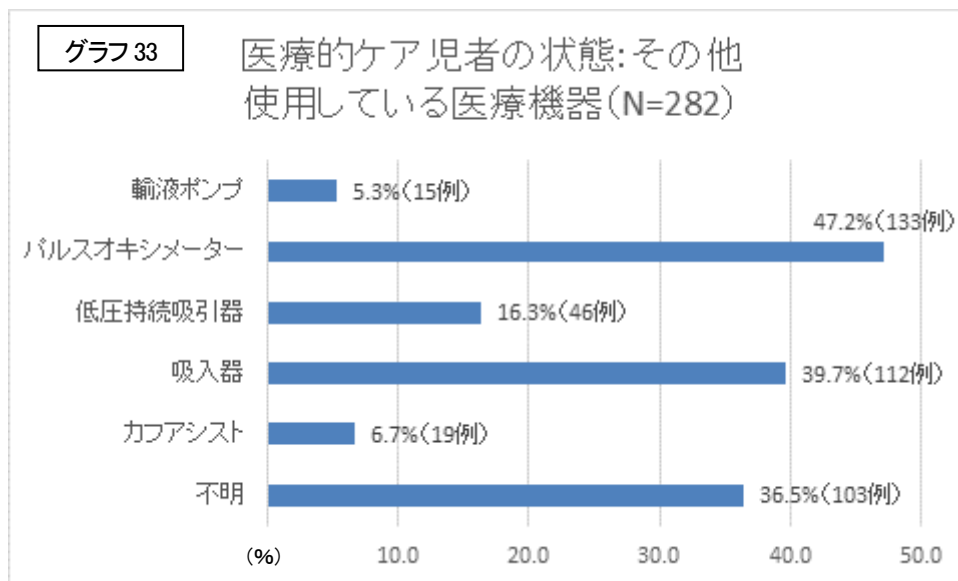




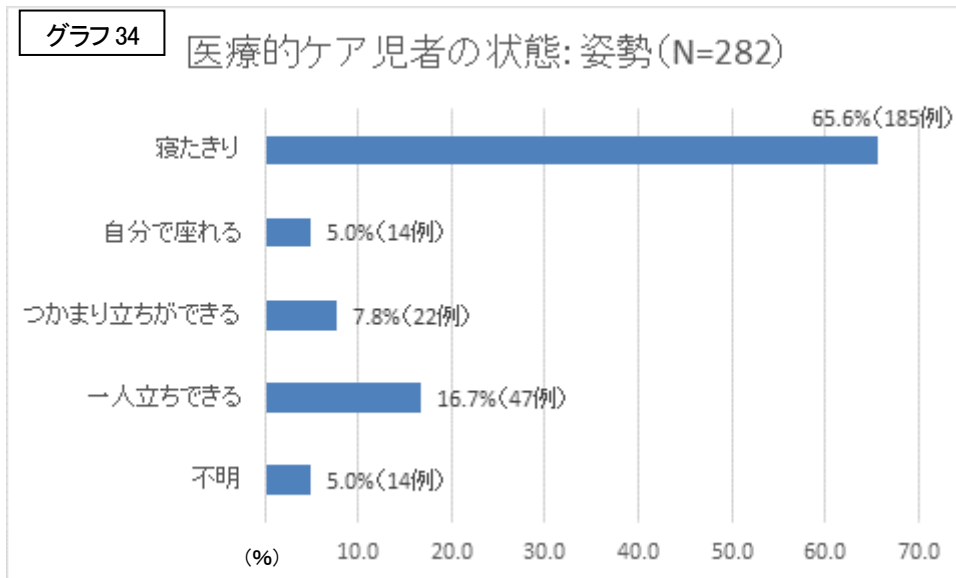
○体位交換の回数は、1日に6回以上(47.0%)、1日に6回未満(40.9%)であった。



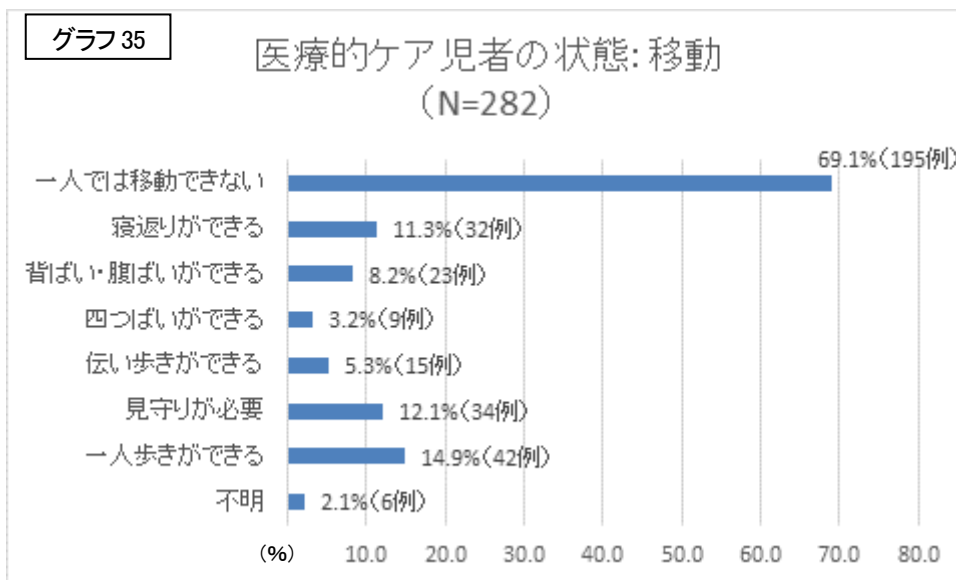
○医療的ケア児がその他使用している医療機器は、パルスオキシメーター(47.2%)が最も多く、次いで吸入器(39.7%)となっている。



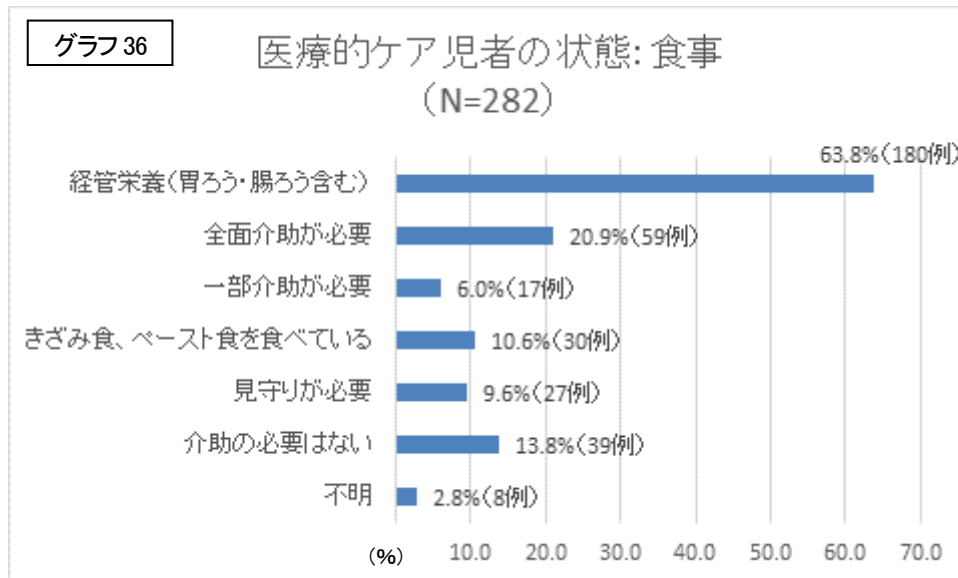
○医療的ケア児者の姿勢は、寝たきり(65.6%)が最も多く、次いで1人立ちできる(16.7%)となっている。



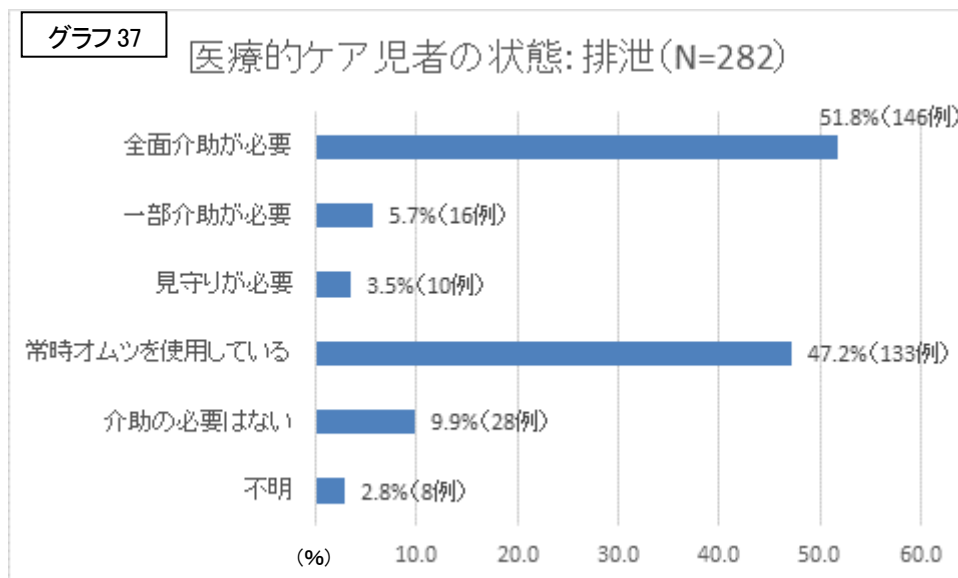
○医療的ケア児者の移動は、1人では移動できない(69.1%)が最も多く、次いで1人歩きができる(14.9%)となっている。



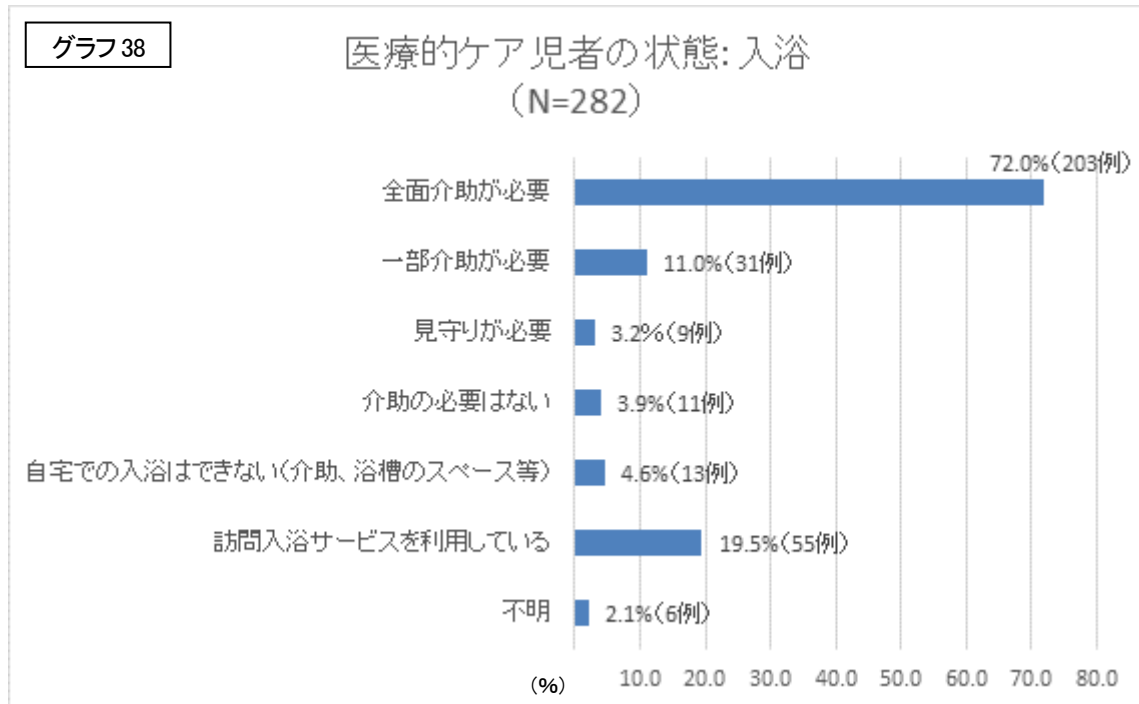
○医療的ケア児者の食事は、経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む) (63.8%)が最も多く、次いで全面介助が必要(20.9%)となっている。経管栄養は1日平均3.8回、全面介助は1日平均2.9回、1.8時間となっている。



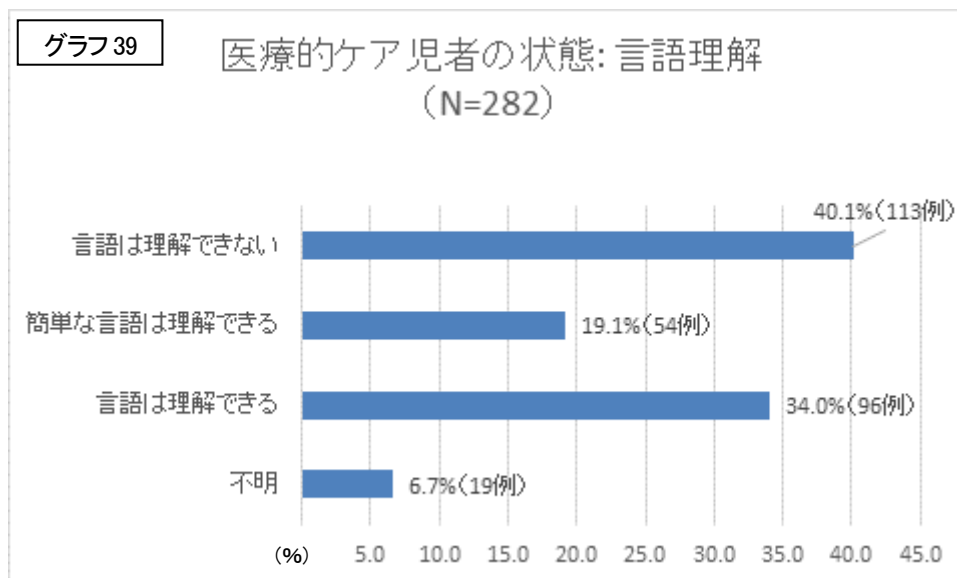
○医療的ケア児者の排泄は、全面介助が必要(51.8%)が最も多く、次いで常時オムツを使用している(47.2%)となっている。



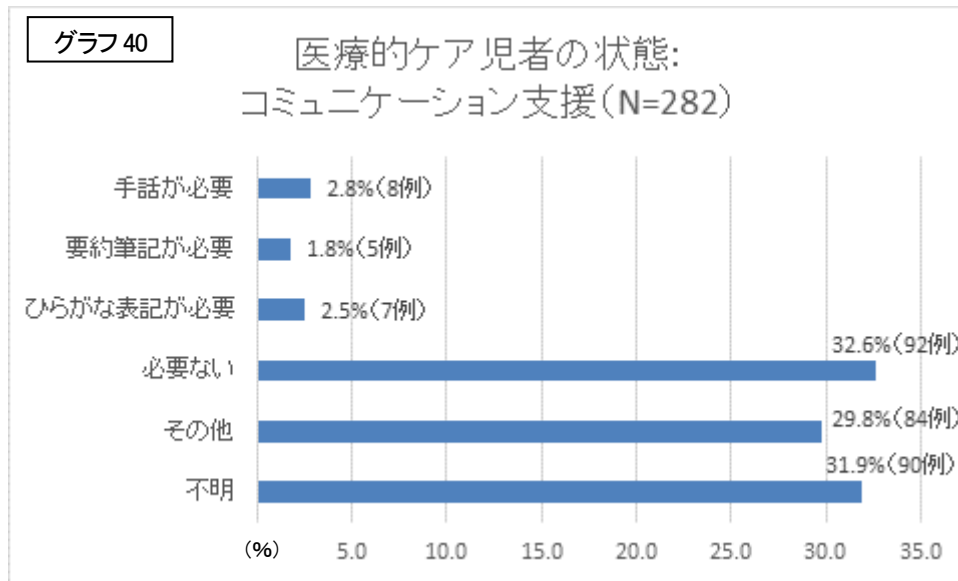
○医療的ケア児者の入浴は、全面介助が必要(72.0%)が最も多く、次いで訪問入浴サービスを利用している(19.5%)となっている。



○医療的ケア児者の言語理解は、言語は理解できない(40.1%)が最も多く、次いで言語は理解できる(34.0%)となっている。



○医療的ケア児者のコミュニケーション支援は、必要ない(32.6%)が最も多く、次いでその他(29.8%)となっている。



質問4(2)

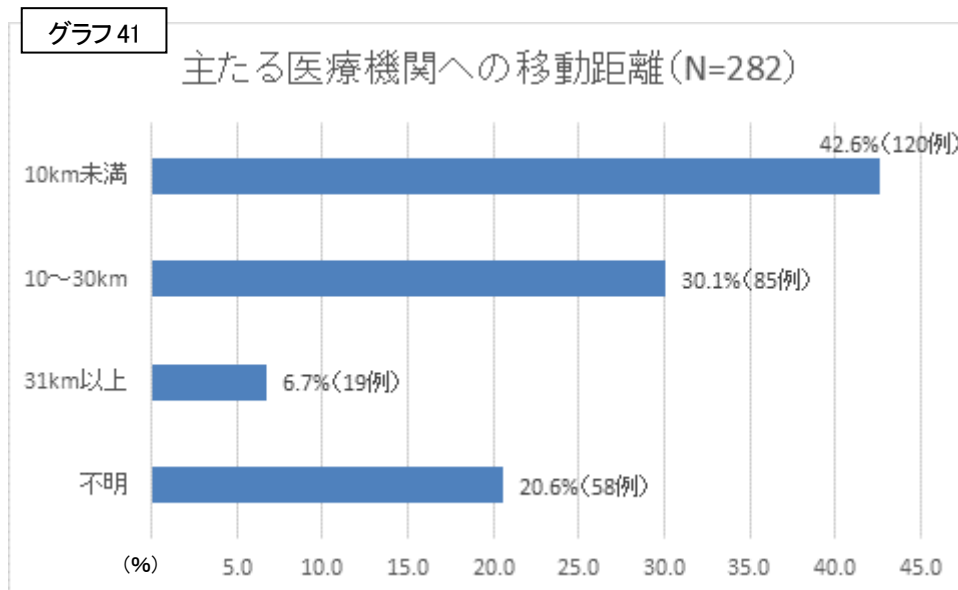
○人工呼吸器を開始してからの年数は、平均6.6年となっている。  
○気管切開を開始してからの年数は、平均7.4年となっている。

質問4(3)

○主たる医療機関への通院は平均月1.5回であり、所要時間は、片道平均28.8分となっている。  
訪問は月平均2.4回となっている。

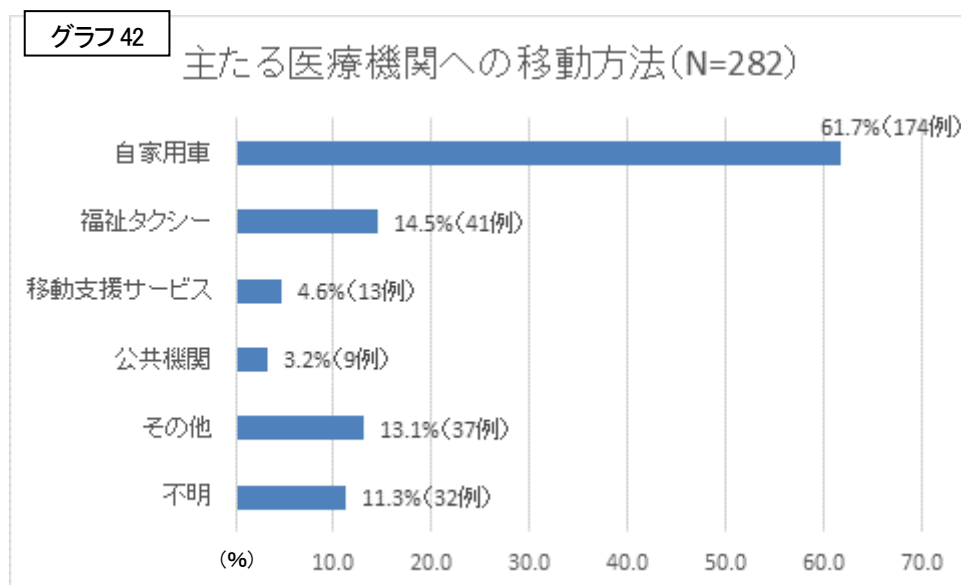
質問4(4)①

○主たる医療機関への移動距離は、10km未満(42.6%)が最も多く、次いで10～30km(30.1%)となっている。



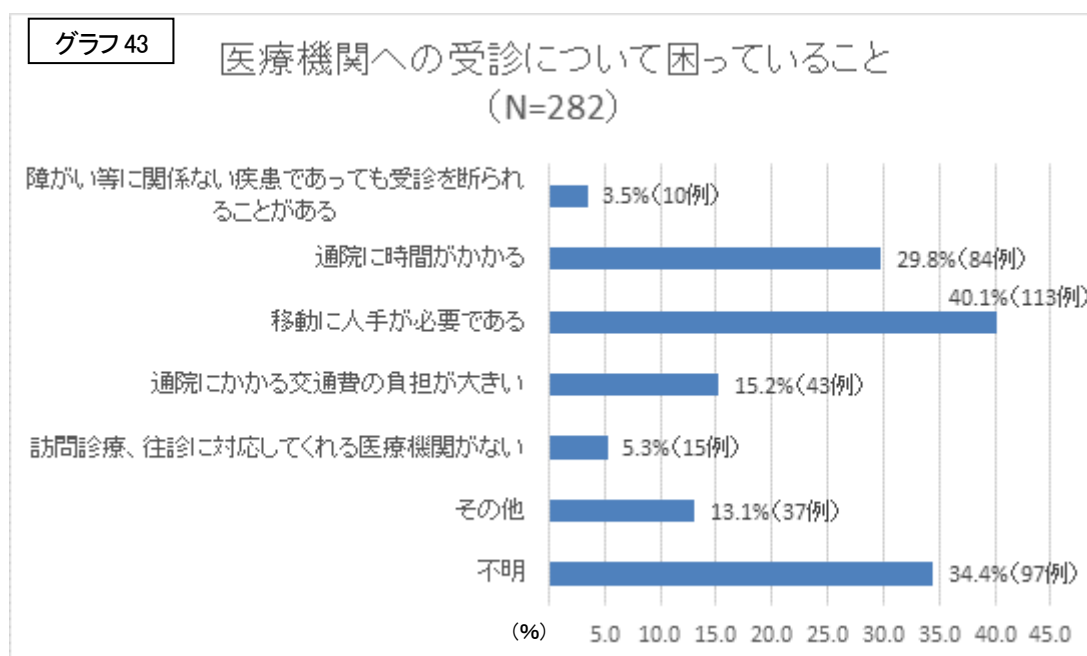
#### 質問4(4)②

○主たる医療機関への移動方法は、自家用車(61.7%)が最も多く、次いで福祉タクシー(14.5%)となっている。



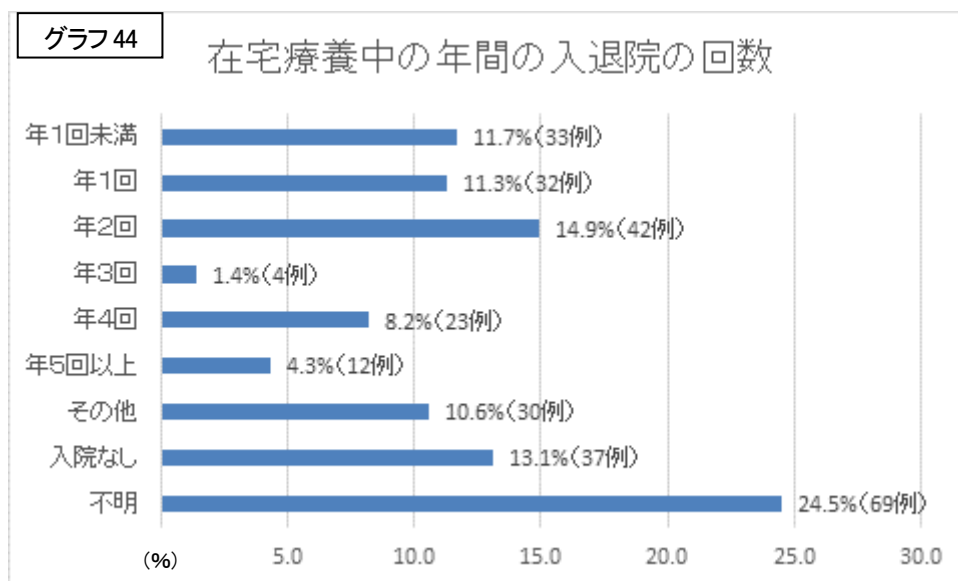
#### 質問4(5)

○医療機関への受診について困っていることは、移動に人手が必要である(40.1%)が最も多く、次いで通院に時間がかかる(29.8%)、通院にかかる交通費の負担が大きい(15.2%)となっている。



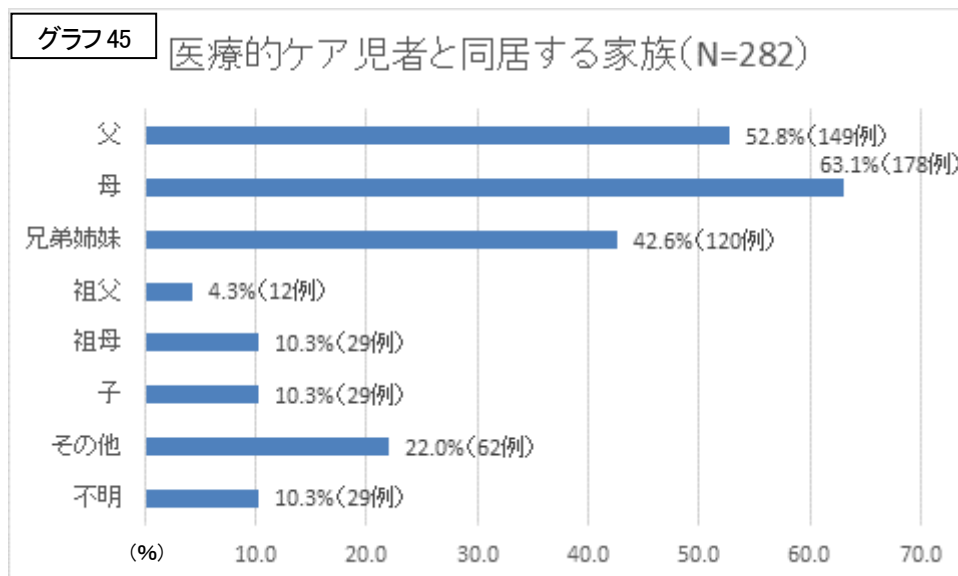
質問4(6)

○在宅療養中の年間の入退院の回数は、年2回(14.9%)が最も多く、次いで入院なし(13.1%)、年1回未満(11.7%)、年1回(11.3%)となっている。



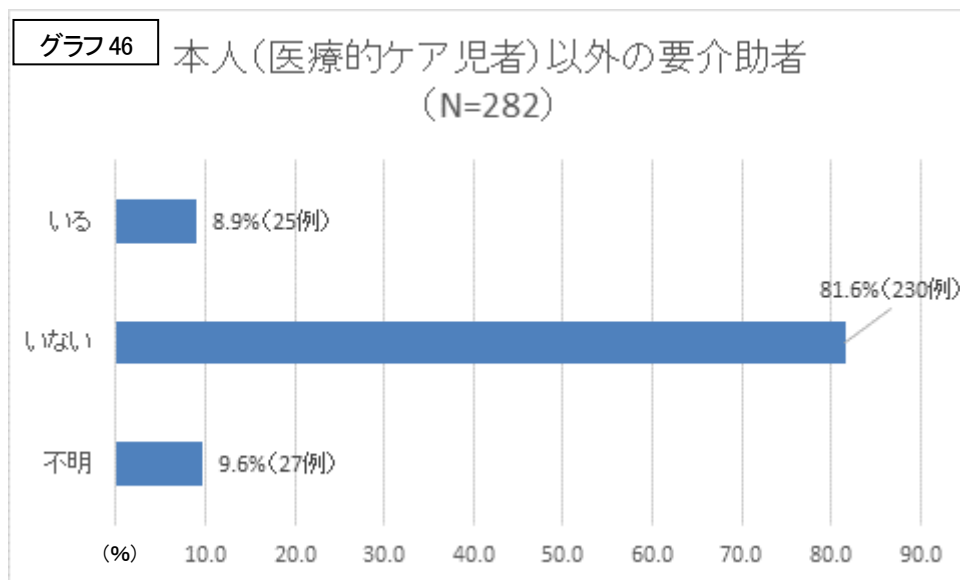
質問5(1)

○医療的ケア児者と同居する家族は、母(63.1%)が最も多く、次いで父(52.8%)、兄弟姉妹(42.6%)となっている。



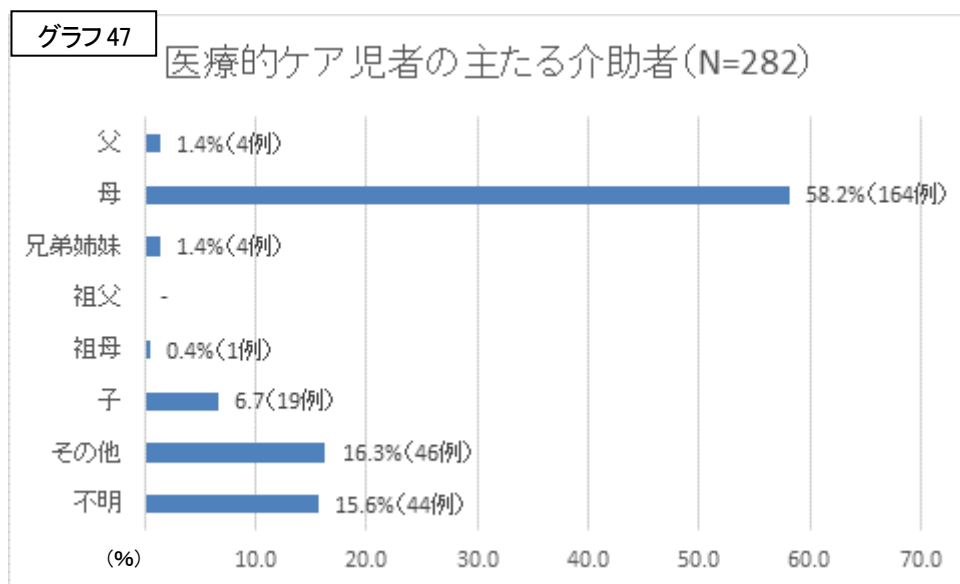
質問5(2)

○同居家族のうち、医療的ケア児者本人以外で介助が必要な人は、いる(8.9%)、いない(81.6%)となっている。



質問5(3)

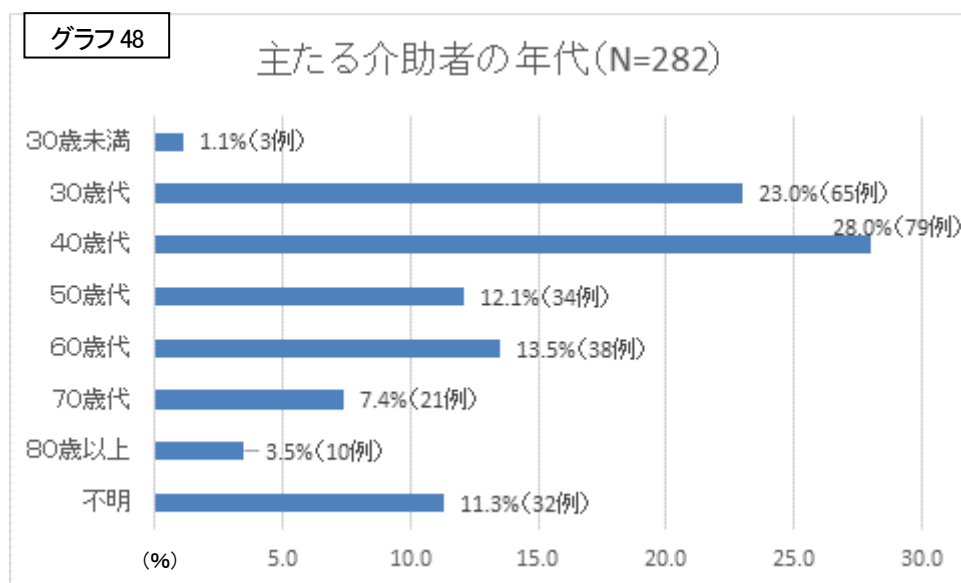
○医療的ケア児者の主たる介助者は、母(58.2%)が最も多く、次いでその他(16.3%)となっている。





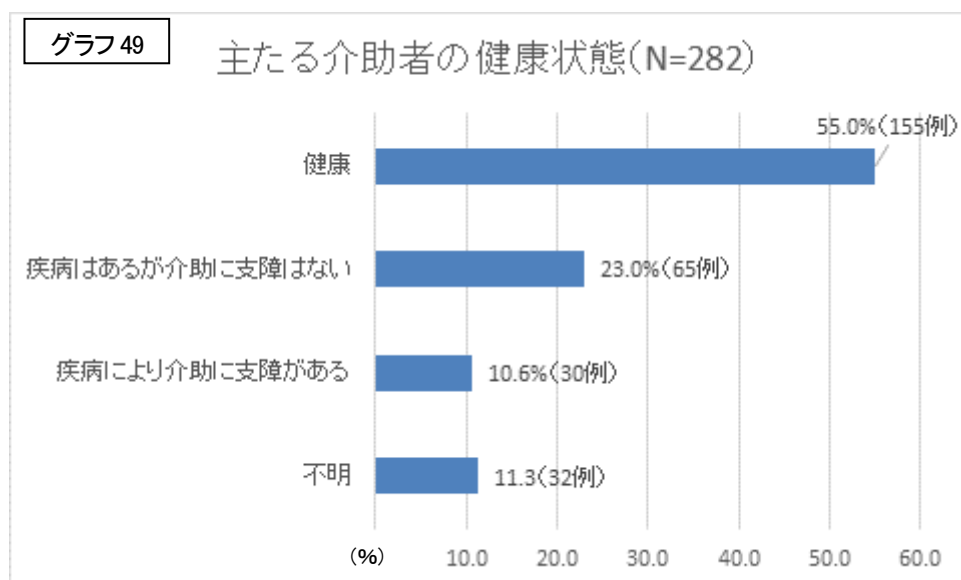
#### 質問5(4)

○医療的ケア児者の主たる介助者の年齢は、40歳代(28.0%)が最も多く、次いで30歳代(23.0%)、60歳代(13.5%)となっている。



#### 質問5(5)

○医療的ケア児者の主たる介助者の健康状態は、健康(55.0%)が最も多く、次いで疾病はあるが介助に支障はない(23.0%)、疾病により介助に支障がある(10.6%)となっている。

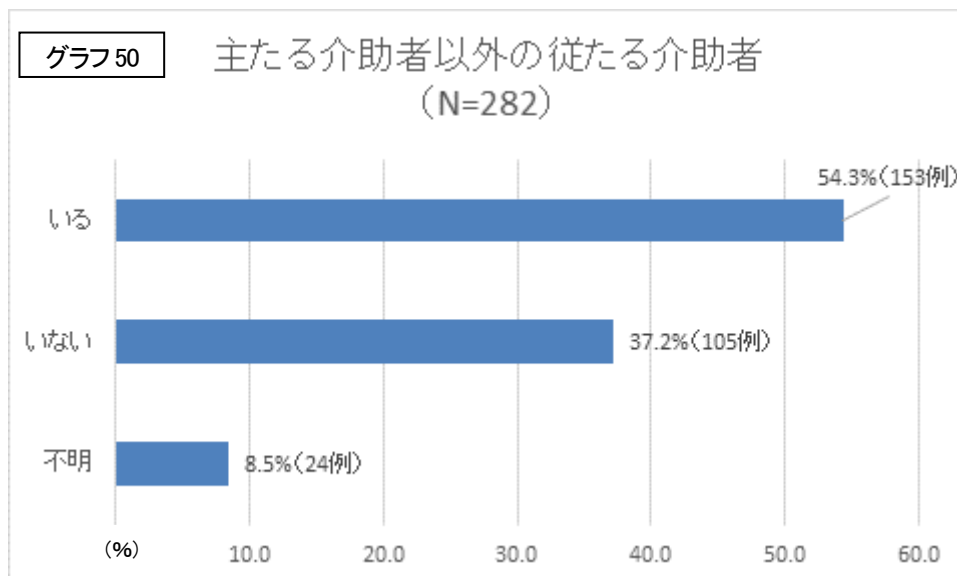


#### 質問5(6)

○医療的ケア児者の主たる介助者の平均睡眠時間は、5.3 時間となっている。

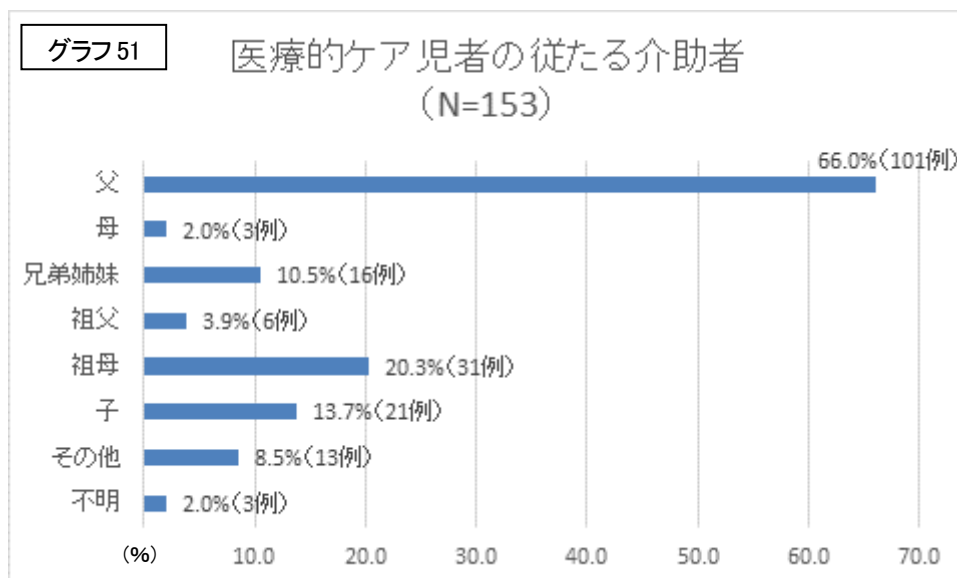
質問5(7)

○医療的ケア児者の主たる介助者以外の従たる介助者は、いる(54.3%)、いない(37.2%)となっている。



質問5(8)①

○医療的ケア児者の従たる介助者は、父(66.0%)が最も多く、次いで祖母(20.3%)、子(13.7%)、兄弟姉妹(10.5%)となっている。



質問5(8)②

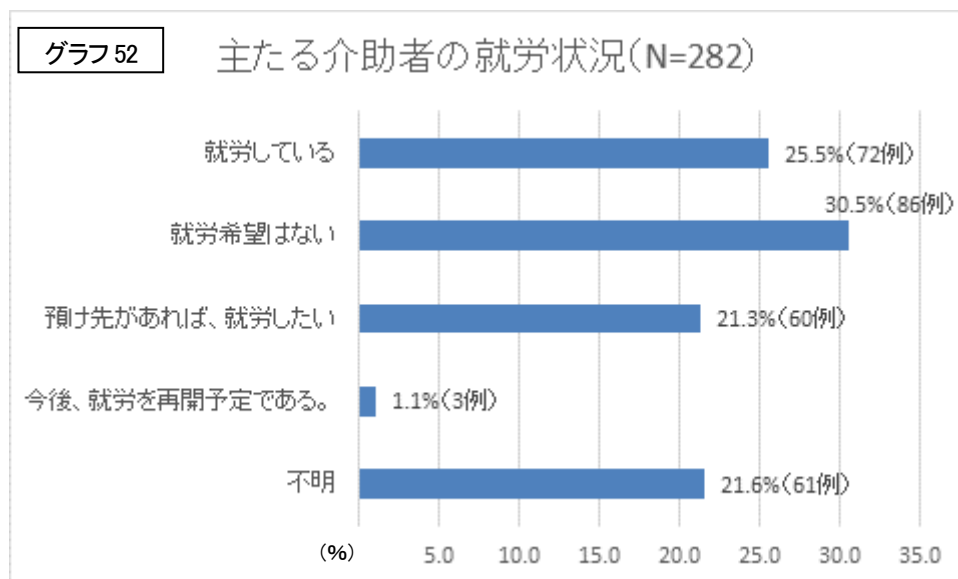
○医療的ケア児者の従たる介助者の平均睡眠時間は 6.1 時間となっている。

質問5(9)

○主たる介助者の就労状況は、「就労希望はない」が 30.5%で最も多く、次いで「就労している」が 25.5%、「預け先があれば、就労したい」が 21.3%、「今後、就労を再開予定である」は 1.1%となっている。

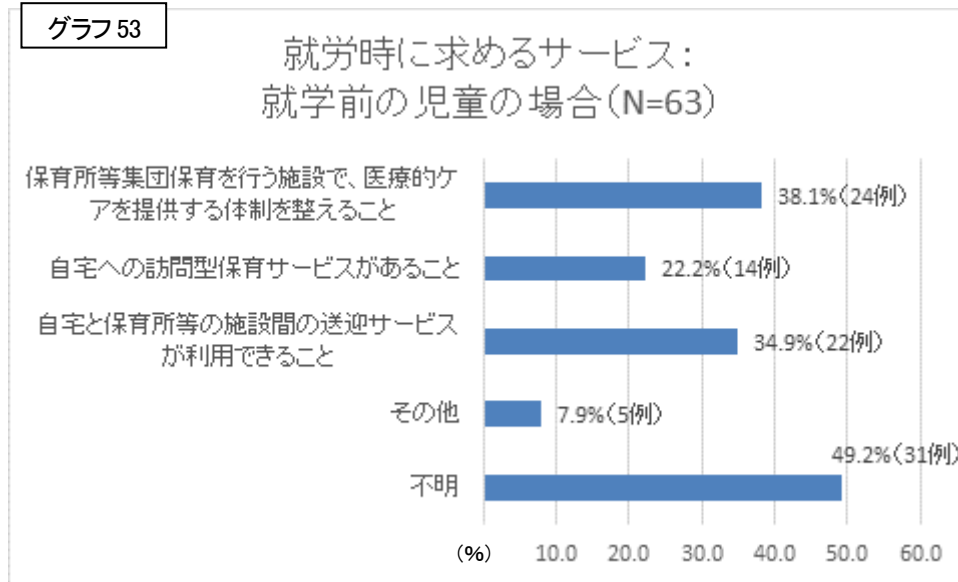
○「就労している」と回答した者の平均就労時間は、週 4.5 日、一日 6.2 時間となった。

○「今後、就労を再開予定である」と回答した者の再開予定時期の子どもの年齢は平均 7 歳であった。



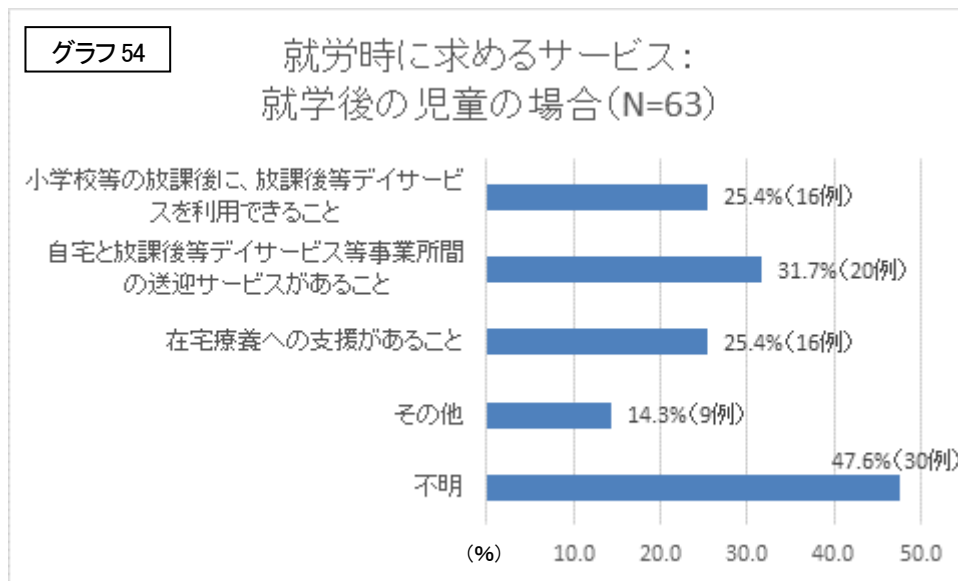
質問5(10)①

○小学校就学前の児童の場合、就労を希望する者が就労時に求めるサービスは、「保育所等集団保育を行う施設で、医療的ケアを提供する体制を整えること」が38.1%で最も多く、次いで「自宅と保育所等の施設間の送迎サービスが利用できること」が34.9%、「自宅への訪問型保育サービスがあること」が22.2%となった。



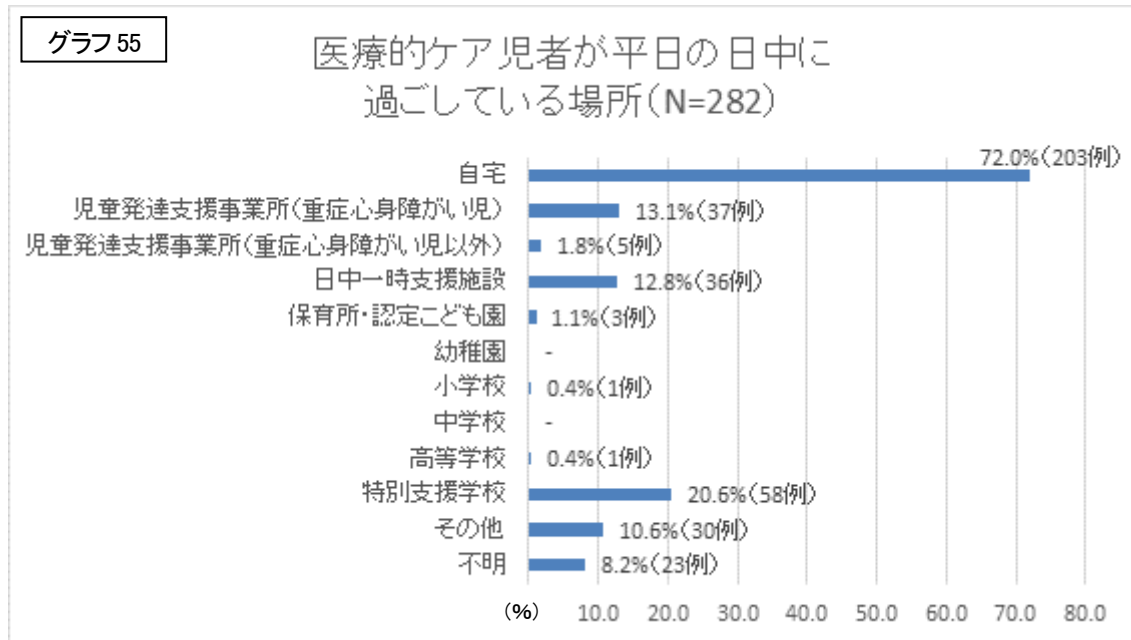
質問5(10)②

○小学校就学後の児童の場合、「自宅と放課後等デイサービス等事業所間の送迎サービスがあること」が31.7%で最も多く、次いで「小学校等の放課後に放課後等デイサービスを利用できること」、「在宅療養への支援があること」がそれぞれ25.4%となった。



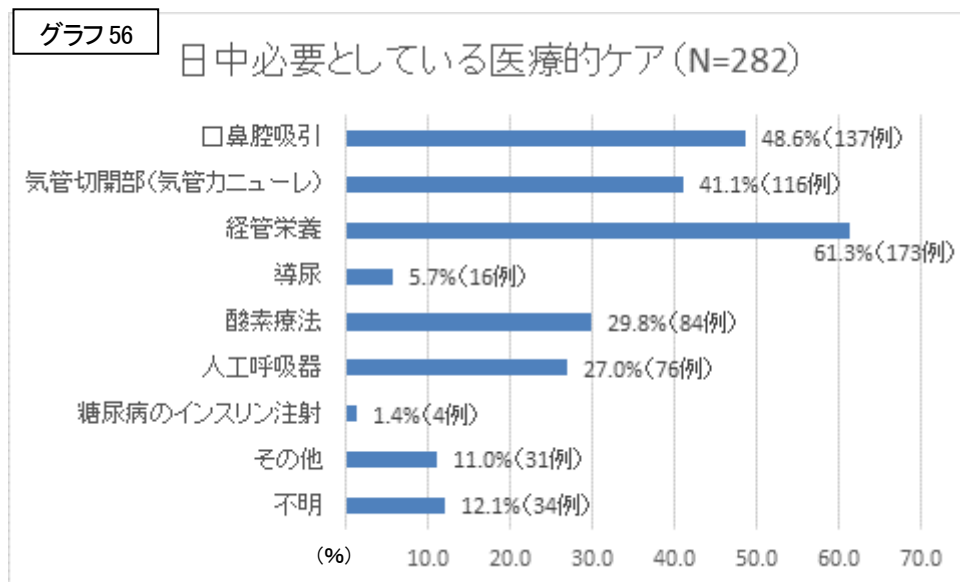
質問6(1)

○医療的ケアが必要な方が平日の日中に過ごしている場所は、「自宅」が72%で最も多く、次いで「特別支援学校」が20.6%、「児童発達支援事業所(重症心身障がい児)」が13.1%、「日中一時支援施設」が12.8%となった。



質問6(2)

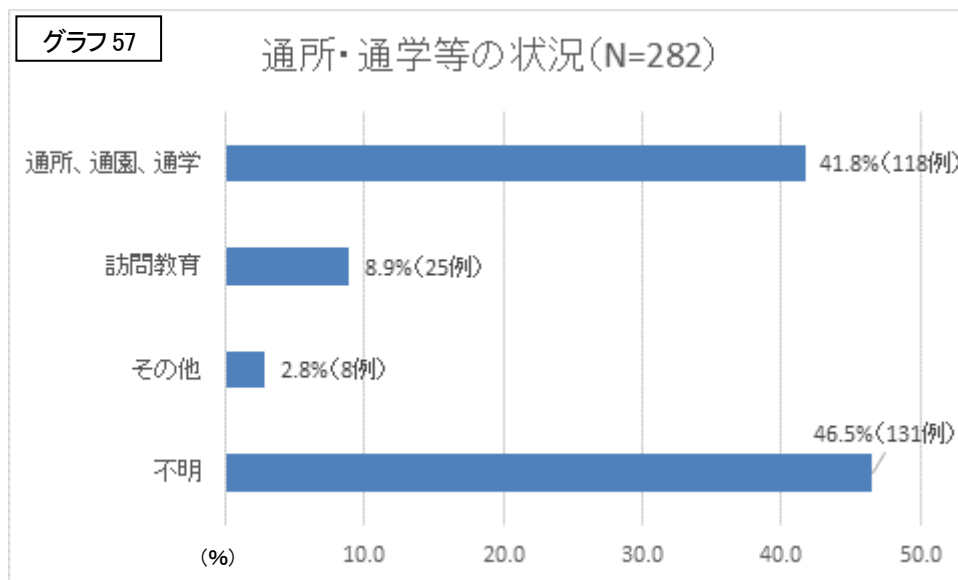
○日中過ごしている場所で必要としている医療的ケアは、「経管栄養」が61.3%で最も多く、次いで「口鼻腔吸引」が48.6%、「気管切開部(気管カニューレ)」が41.1%、「酸素療法」が29.8%、「人工呼吸器」が27.0%となっている。



質問6(3)

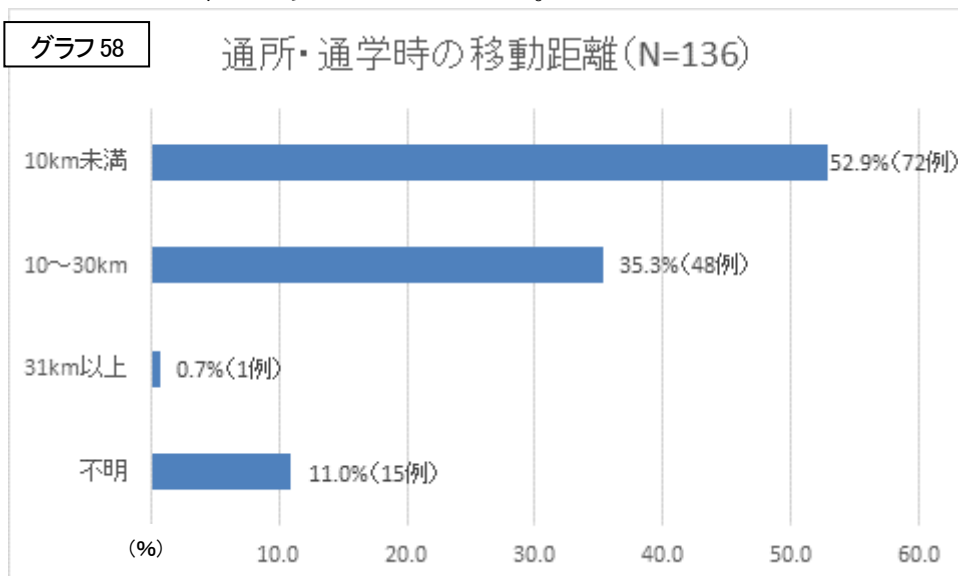
○通所・通学等の状況について、「通所、通園、通学」は 41.8%で、次いで「訪問教育」が 8.9%となった。

○「通所、通園、通学」は平均週 3.8 日、「訪問教育」は平均週 2.8 日となった。



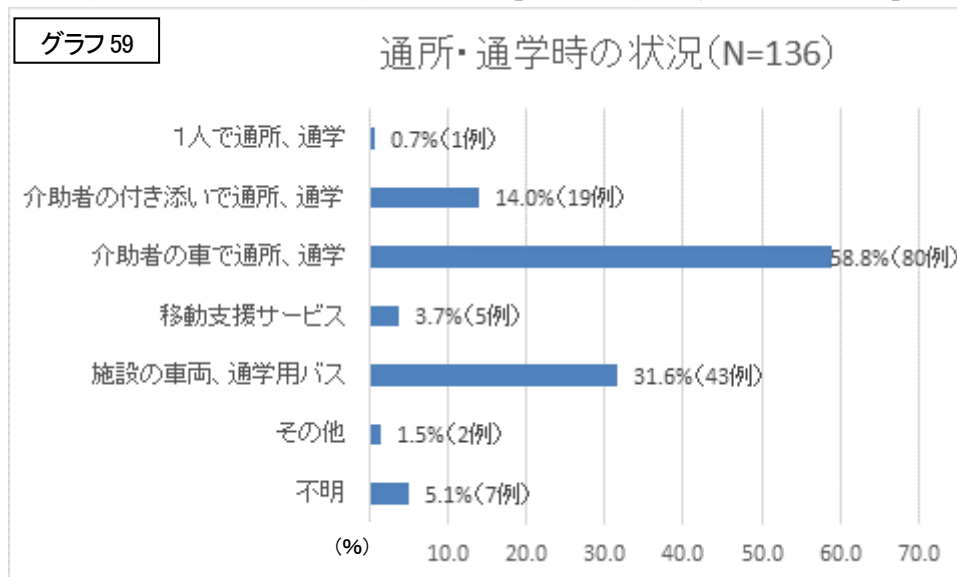
質問6(4)

○家から施設や幼稚園・学校までの移動距離は、10 km未満が 52.9%で最も多く、次いで10～30 kmが 35.3%、31 km以上が 0.7%となった。



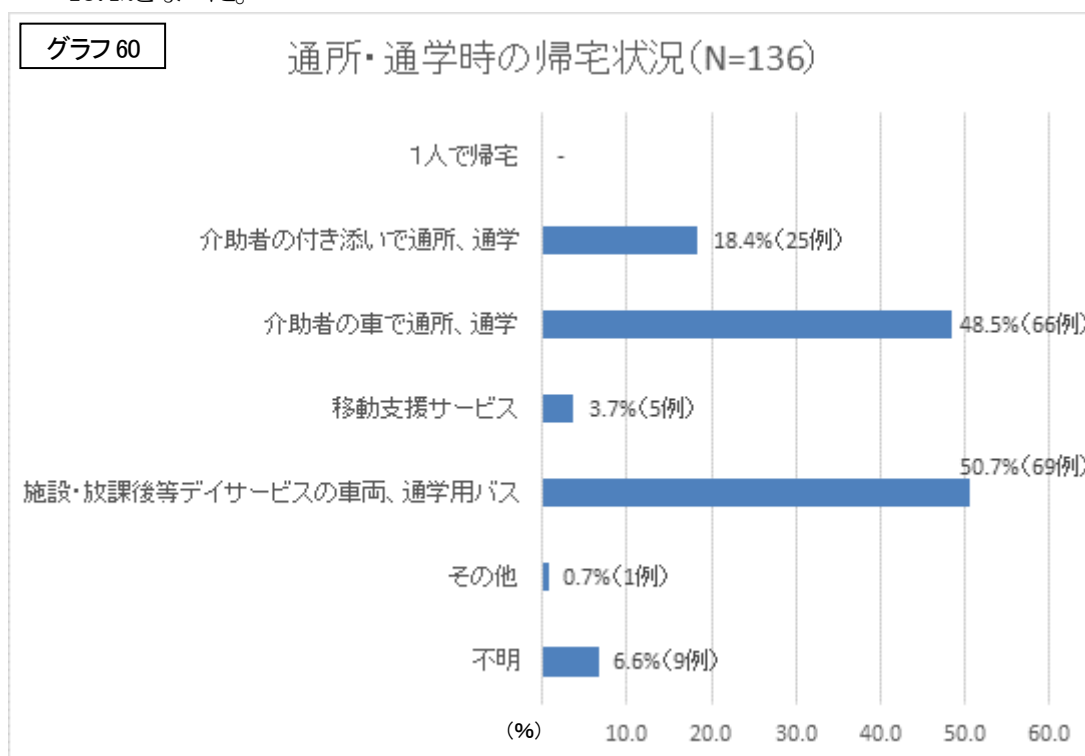
質問6(5)

○家から施設や幼稚園・学校などへの通所・通学時の状況は、「介助者の車」が 58.8%で最も多く、次いで「施設の車両、通学用バス」が 31.6%、「介助者の付き添い」が 14%となった。



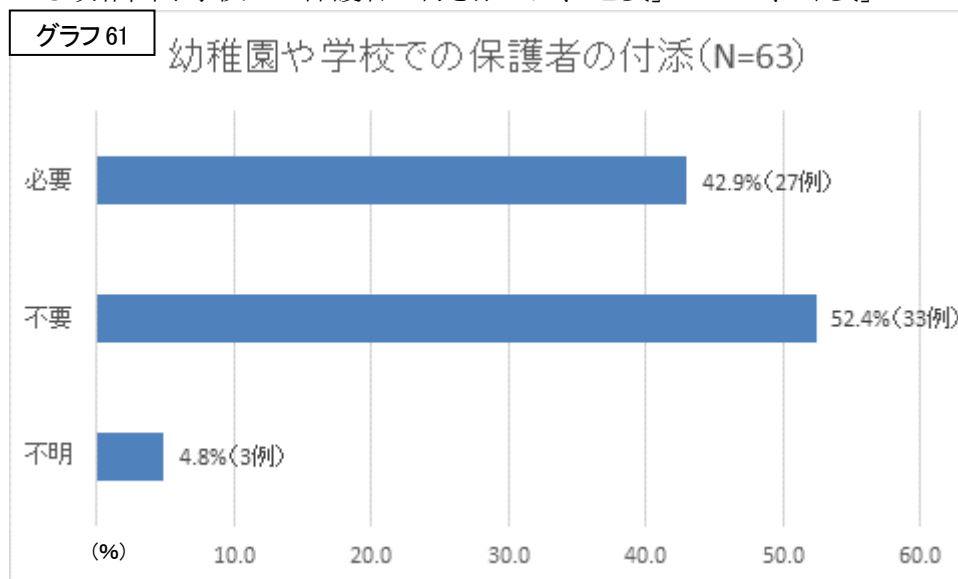
質問6(6)

○施設や幼稚園・学校などから家までの帰宅状況は、「施設・放課後等デイサービスの車両、通学用バス」が 50.7%で最も多く、次いで「介助者の車」が 48.5%、「介助者の付き添い」が 18.4%となった。



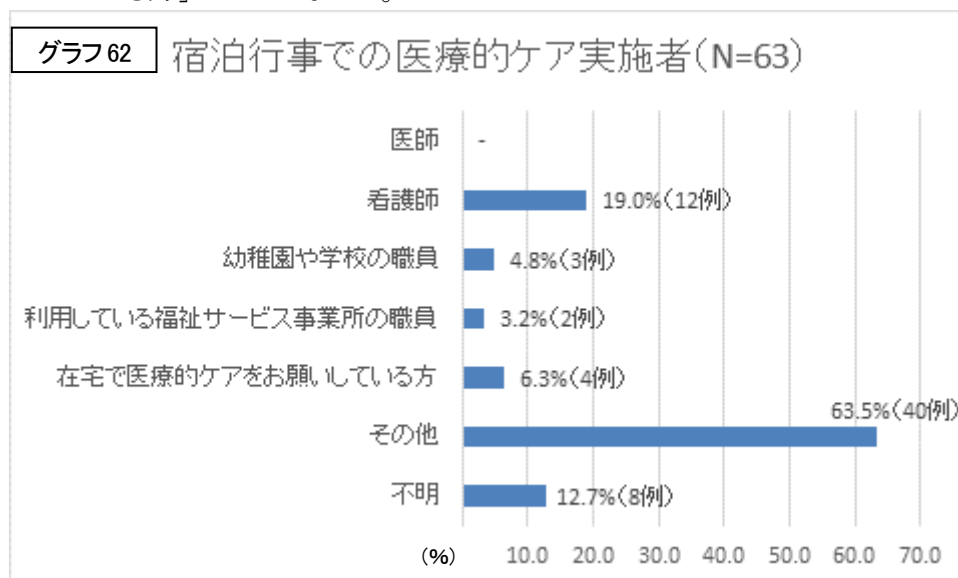
質問6(7)

○幼稚園や学校での保護者の付き添いは、「必要」が42.9%、「不要」が52.4%となった。



質問6(8)

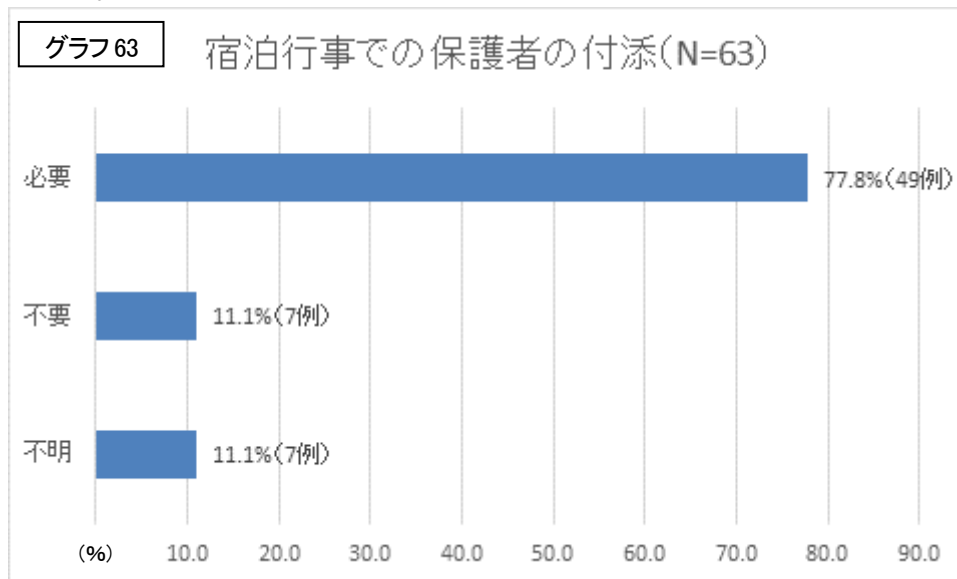
○幼稚園や学校での宿泊を伴う行事における医療的ケア実施者は、「その他」が63.5% (うち介助者(保護者)が57.1%)で最も多く、次いで「看護師」が19%、「在宅で医療的ケアをお願いしている方」が6.3%となった。





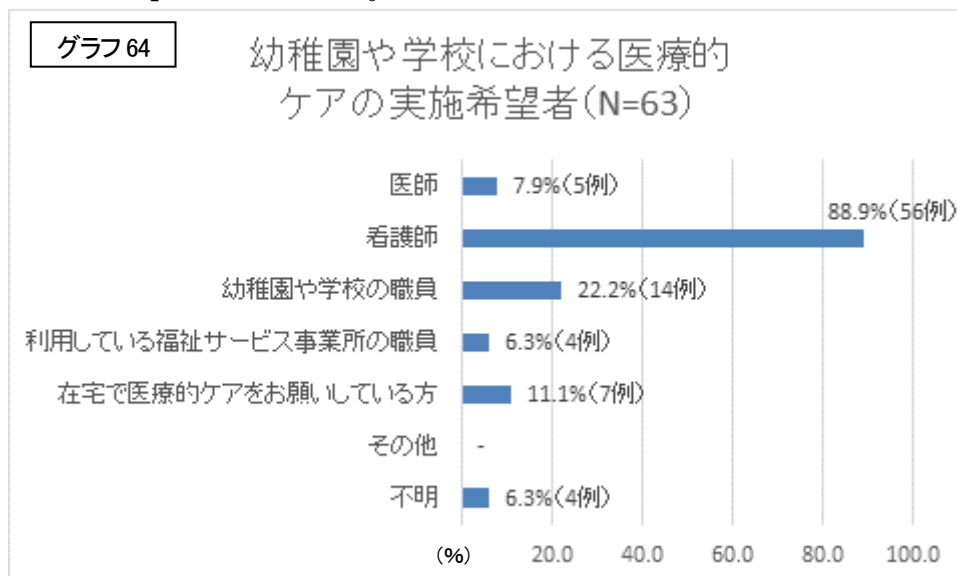
質問6(9)

○宿泊を伴う行事への参加にあたり保護者の付添は、「必要」が77.8%で、「不要」が11.1%となった。



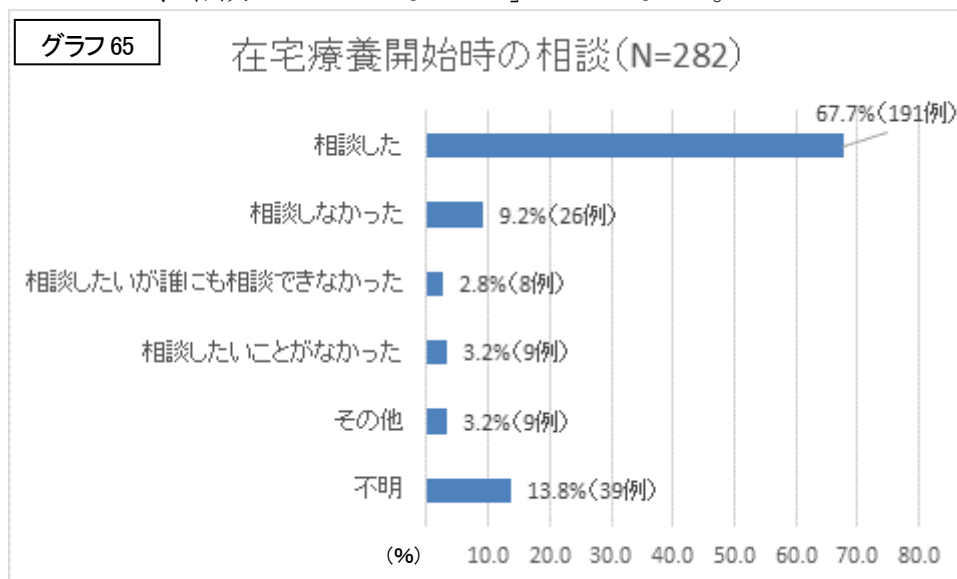
質問6(10)

○幼稚園や学校において、保護者以外で医療的ケアを実施してもらいたい人は、「看護師」が88.9%で最も多く、次いで「幼稚園や学校の職員」が22.2%、「在宅で医療的ケアをお願いしている方」が11.1%となった。



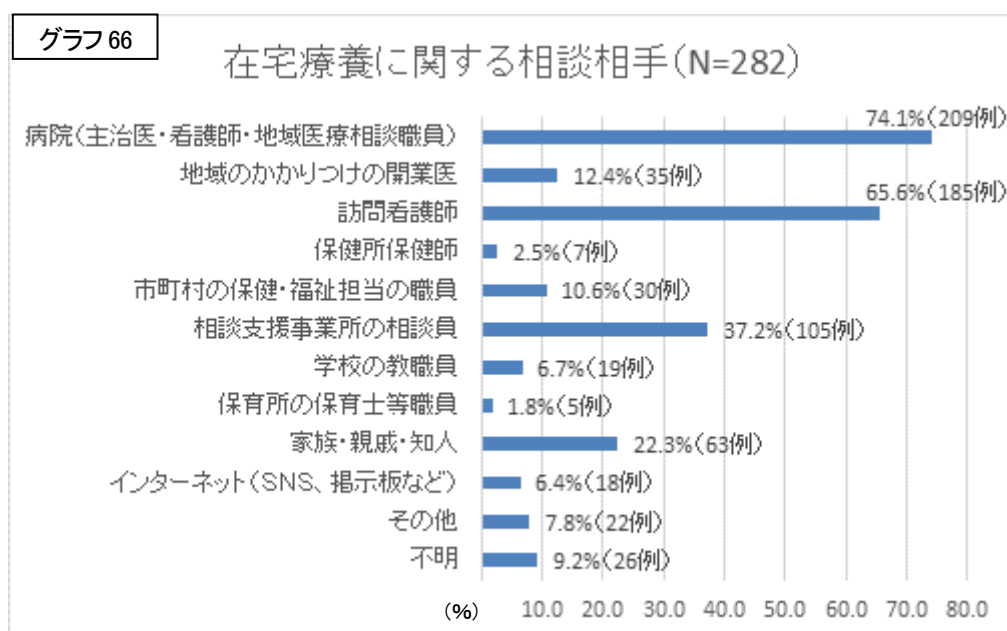
質問7(1)

○在宅療養開始時の相談について、「相談した」が 67.7%で最も多く、次いで「相談しなかった」が 9.2%、「相談したいことがなかった」が 3.2%となった。



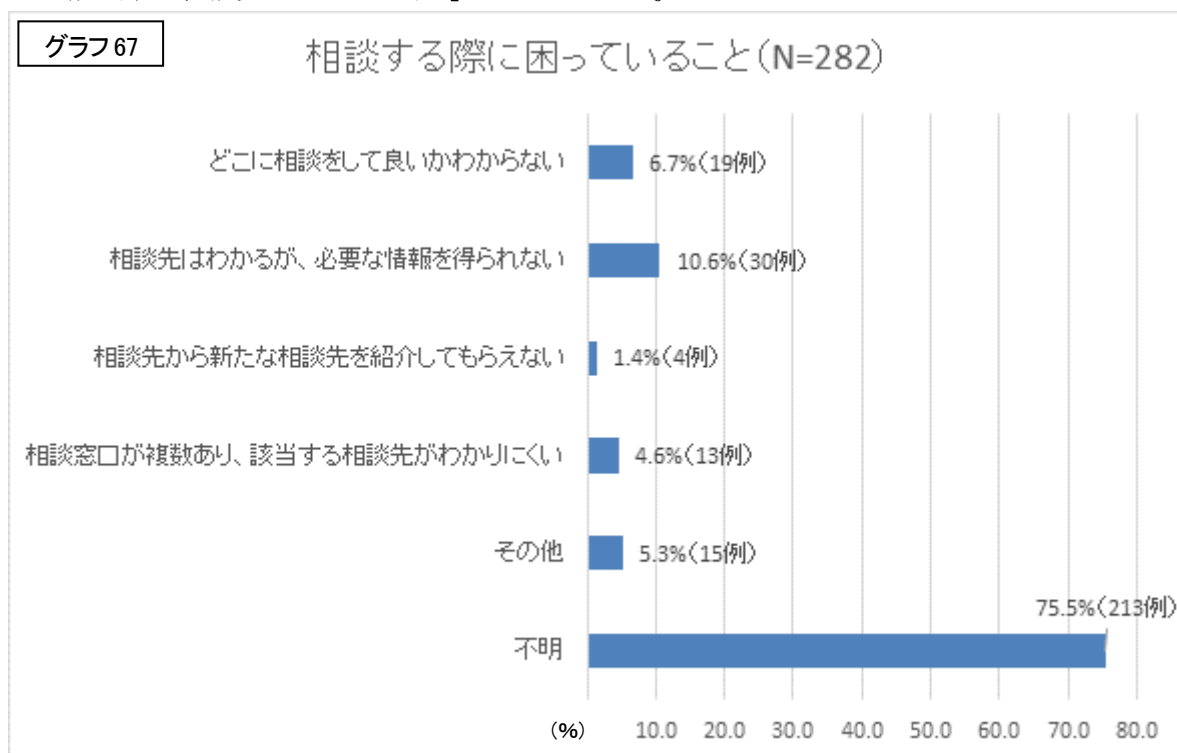
質問7(2)

○在宅療養に関する相談相手は、「病院」が 74.1%で最も多く、次いで「訪問看護師」が 65.6%、「相談支援事業所の相談員」が 37.2%、「家族・親戚・知人」が 22.3%となった。



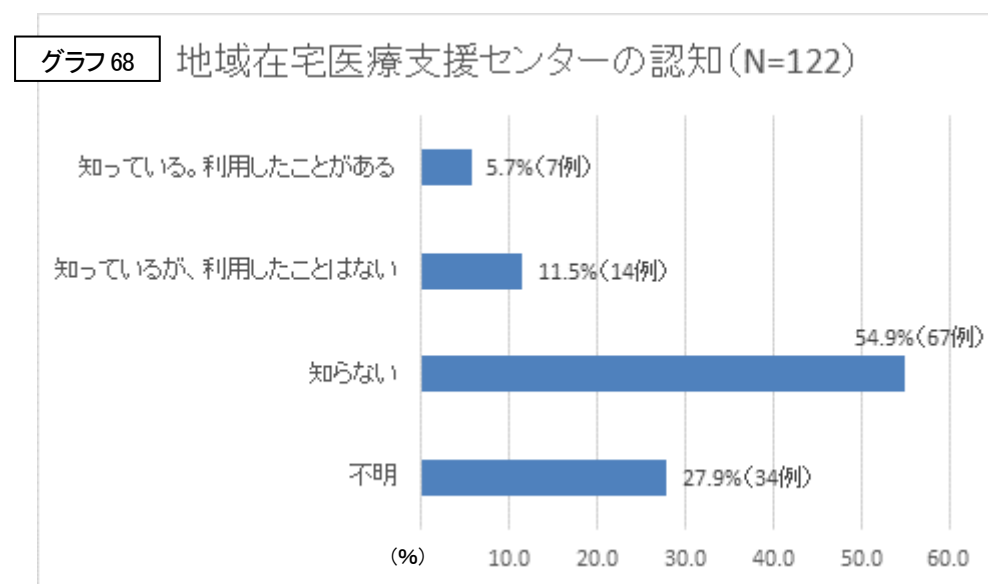
### 質問7(3)

○相談する際に困っていることについて、「相談先はわかるが、必要な情報を得られない」が10.6%で最も多く、次いで「どこに相談をしてよいかわからない」が6.7%、「相談窓口が複数あり、該当する相談先がわかりにくい」が4.6%となった。



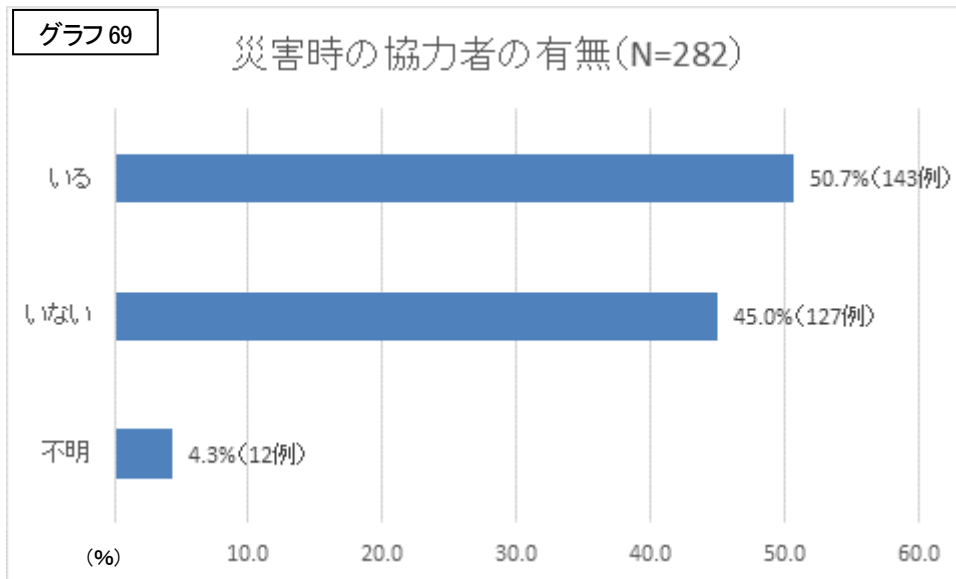
### 質問7(4)

○地域在宅医療支援センターについて、「知らない」が54.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が11.5%、「知っている。利用したことがある。」が5.7%となった。



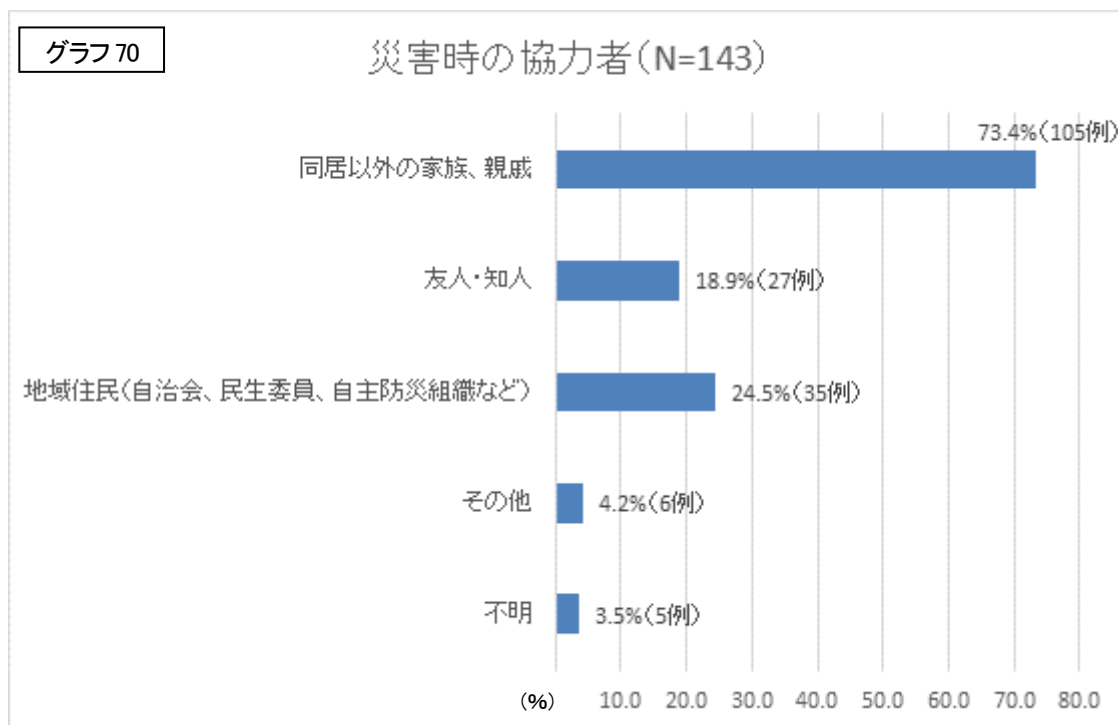
質問8(1)①

○災害時の協力者の有無について、「いる」が50.7%、「いない」が45%となった。



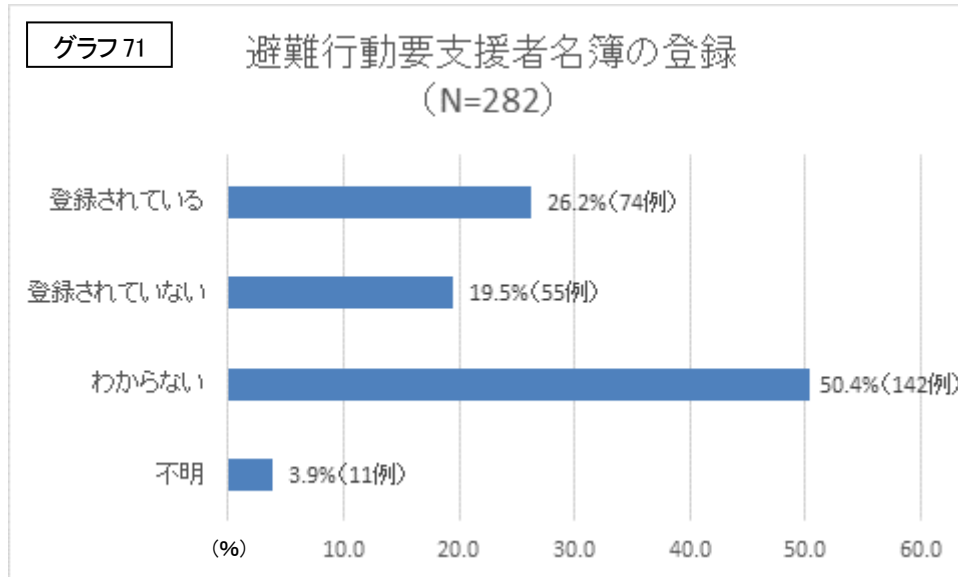
質問8(1)②

○災害時の協力者は、「同居以外の家族、親戚」が73.4%で最も多く、次いで「地域住民」が24.5%、「友人・知人」が18.9%となった。



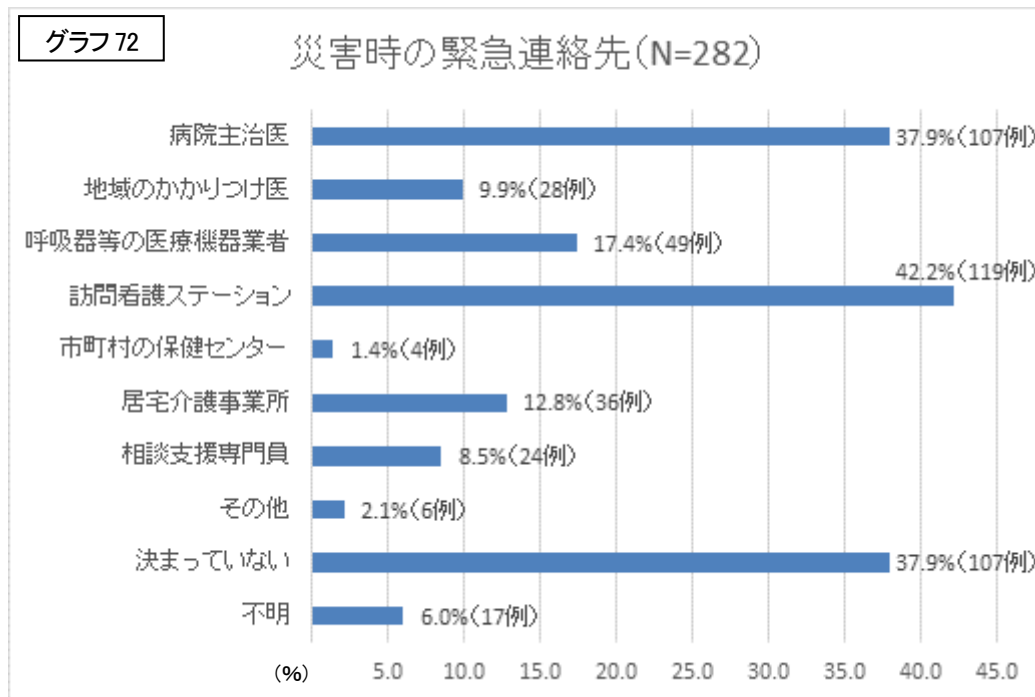
質問8(2)

○市町村の避難行動要支援者名簿の登録について、「わからない」が50.4%で最も多く、次いで「登録されている」が26.2%、「登録されていない」が19.5%となった。



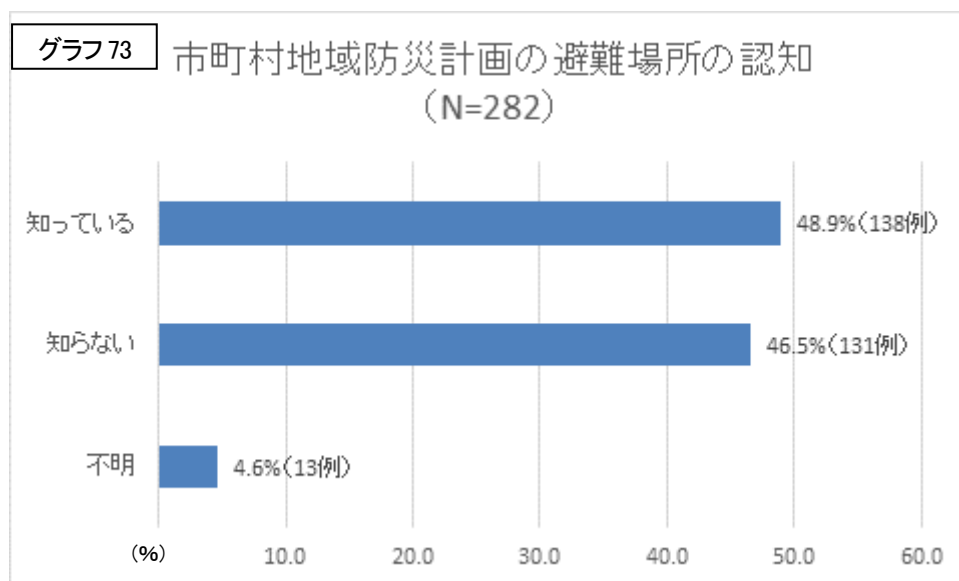
質問8(3)

○家族や近所の方などの身近な方以外での災害時の緊急連絡先について、「訪問看護ステーション」が42.2%で最も多く、次いで「病院主治医」と「決まっていない」が37.9%、「呼吸器等の医療機器業者」が17.4%、「居宅介護事業所」が12.8%となった。



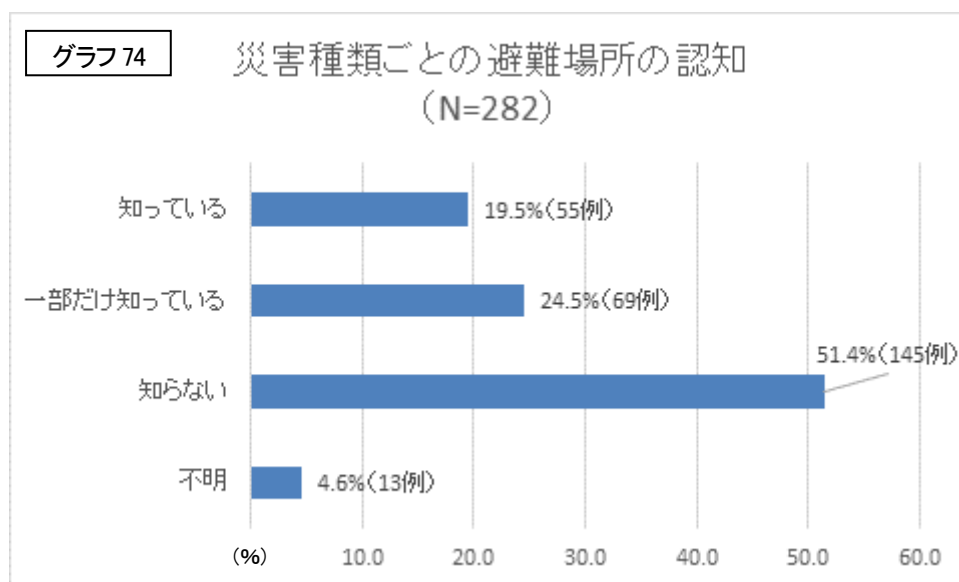
質問8(4)

○災害種類ごとの避難場所が、市町村地域防災計画で定められていることについて、「知っている」が48.9%、「知らない」が46.5%となった。



質問8(5)

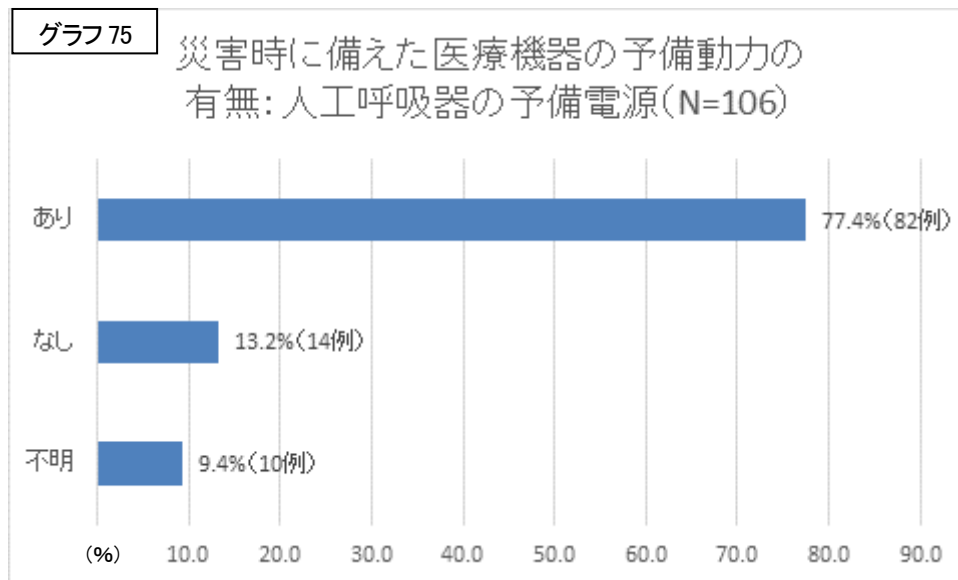
○災害種類ごとの避難場所について、「知らない」が51.4%、「一部だけ知っている」が24.5%、「知っている」が19.5%となっている。



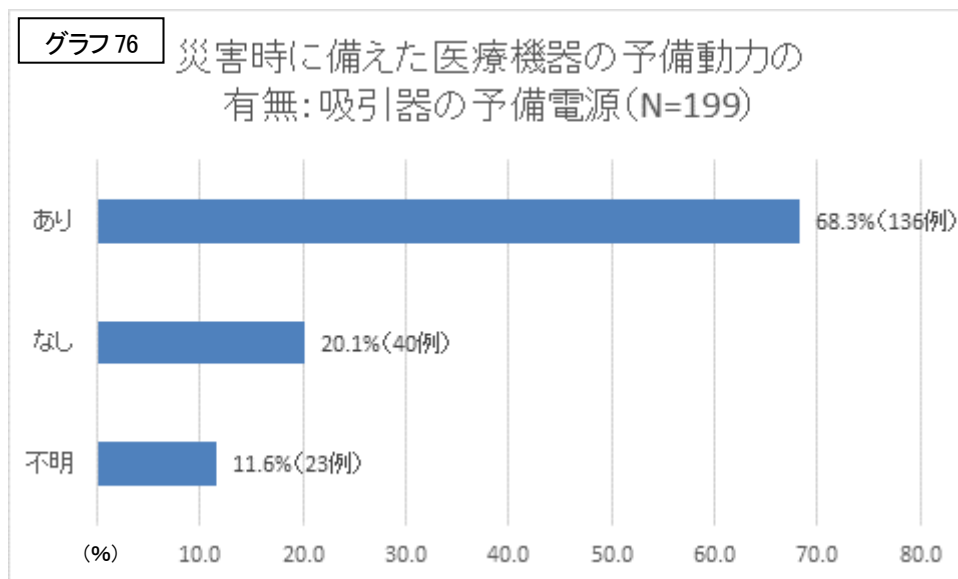
質問8(6)

○災害時に備えた医療機器の予備動力の有無について

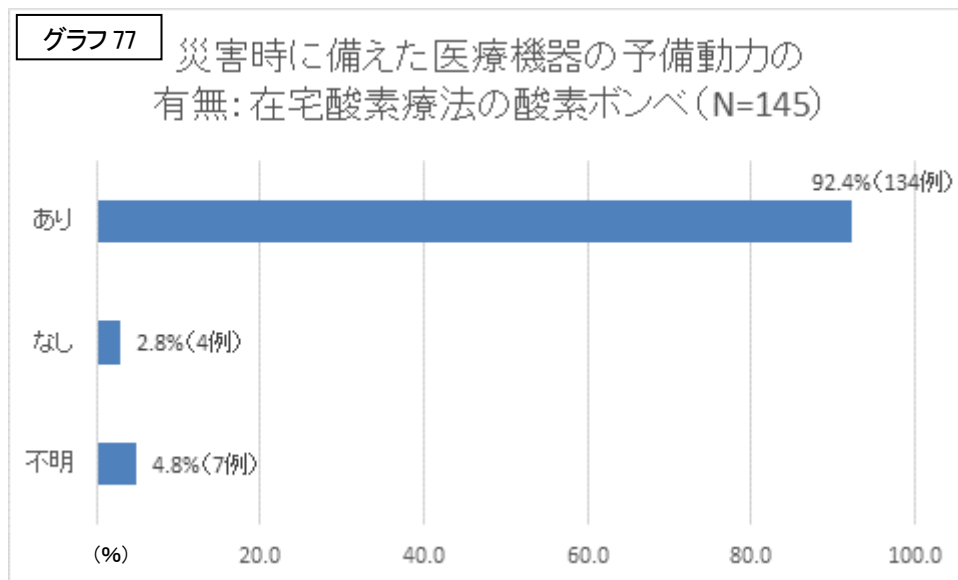
① 人工呼吸器 「あり」77.4% 「なし」13.2% 使用可能時間 平均6.2時間



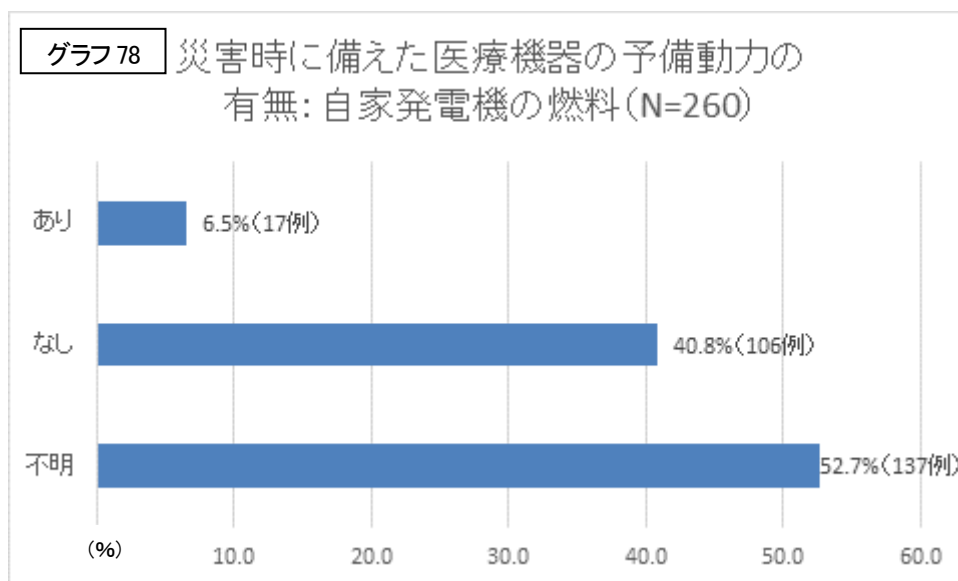
② 吸引器 「あり」68.3% 「なし」20.1% 使用可能時間 平均3.3時間



③ 在宅酸素療法 「あり」92.4% 「なし」2.8% 使用可能時間 平均8時間



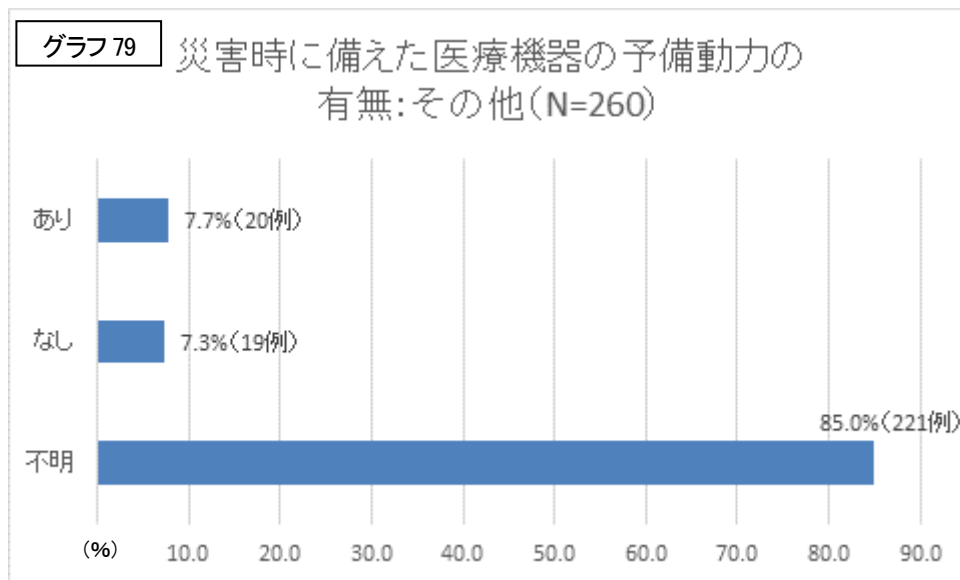
④ 自家発電機の燃料 「あり」6.5% 「なし」40.8% 使用可能時間 平均8時間





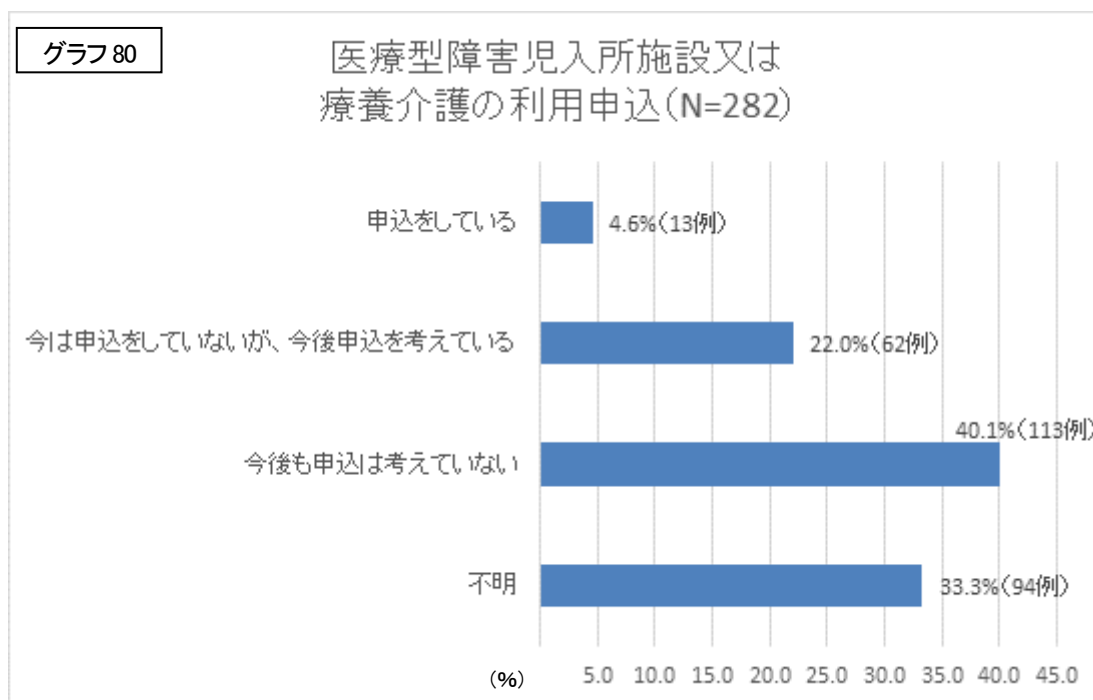
⑤ その他「あり」7.7% 「なし」7.3% 使用可能時間 平均 15.6 時間

バッテリー電源、経静脈輸液ポンプ、サチュレーションモニター、注入ポンプ、栄養ポンプ、経腸ポンプ、中心静脈ポンプ、酸素濃縮装置(バッテリー稼働)、携帯用酸素モニター、手動吸引器、太陽光発電、経腸栄養用に使用する予備電源(バッテリー)、酸素飽和度モニター、腹膜透析の機械、吸入器(充電式)



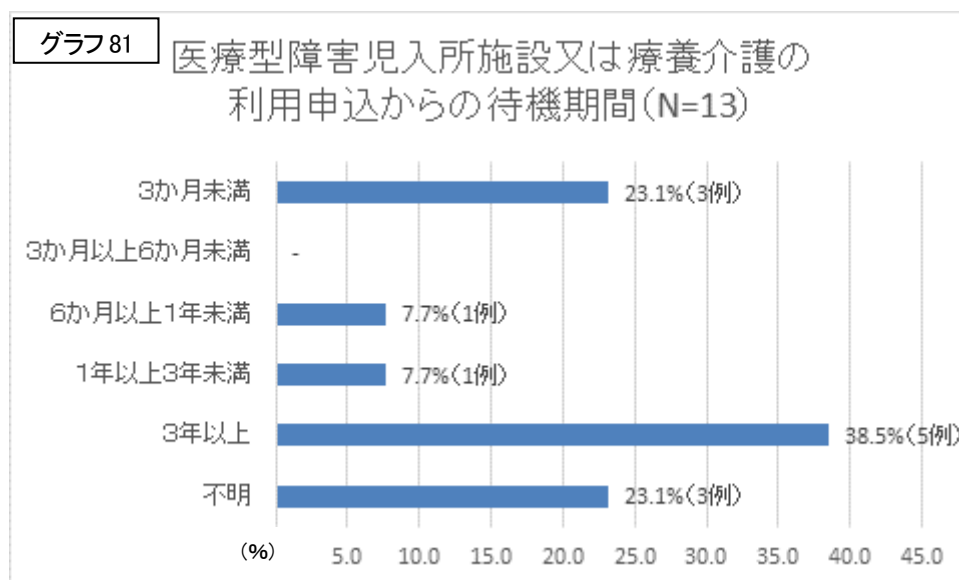
質問9(1)

○医療型障害児入所施設又は療養介護の利用申込について、「今後も申込は考えていない」が 40.1%で最も多く、次いで「今は申込をしていないが、今後申込を考えている」が 22%、「申込をしている」が 4.6%となっている。



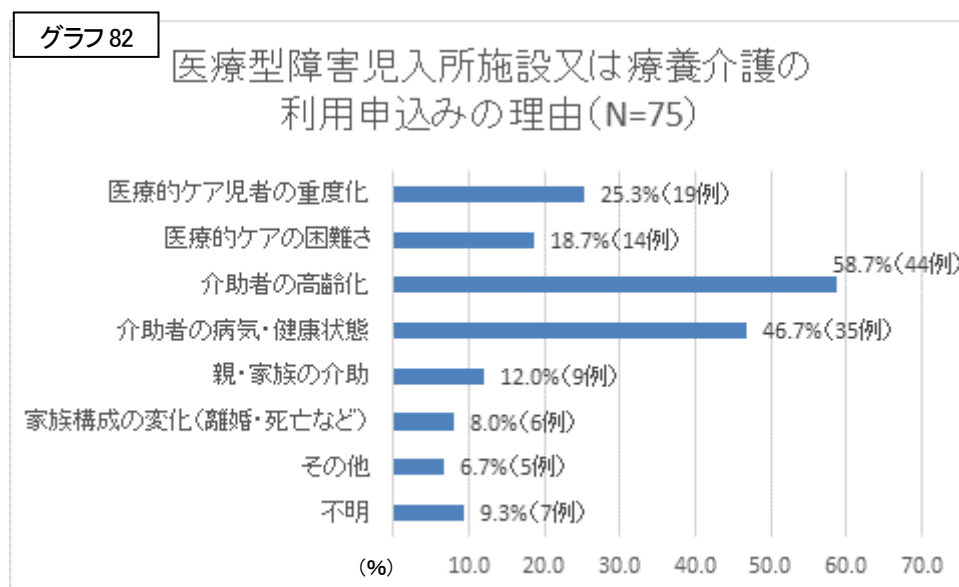
### 質問9(2)

○医療型障害児入所施設又は療養介護の利用について、「申込をしている」のうち、申込からの待機期間は、「3年以上」が38.5%で最も多く、次いで「3か月未満」が23.1%、「6か月以上1年未満」と「1年以上3年未満」が7.7%となっている。



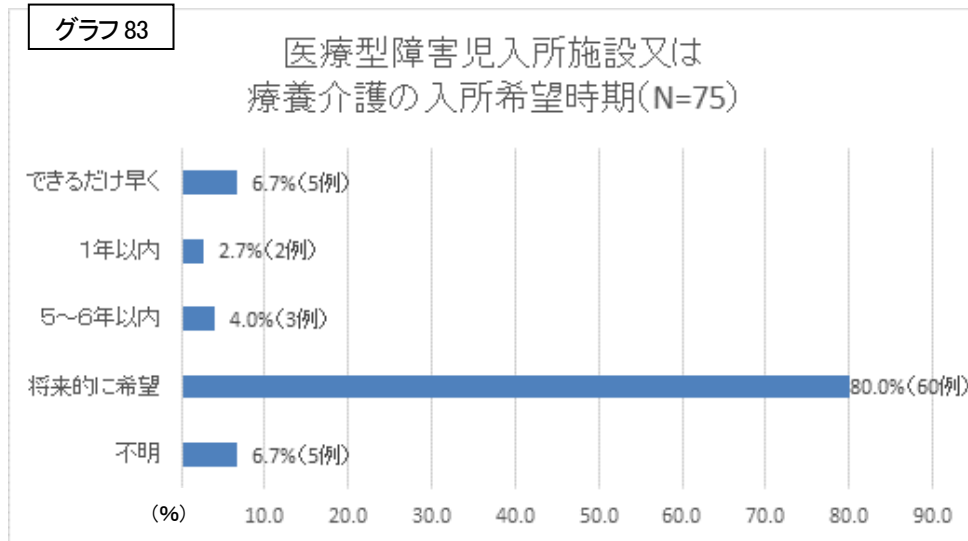
### 質問9(3)①

○医療型障害児入所施設又は療養介護の利用について、「申込をしている」又は「今後申込を考えている」のうち、申込の理由は、「介助者の高齢化」が58.7%で最も多く、次いで「介助者の病気・健康状態」が46.7%、「医療的ケア児者の重度化」が25.3%となった。



質問9(3)②

○医療型障がい児入所施設又は療養介護の利用について、「申込みをしている」又は「今後申し込みを考えている」のうち、入所希望時期は、「将来的に希望」が 80%、「できるだけ早く」が 6.7%、「5～6年以内」が 4%、「1年以内」が 2.7%となった。

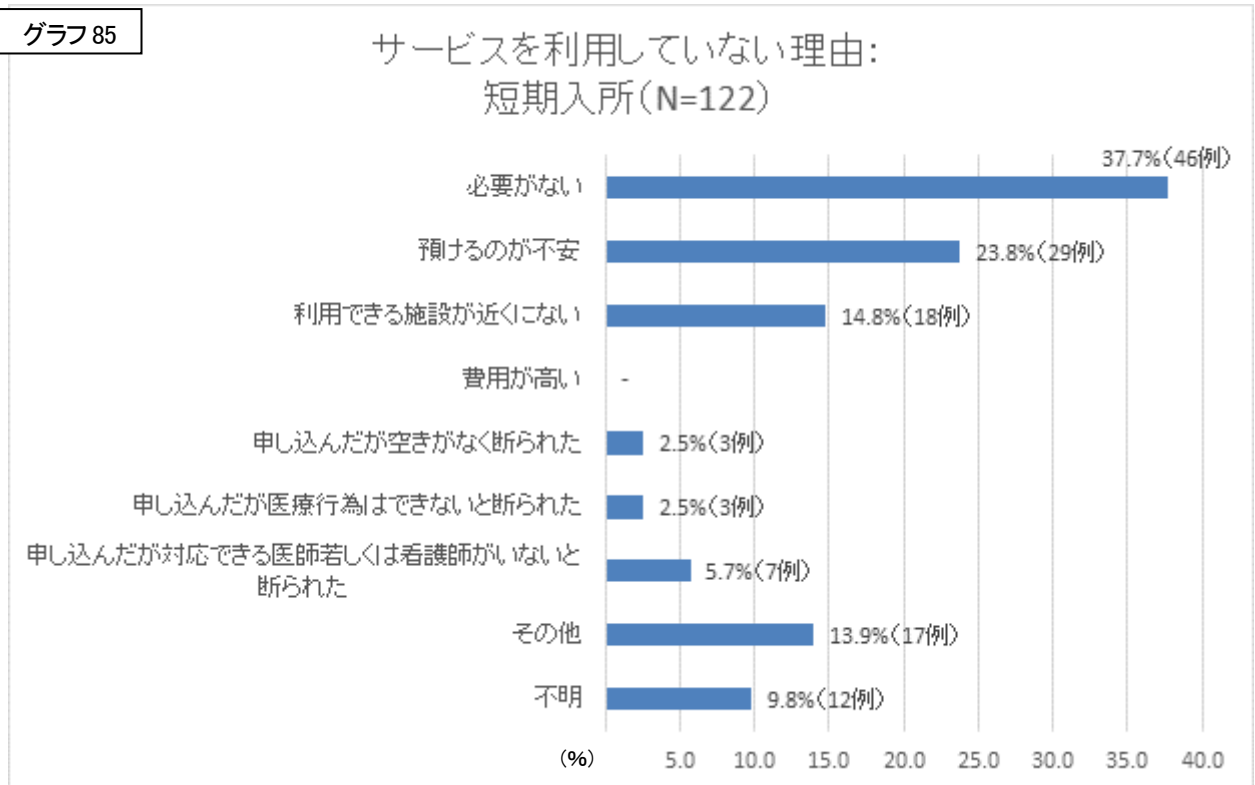
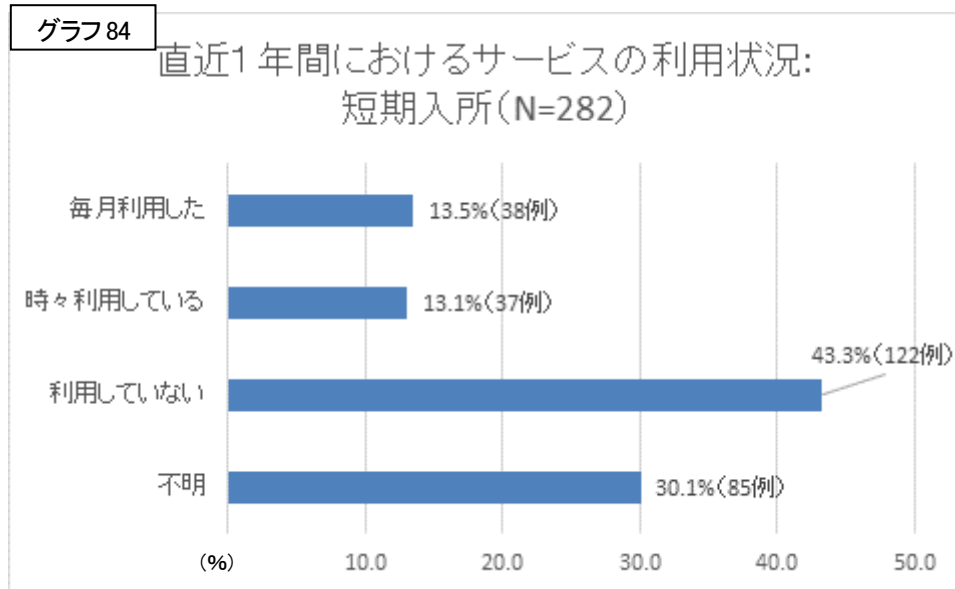


質問10(1)

障がい福祉、医療などの日中サービスの利用状況について

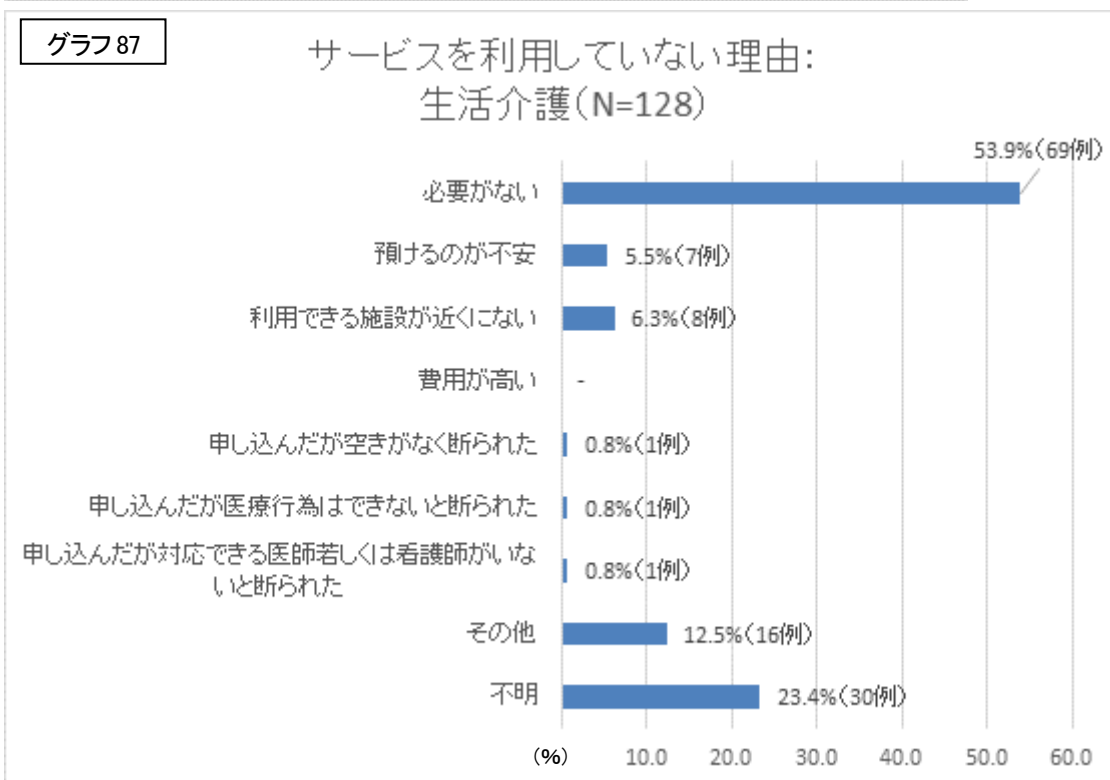
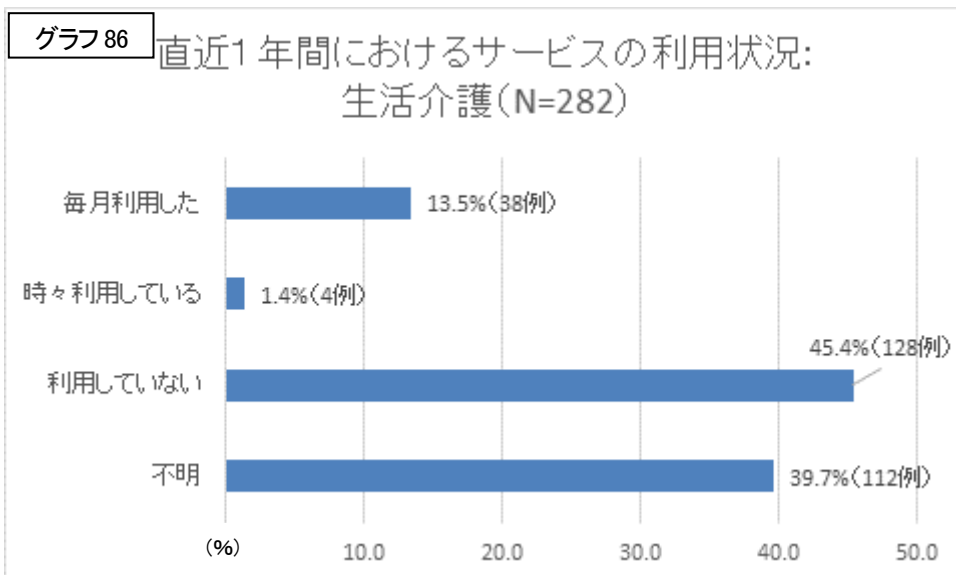
① 短期入所

「利用していない」が 43.3%で最も多く、次いで「毎月利用した」が 13.5%(月平均 5 日)、「時々利用している」が 13.1%(年平均 12.9 日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が 37.7%で最も多く、次いで「預けるのが不安」が 23.8%、「利用できる施設が近くにない」が 14.8%となった。



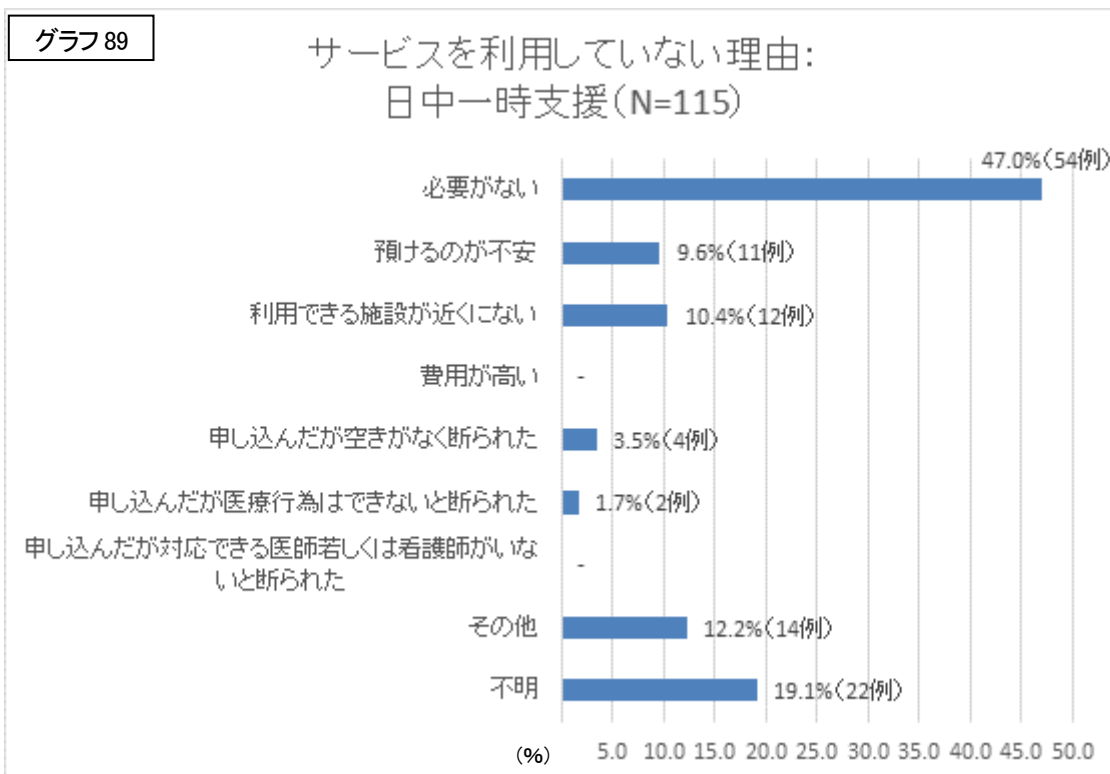
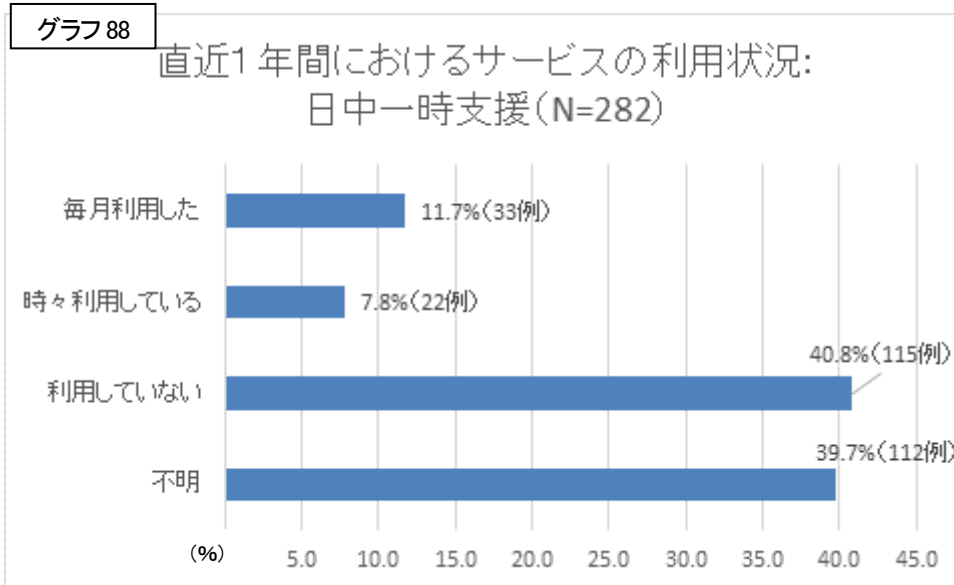
② 生活介護

「利用していない」が 45.4%で最も多く、次いで「毎月利用した」が 13.5%(月平均 15.5 日)、「時々利用している」が 1.4%(年平均 30 日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が 53.9%で最も多く、次いで「利用できる施設が近くにない」が 6.3%、「預けるのが不安」が 5.5%となった。



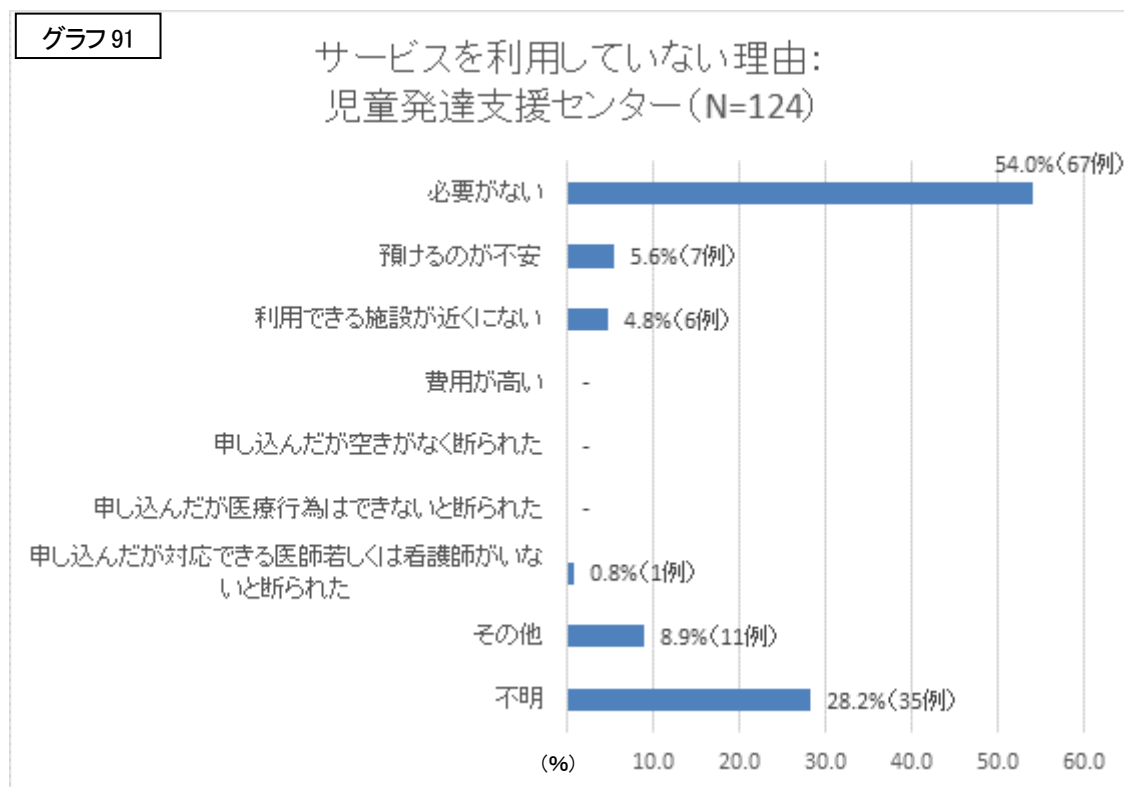
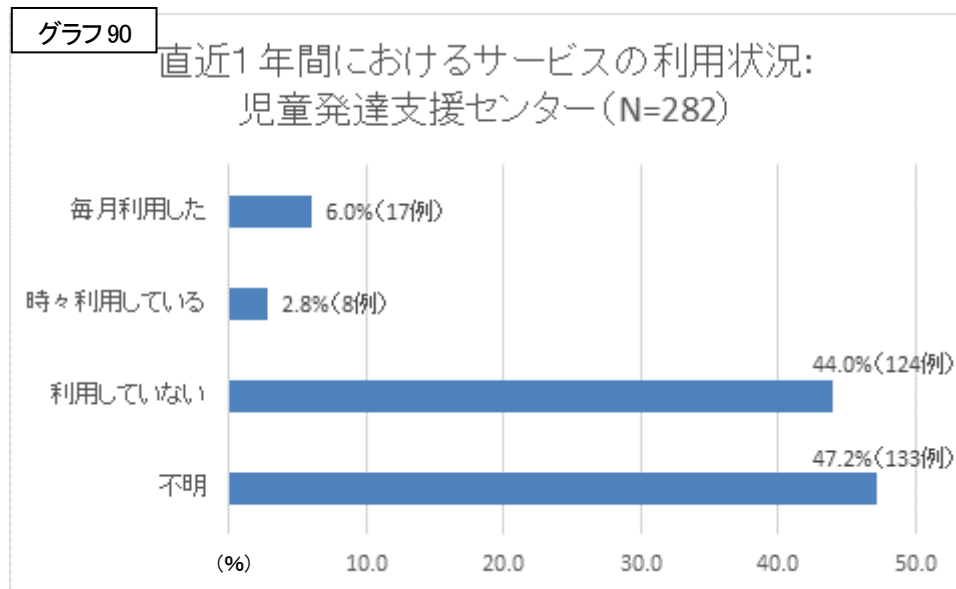
③ 日中一時支援

「利用していない」が40.8%で最も多く、次いで「毎月利用した」が11.7%(月平均6.2日)、「時々利用している」が7.8%(年平均5日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が47%で最も多く、次いで「利用できる施設が近くにない」が10.4%、「預けるのが不安」が9.6%となった。



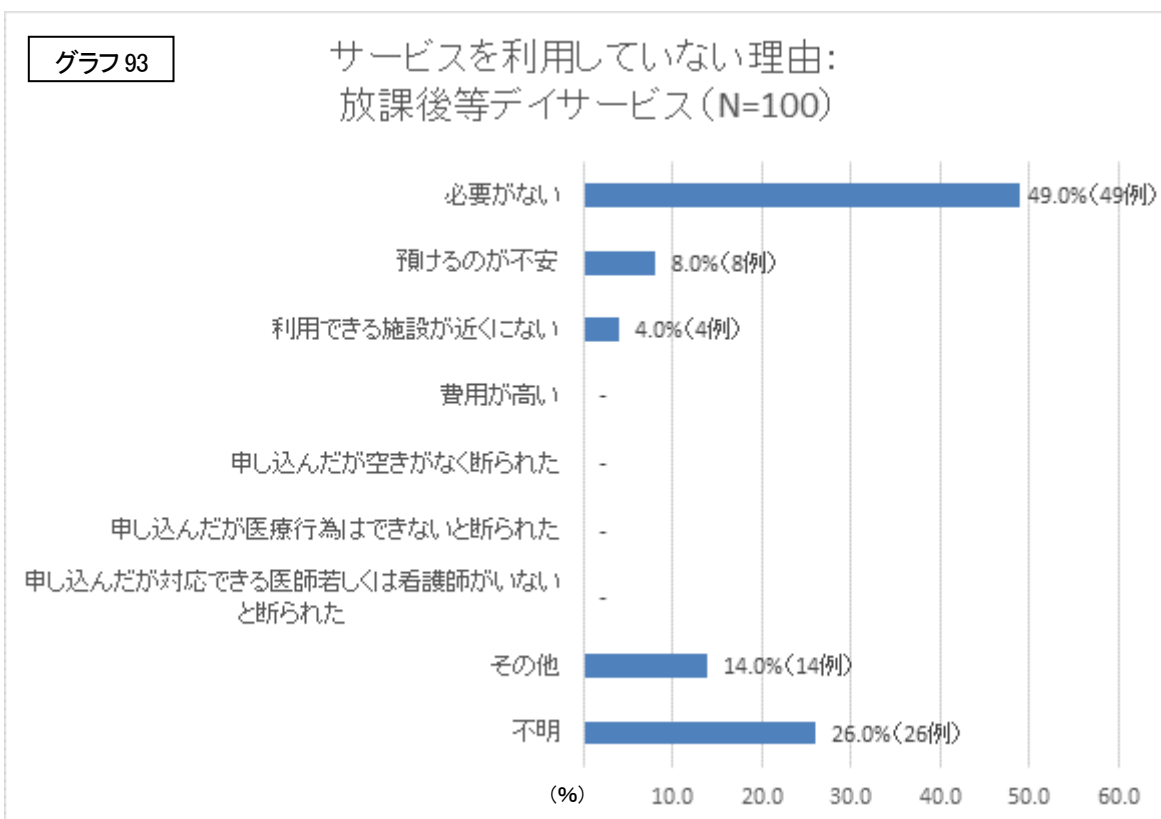
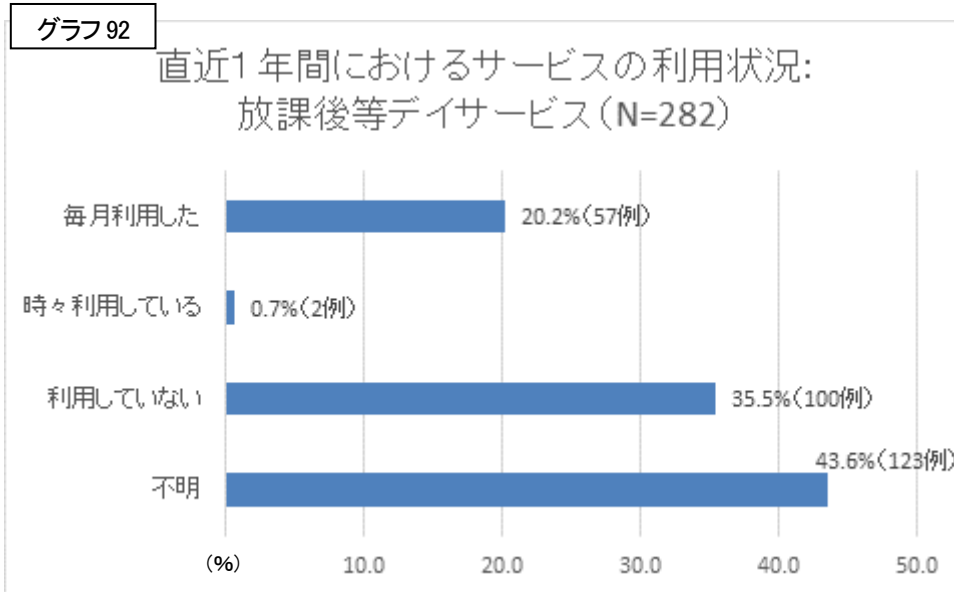
④ 児童発達支援センター

「利用していない」が44%で最も多く、次いで「毎月利用した」が6%(月平均8.5日)、「時々利用している」が2.8%(年平均4.4日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が54%で最も多く、次いで「預けるのが不安」が5.6%、「利用できる施設が近くにない」が4.8%となった。



⑤ 放課後デイサービス

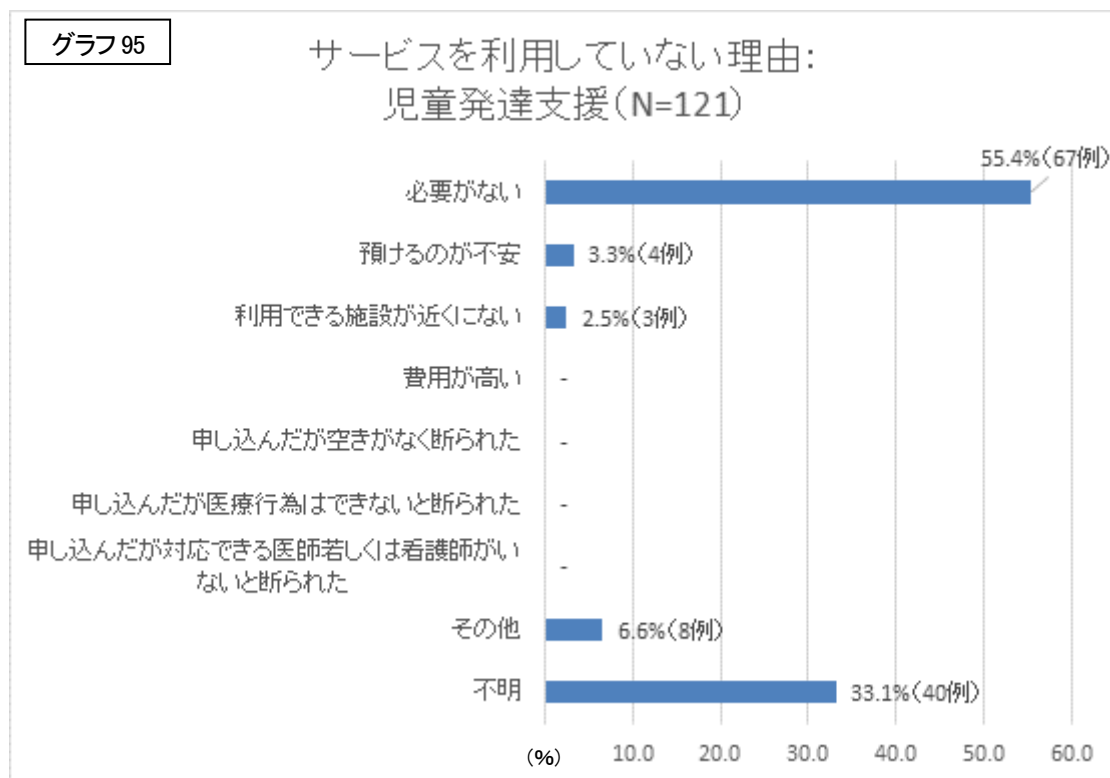
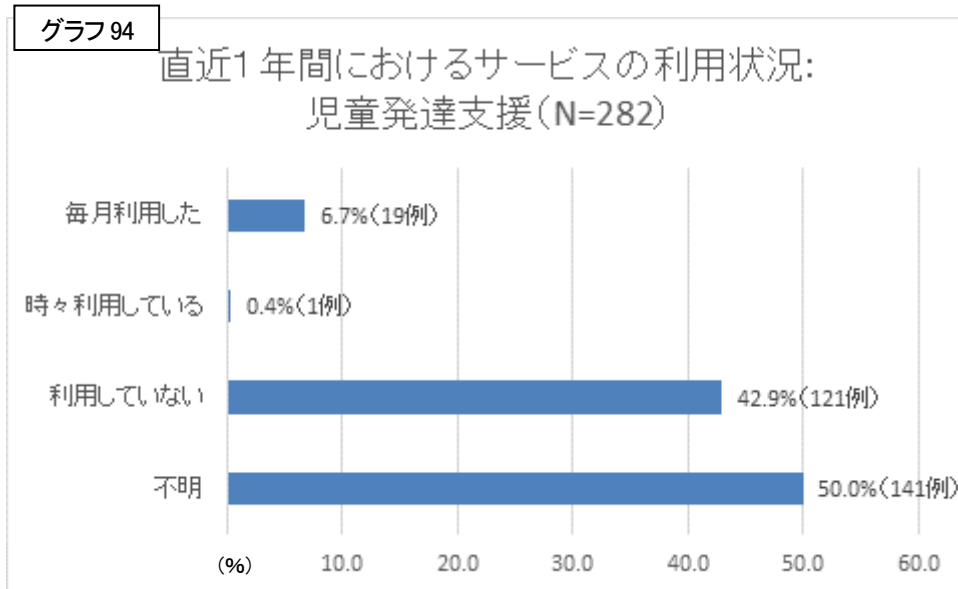
「利用していない」が 35.5%で最も多く、次いで「毎月利用した」が 20.2%(月平均 12.5 日)、「時々利用している」が 0.7%(年平均 4 日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が 49%で最も多く、次いで「預けるのが不安」が 8%、「利用できる施設が近くにない」が 4%となった。





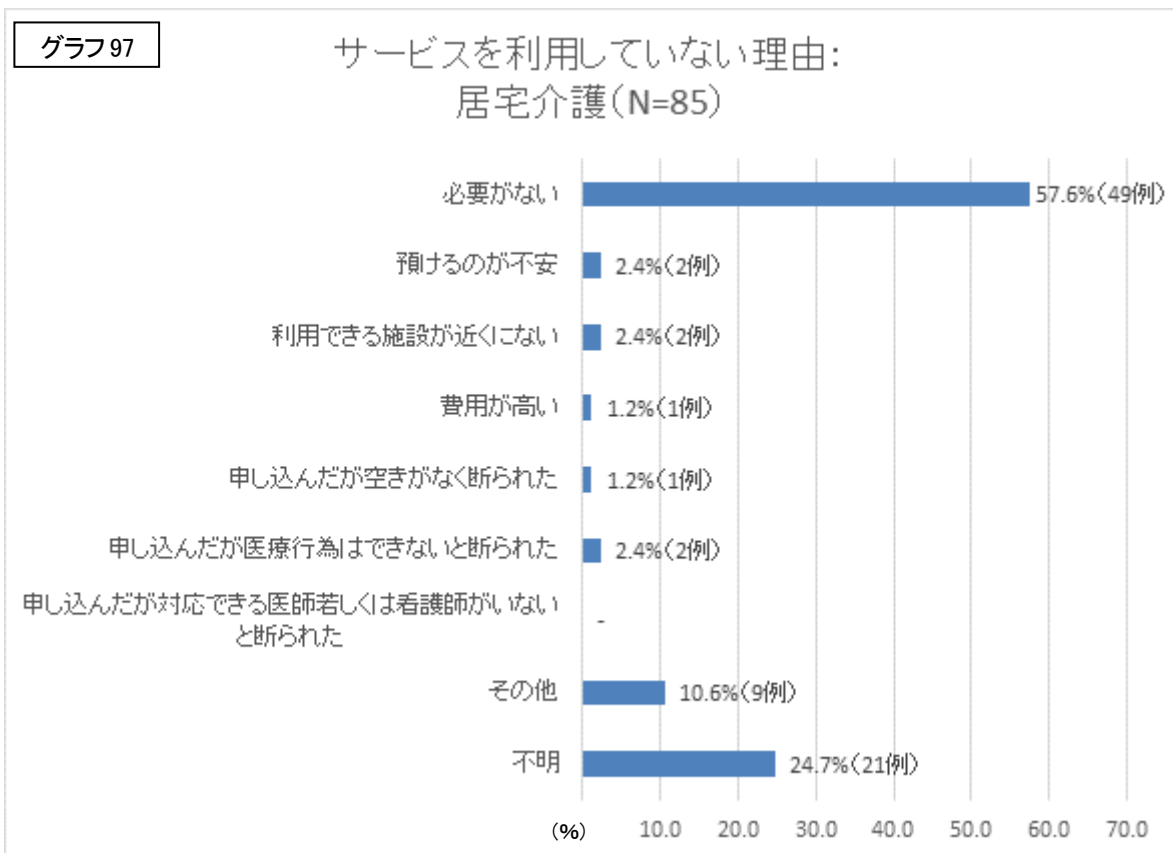
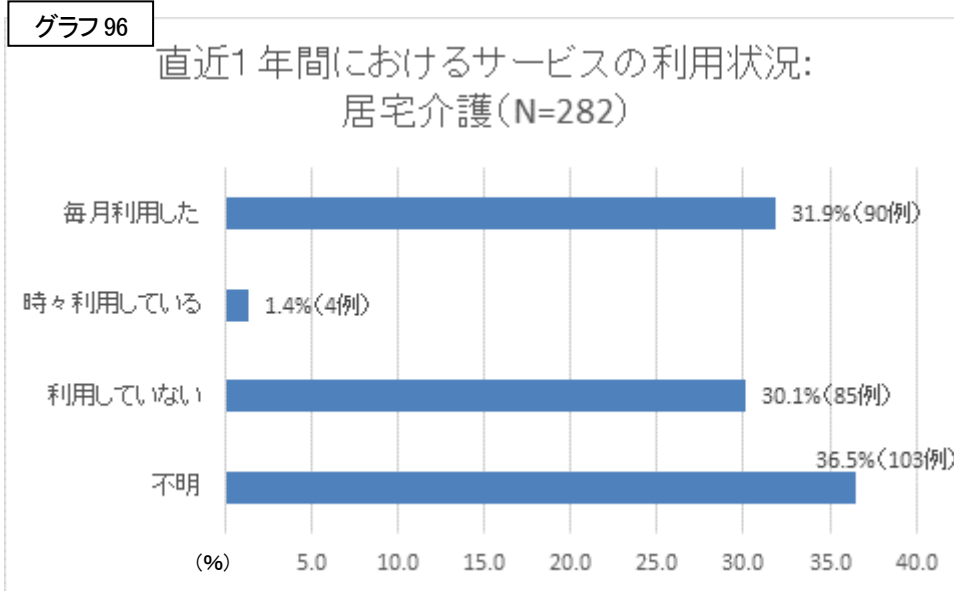
⑥ 児童発達支援

「利用していない」が 42.9%で最も多く、次いで「毎月利用した」が 6.7%(月平均 8.9 日)、「時々利用している」が 0.4%となった。利用していない理由は、「必要がない」が 55.4%で最も多く、次いで「預けるのが不安」が 3.3%、「利用できる施設が近くにない」が 2.5%となった。



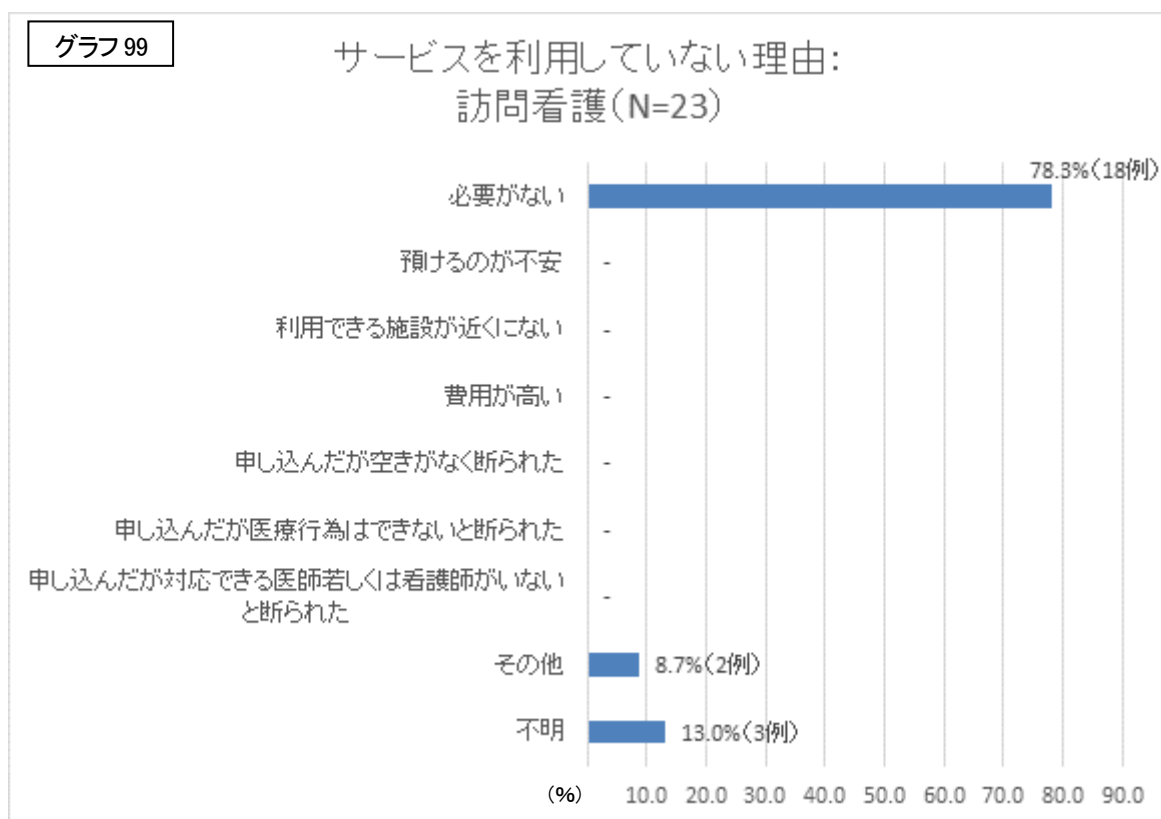
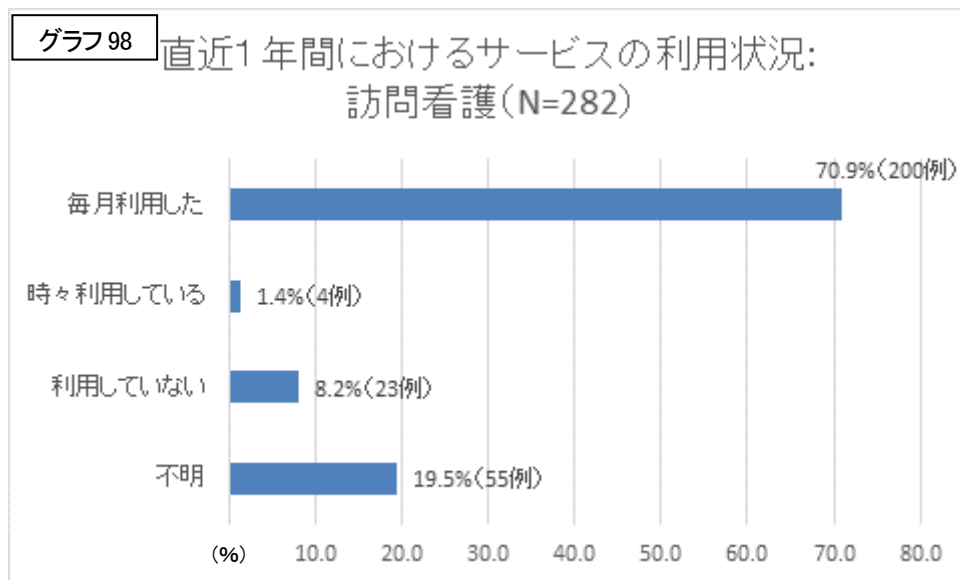
⑦ 居宅介護

「毎月利用した」が 31.9%(月平均 16.7 日)で最も多く、次いで「利用していない」が 30.1%、「時々利用している」が 1.4%(年平均11 日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が 57.6%で最も多く、次いで「預けるのが不安」「利用できる施設が近くにない」「申し込んだが医療行為はできないと断られた」が 2.4%となった。



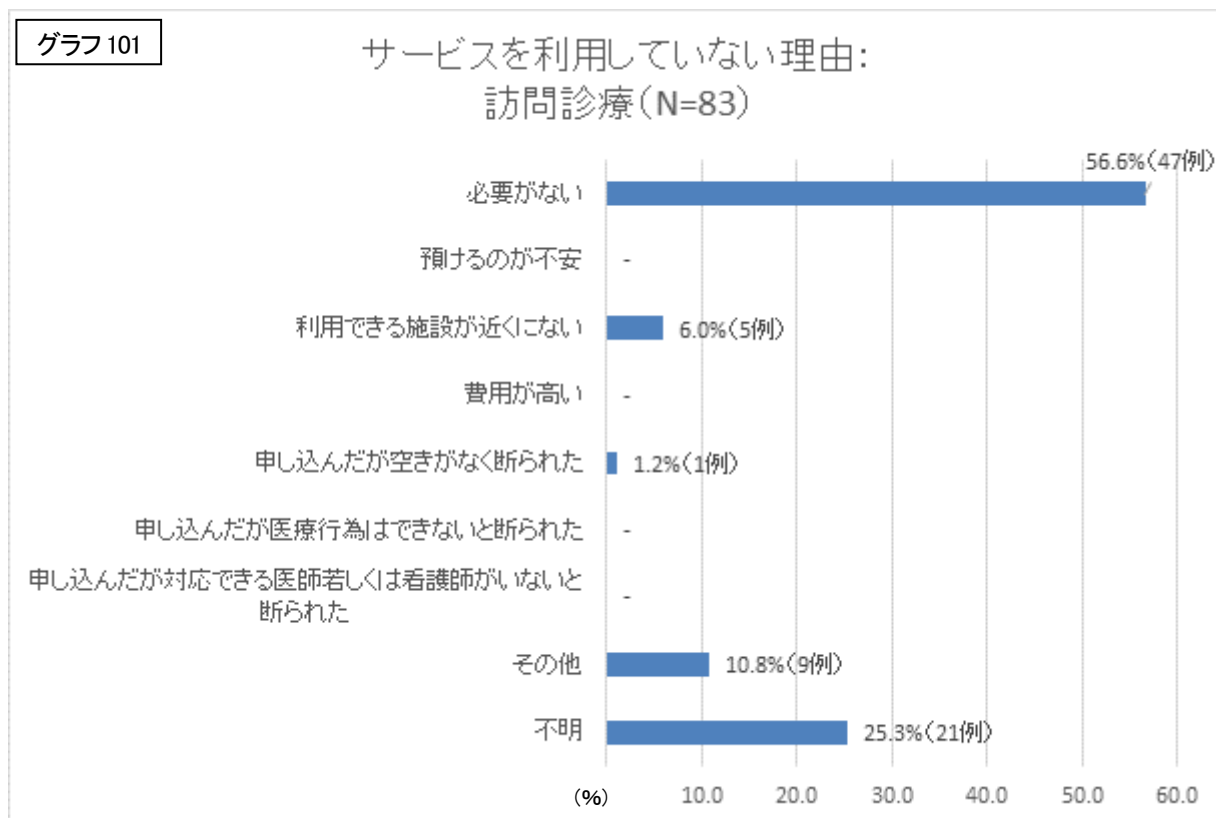
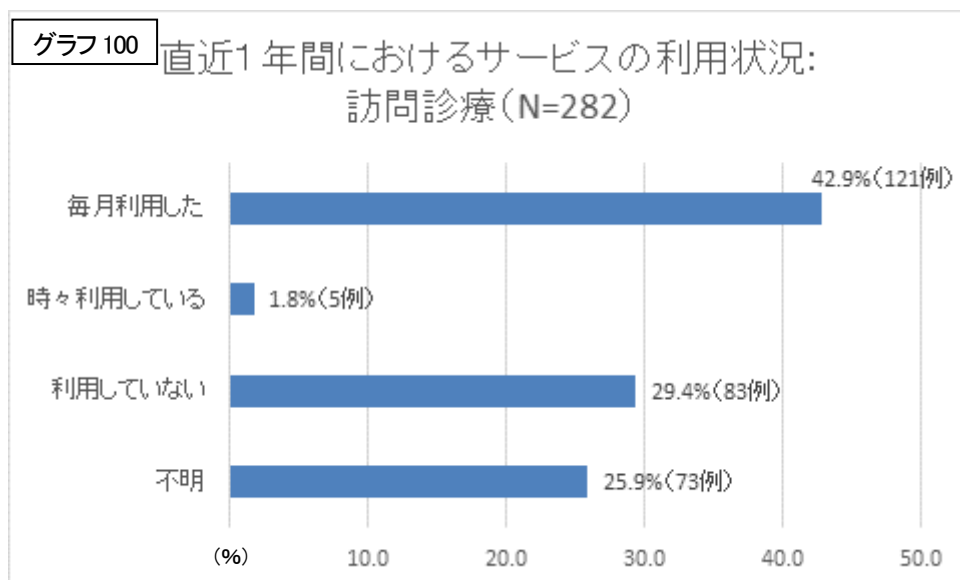
⑧ 訪問看護

「毎月利用した」が70.9%(月平均12.9日)で最も多く、次いで「利用していない」が8.2%、「時々利用している」が1.4%(年平均5日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が78.3%となった。



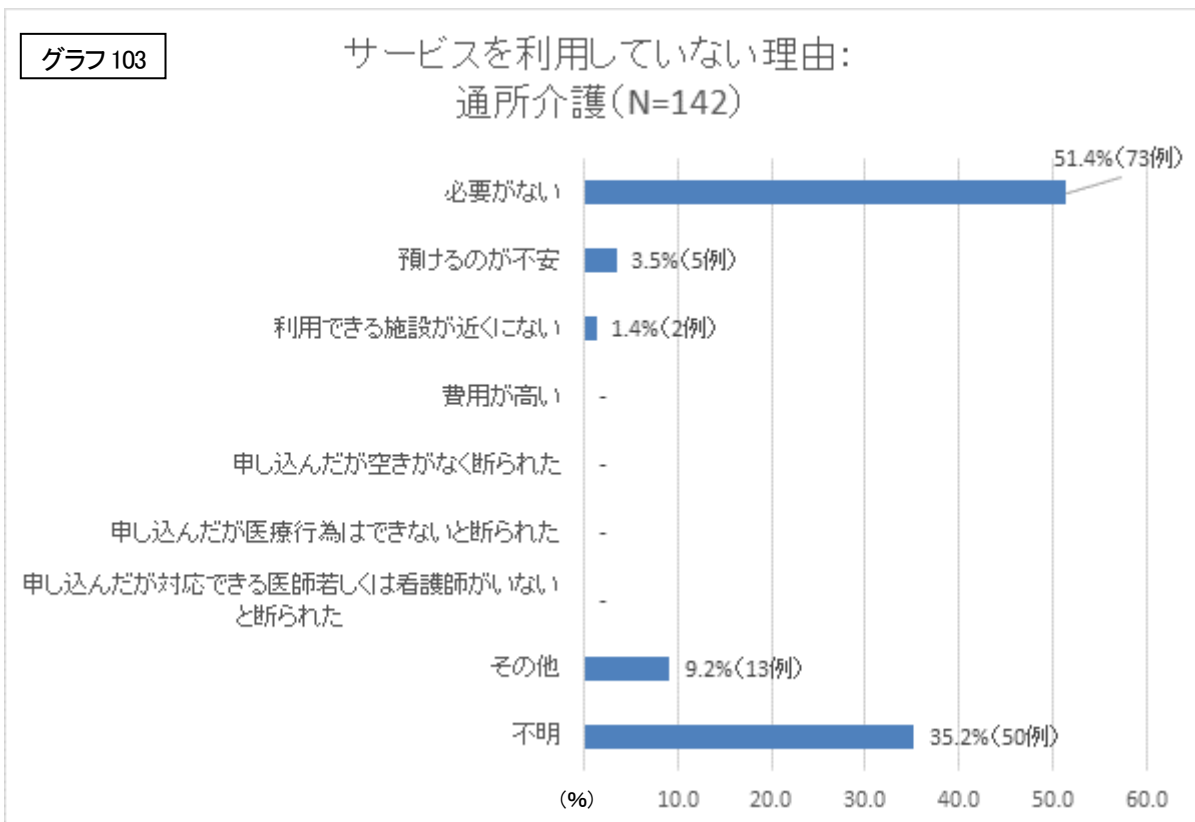
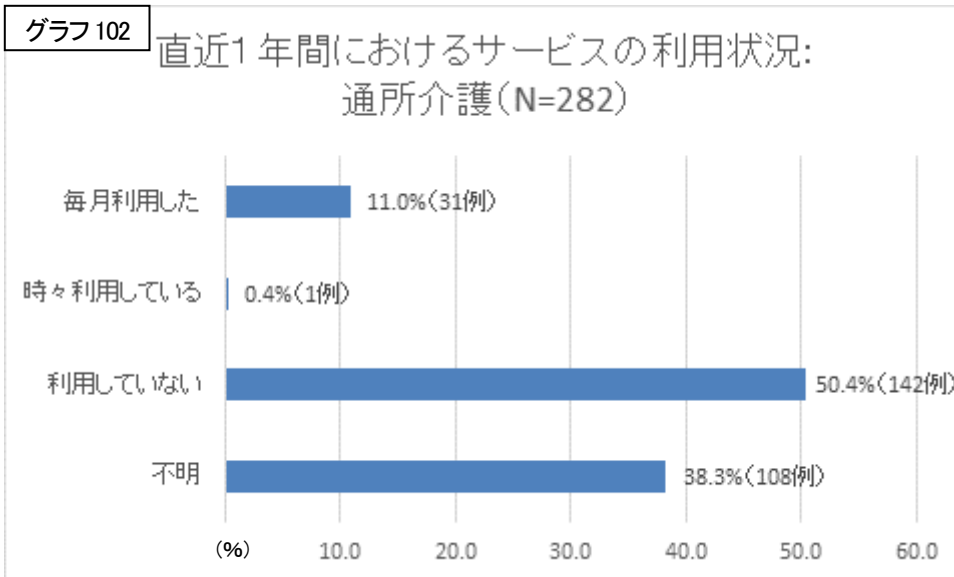
⑨ 訪問診療

「毎月利用した」が42.9%(月平均2.6日)で最も多く、次いで「利用していない」が29.4%、「時々利用している」が1.8%(年平均4日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が56.6%で最も多く、次いで「利用できる施設が近くにない」が6%、「申し込んだが空きがなく断られた」が1.2%となった。



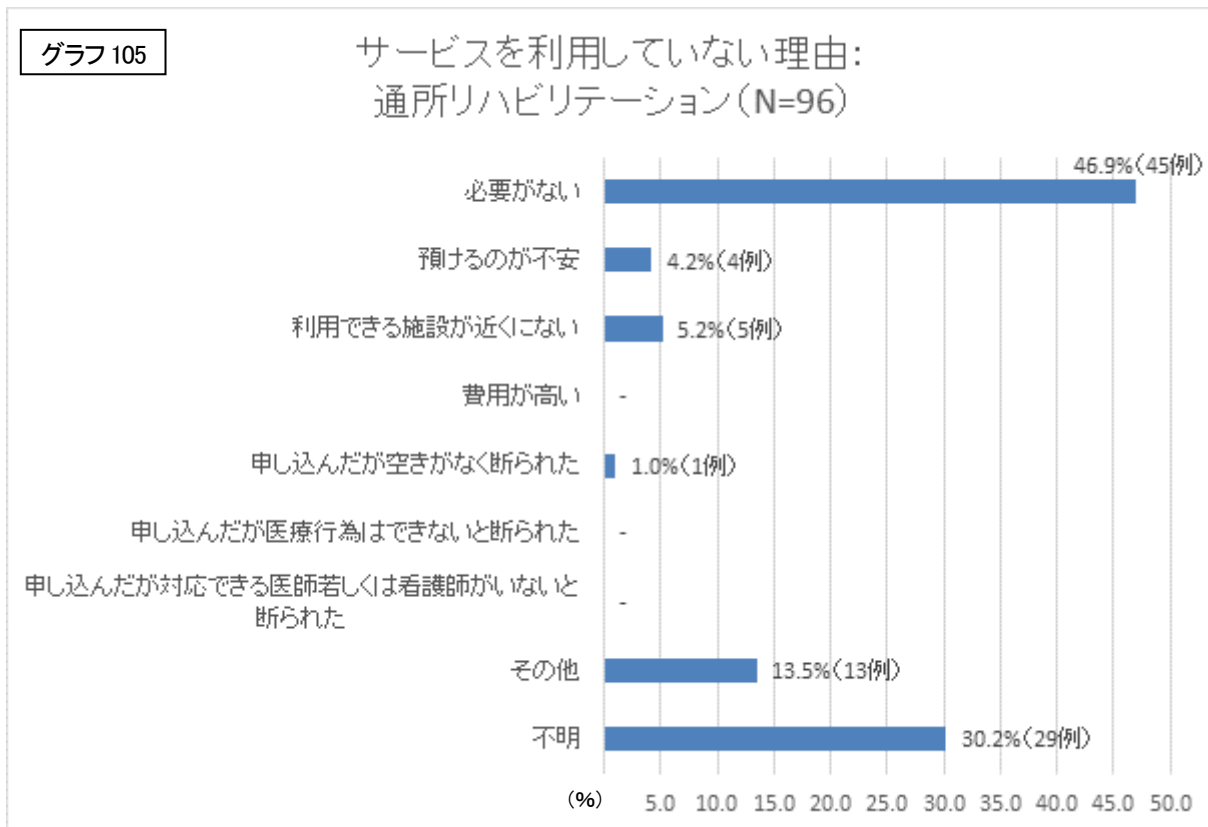
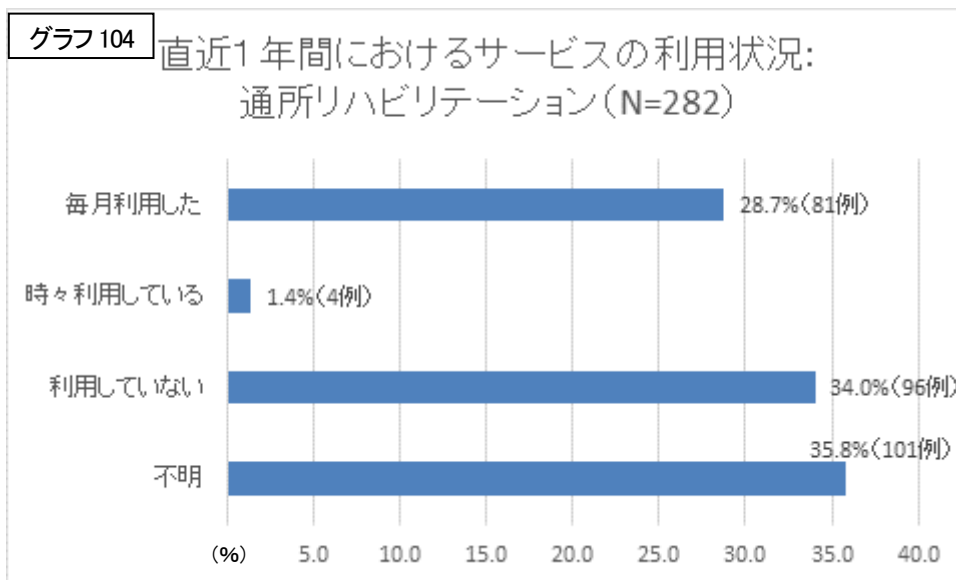
⑩ 通所介護

「利用していない」が 50.4%で最も多く、次いで「毎月利用した」が 11.0%(月平均 11 日)、「時々利用している」が 0.4%(年平均 10 日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が 51.4%で最も多く、次いで「預けるのが不安」が 3.5%、「利用できる施設が近くにない」が 1.4%となった。



⑪ 通所リハビリテーション

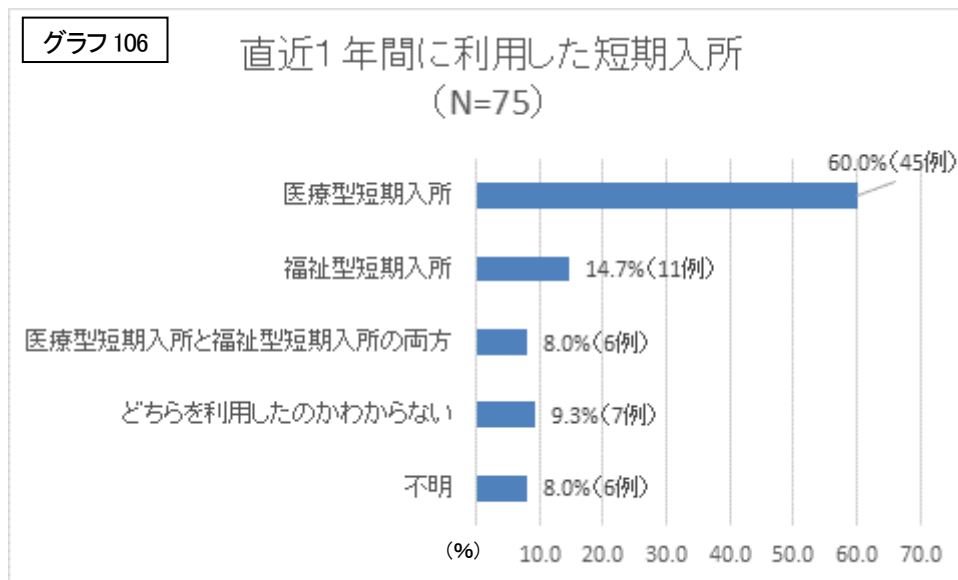
「利用していない」が34.0%で最も多く、次いで「毎月利用した」が28.7%(月平均5.4日)、「時々利用している」が1.4%(年平均5.5日)となった。利用していない理由は、「必要がない」が46.9%で最も多く、次いで「利用できる施設が近くにない」が5.2%、「預けるのが不安」が4.2%となった。



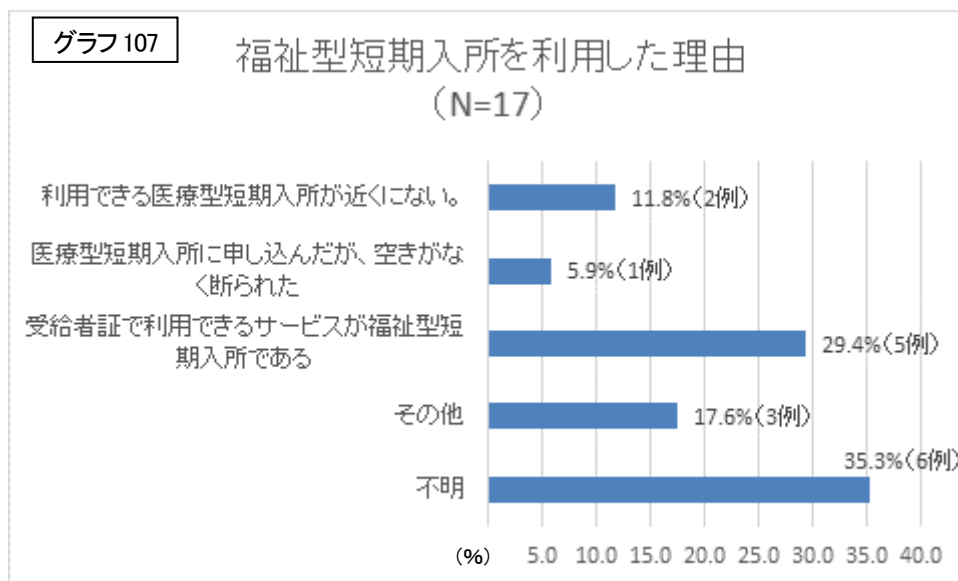
質問10(2)

短期入所(ショートステイ)について

- ① 短期入所の利用は、「医療型短期入所の利用」(60%)が最も多く、次いで「福祉型短期入所の利用」(14.7%)、「どちらを利用したのかわからない」(9.3%)、「医療型短期入所と福祉型短期入所の両方」(8%)となっている。



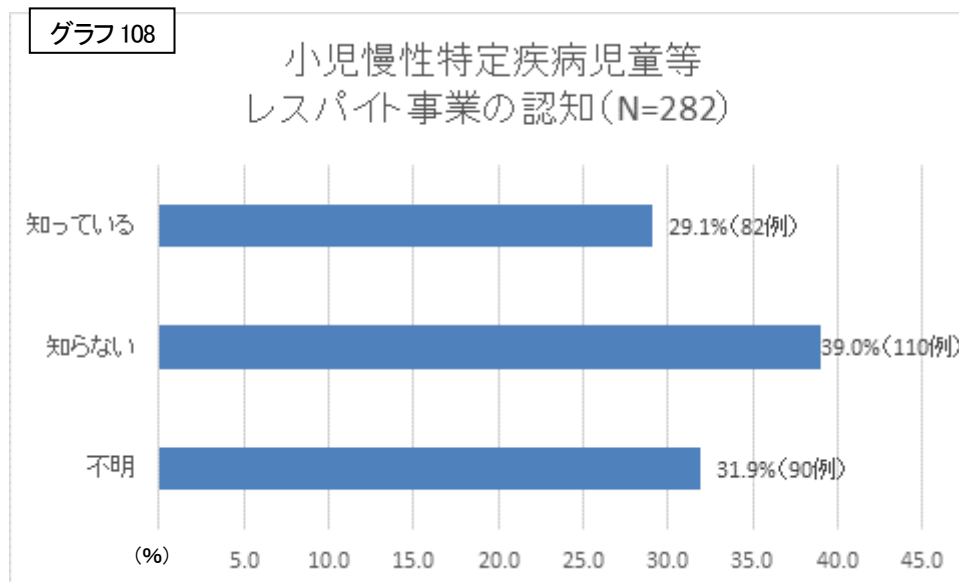
- ② 福祉型短期入所を利用した理由は、「受給者証で利用できるサービスが福祉型短期入所である。」(29.4%)が最も多く、次いで「利用できる医療型短期入所が近くにない。」(11.8%)、「医療型短期入所に申し込んだが、空きがなく断られた。」(5.9%)となっている。



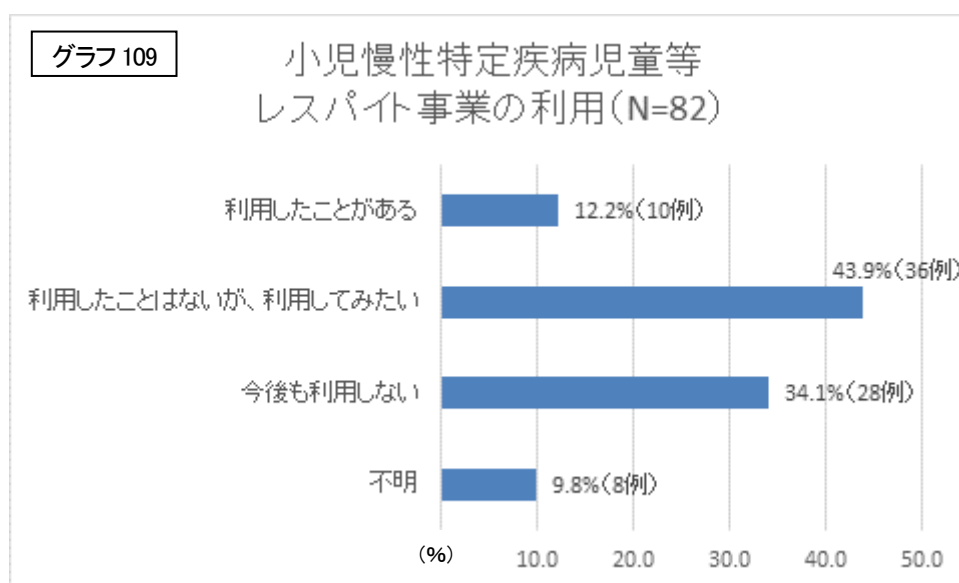
質問10(3)

小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業について

- ① 小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業を、「知らない」が 39%、「知っている」が 29.1%となっている。

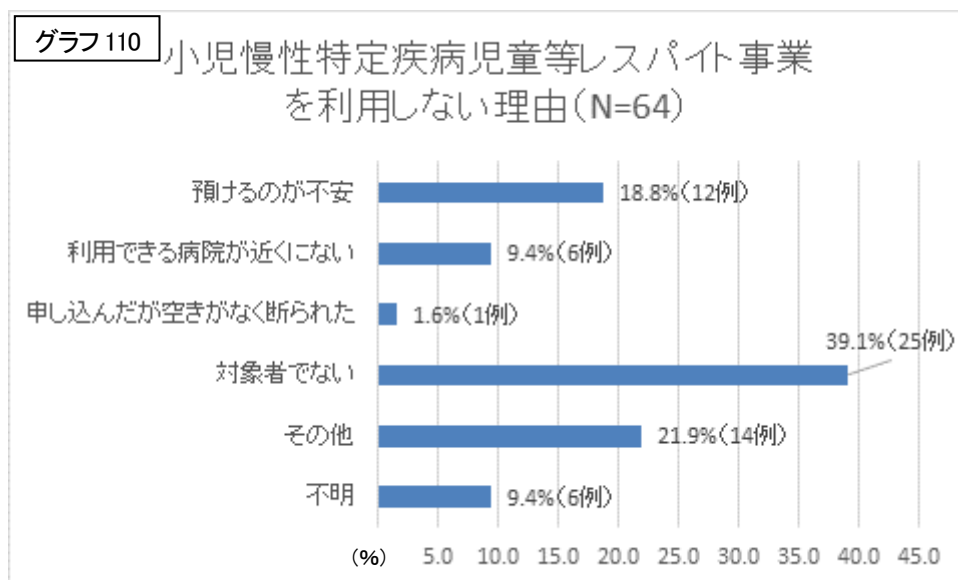


- ② 小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業の利用は、「利用したことはないが、利用してみたい」(43.9%)が最も多く、次いで「今後も利用しない」(34.1%)、「利用したことがある」(12.2%)となっている。





- ③ 小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業を利用しない理由は、「対象者でない」(39.1%)が最も多く、次いで「預けるのが不安」(18.8%)、「利用できる病院が近くにない」(9.4%)となっている。



#### 質問10(4)

障がい福祉、医療などのサービスで普段よく利用するサービスについて

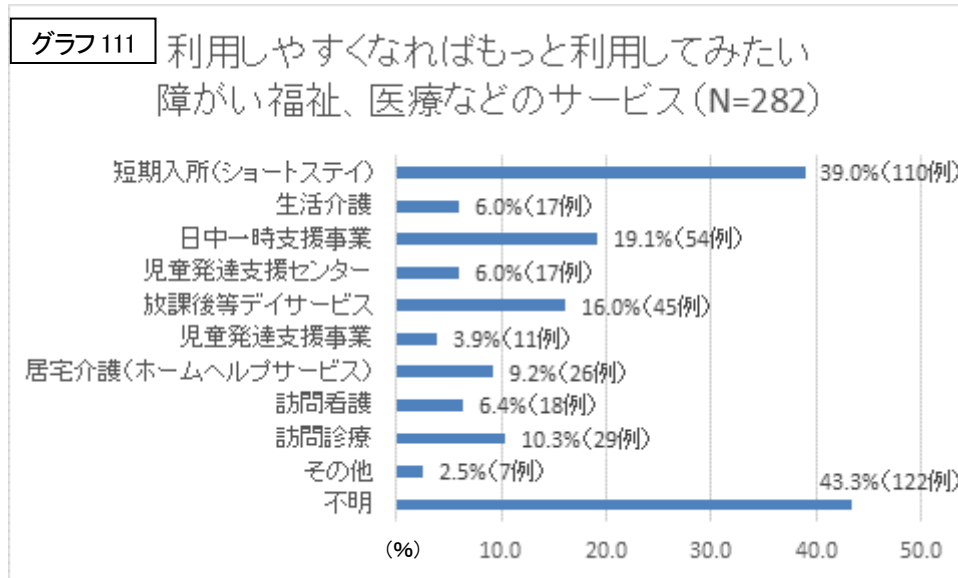
○通院介助、日帰りショートステイ(医療型重心)、訪問歯科、訪問リハビリ、心理リハビリテーションの訓練、福祉タクシー、訪問入浴、訪問マッサージ、地域支援サービス、入院時コミュニケーション支援となっている。

○1ヶ月の利用日数は6.5日となっている。

質問10(5)

障がい福祉、医療などのサービスのうち、近くに施設・事業所が増えるなど、今よりも利用しやすくなればもっと利用してみたいサービスについて

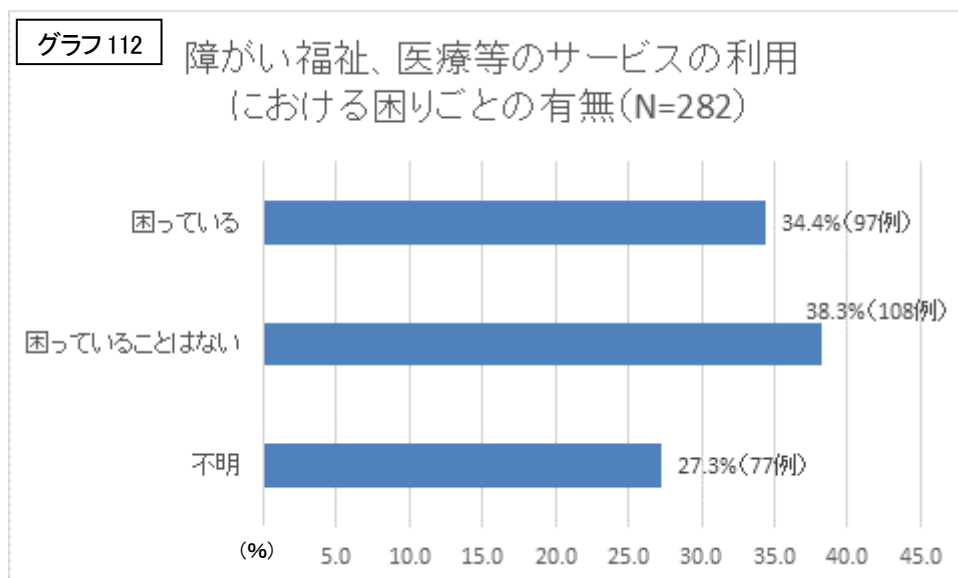
○「短期入所」(39%)が最も多く、次いで「日中一時支援」(19.1%)、「放課後等デイサービス」(16%)、「訪問診療」(10.3%)、「居宅介護」(9.2%)となっている。



質問10(6)

障がい福祉、医療などのサービスの利用の困りごとについて

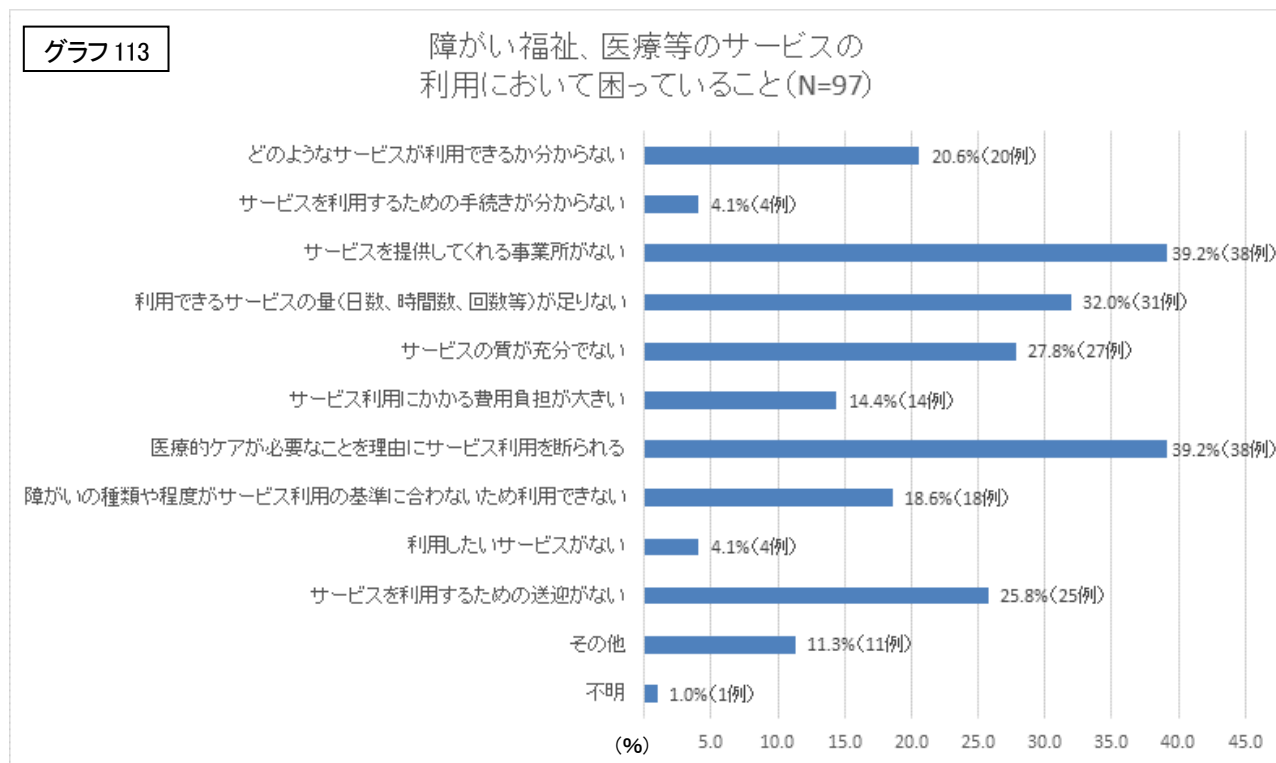
○「困っている」が 34.4%、「困っていない」が 38.3%となっている。



### 質問10(7)

障がい福祉、医療などのサービスの利用で困っていることについて

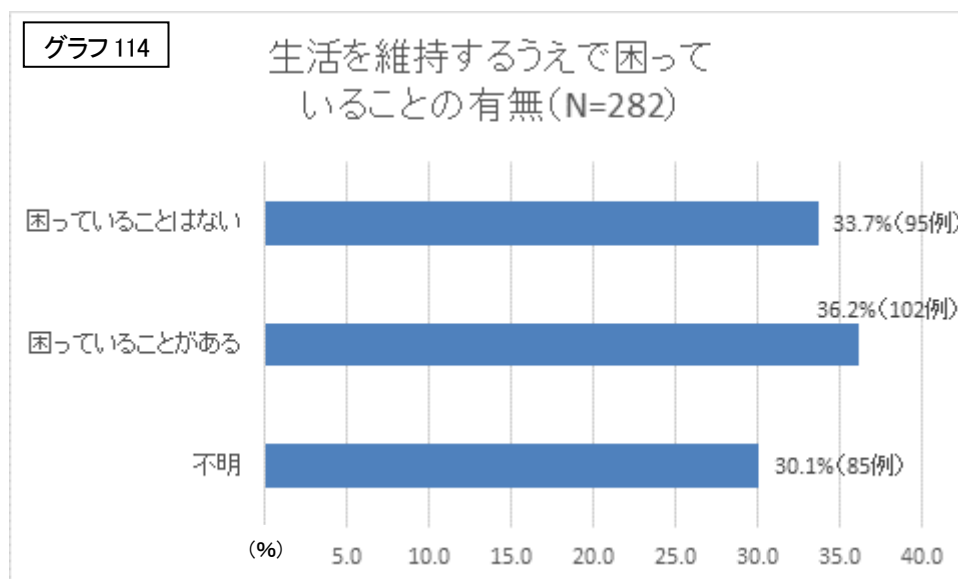
○「サービスを提供してくれる事業所がない」と「医療的ケアが必要なことを理由にサービス利用を断られる」が 39.2%と最も多く、次いで「利用できるサービスの量(日数、時間数、回数等)が足りない」が 32%、「サービスの質が充分でない」が 27.8%、「サービスを利用するための送迎がない」が 25.8%となっている。



### 質問10(8)

生活を維持するうえで困っていることについて

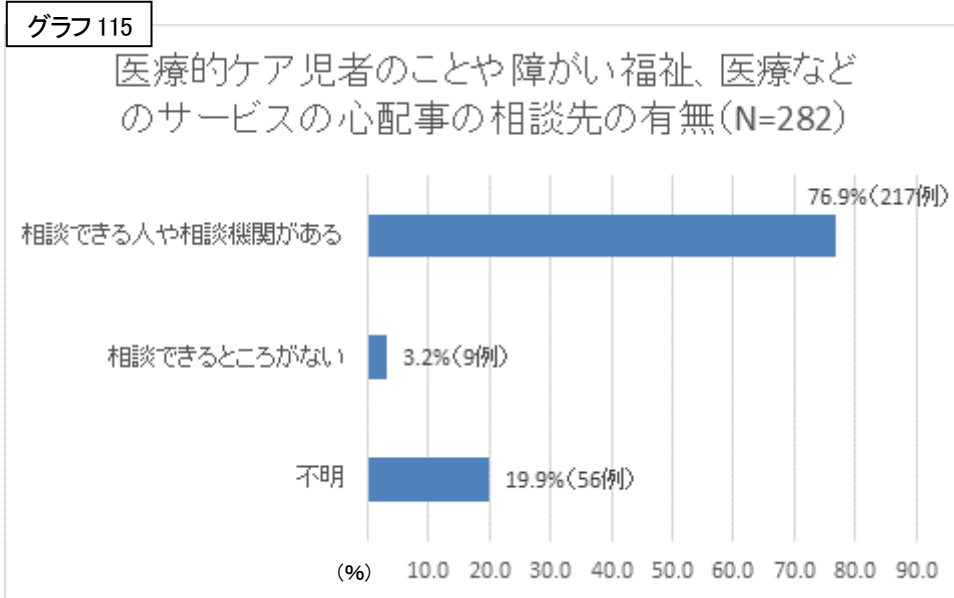
○「困っていることがある」が 36.2%、「困っていることはない」が 33.7%となっている。



質問11(1)

医療的ケア児者のことや障がい福祉や医療などのサービスの仕組みについて、何か心配事があった場合の相談について

○「相談できる人や相談機関がある」が76.9%、「相談できるところがない」が3.2%となっている。



質問11(2)

医療的ケア児者のことや障がい福祉や医療などのサービスの仕組みについて、何か心配事があった場合の相談先について

○「相談支援事業所の職員」(53.9%)が最も多く、次いで「他の医療的ケア児者の保護者」(41%)、「病院職員」(36.9%)、「福祉施設の職員」(28.1%)、「家族・兄弟姉妹」(26.7%)となっている。

